

令和2年度人権に関する県民意識調査 速報

【概要】

1 目的を検討するための基礎資料とするため、人権に関する県民意識調査を実施する。平成22年に策定された「長野県人権政策推進基本方針」の改定に本調査結果を反映させる。

2 実施主体
長野県

3 調査の設計

- (1) 調査地域 長野県全域
- (2) 調査対象 満16歳以上の男女 2,000人
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送法調査
- (5) 調査時期 令和2年9月23日～10月7日

4 調査項目

- (1) 回答者の属性（性別、年齢、職業など）
- (2) 一般意識（自身への人権侵害について、現在の社会など）
- (3) 個別課題に関する意識（身近な人権問題について、個別課題の問題について）
- (4) 解決のための方策（人権問題の解決方法についてなど）

5 回収結果

回収数（率） 1,300人（65.0%）

6 調査対象者の抽出法

①層化

（ア）県内を次の4地域に分けそれぞれを層とする。

東信：上田市、小諸市、佐久市、東御市、南佐久郡、北佐久郡、小県郡

南信：岡谷市、飯田市、諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、茅野市、諏訪郡、上伊那郡、下伊那郡

中信：松本市、大町市、塩尻市、安曇野市、木曽郡、東筑摩郡、北安曇郡

北信：長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、埴科郡、上高井郡、下高井郡、上水内郡、下水内郡

（イ）各地域の市部・郡部ごとに16歳以上人口により、2,000の標本を比例配分する。

②抽出

（ア）第1段

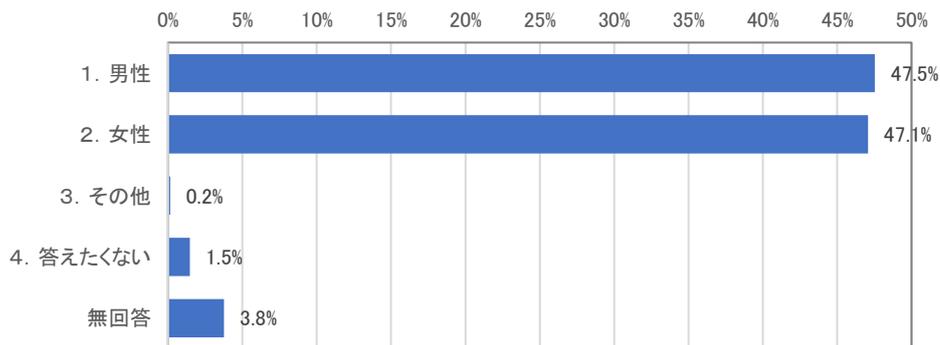
各層を構成する市町村に、10人を最小単位として、標本数を人口構成比に応じて配分する。

（イ）第2段

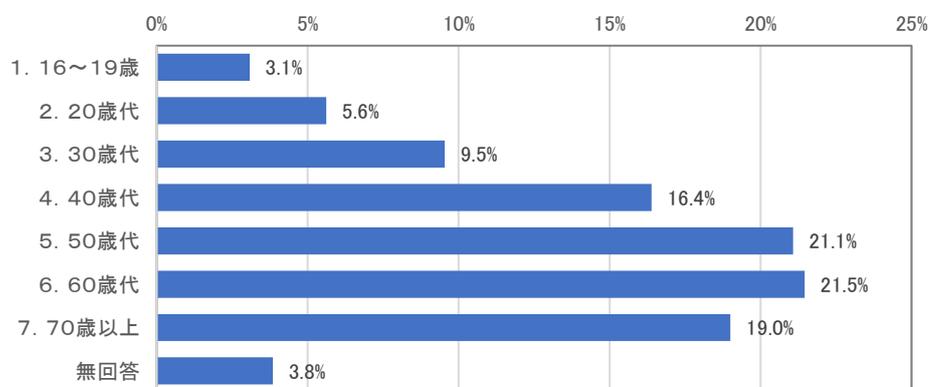
市町村における標本の抽出は、16～17歳の対象者については住民基本台帳登録者の中から等間隔抽出法により抽出し、18歳以上の対象者については選挙人名簿から名簿順に等間隔抽出法により抽出する。

回答者の属性

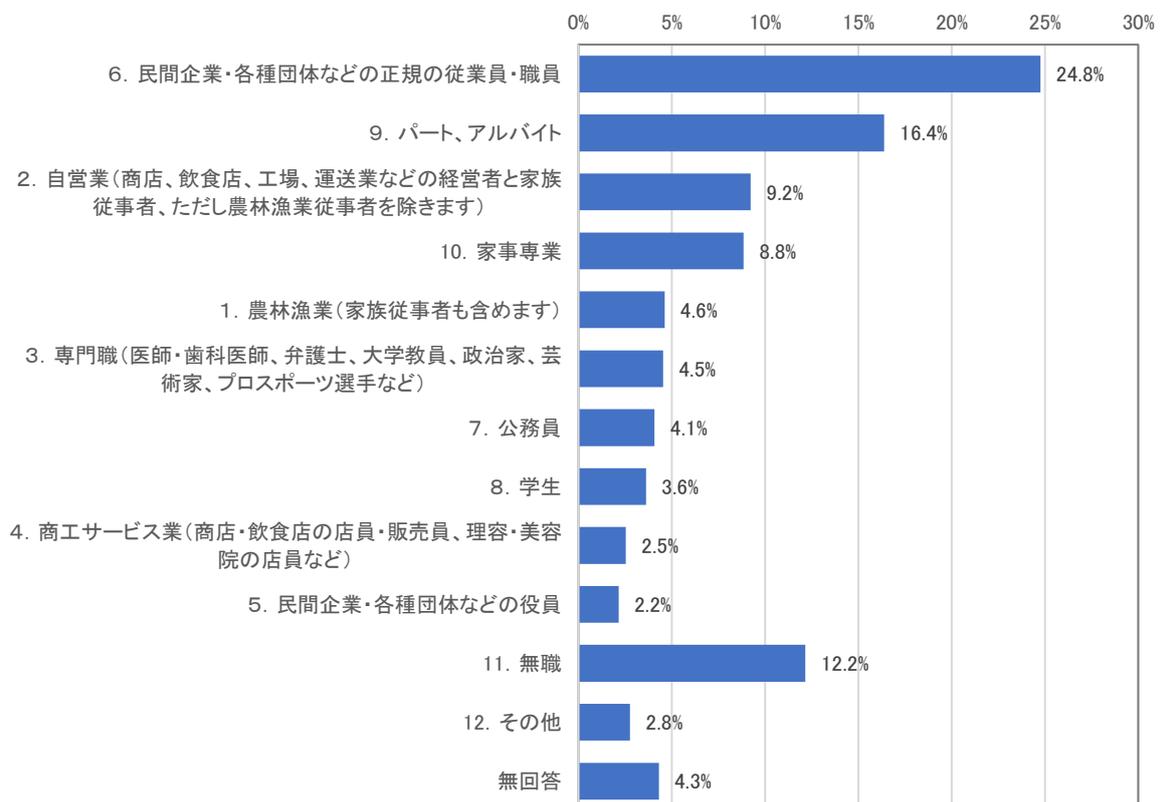
性別



年代



職業



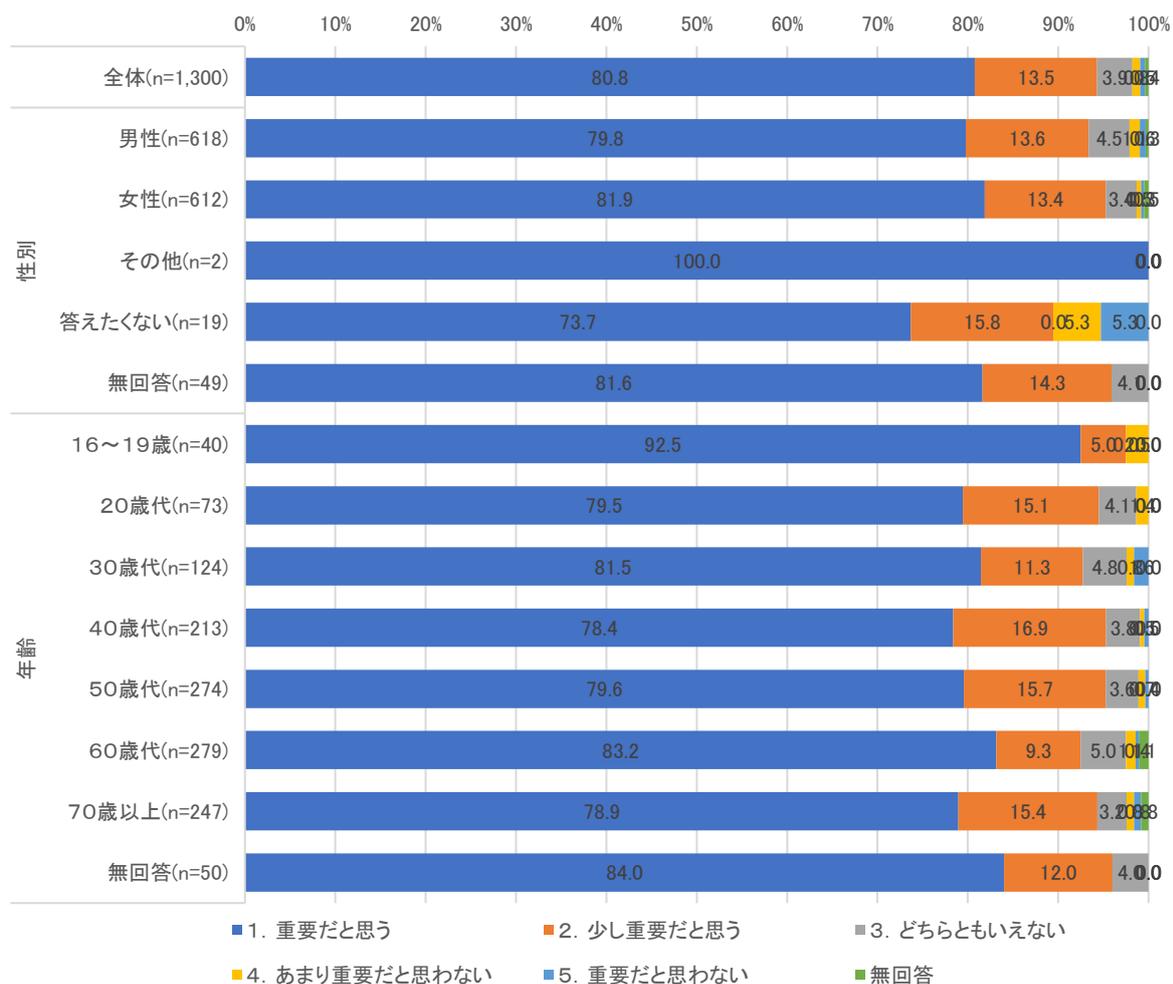
問1 あなたは「人権」ということについて、どのようなイメージ（印象、感想）を持っていますか。それぞれについてあなたの考えに近いものはどれですか。

(1)「人権」に対するイメージについて、自分の思いに一番近いと思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 重要だと思う	1,050	80.8%
2. 少し重要だと思う	176	13.5%
3. どちらともいえない	51	3.9%
4. あまり重要だと思わない	11	0.8%
5. 重要だと思わない	7	0.5%
無回答	5	0.4%
合計	1,300	100.0%

「重要だと思う」、「少し重要だと思う」の合計は、94.3%と9割を超えている。一方、「重要だと思わない」、「あまり重要だと思わない」の合計は、1.3%となる

性別でみると、「重要だと思う」、「少し重要だと思う」の合計は、男性では93.4%、女性では95.3%と、どちらも9割を超えている。

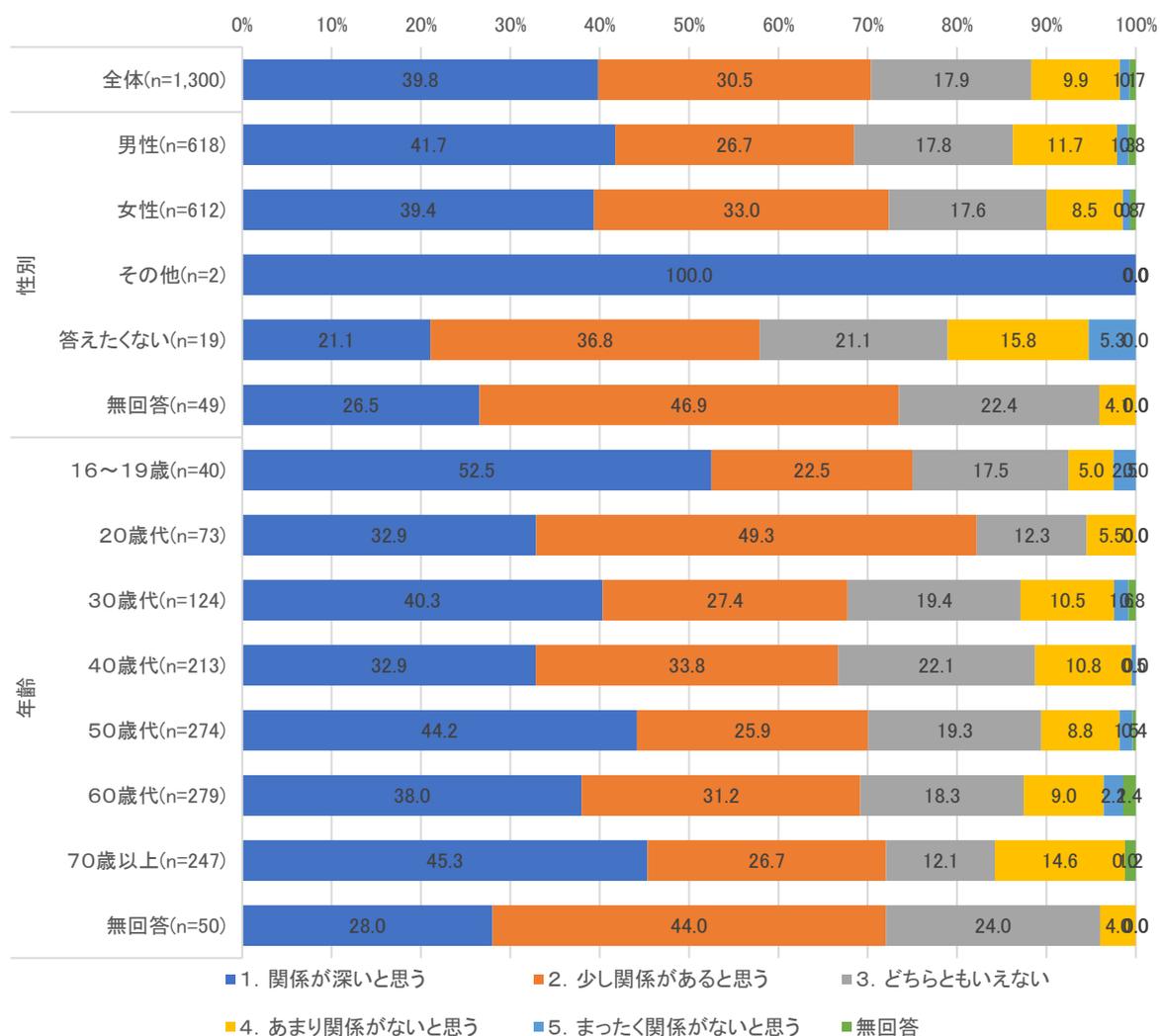


(2)「人権」と自分との関係について、自分の思いに一番近いと思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 関係が深いと思う	518	39.8%
2. 少し関係があると思う	397	30.5%
3. どちらともいえない	233	17.9%
4. あまり関係がないと思う	129	9.9%
5. まったく関係がないと思う	14	1.1%
無回答	9	0.7%
合計	1,300	100.0%

「関係が深いと思う」、「少し関係があると思う」の合計は、70.3%と約7割となる。一方、「まったく関係がないと思う」、「あまり関係がないと思う」の合計は、11.0%と約1割となる。

年代でみると、「関係が深いと思う」、「少し関係があると思う」の合計は、20歳代以下では約8割、30歳代以上では約7割となる。



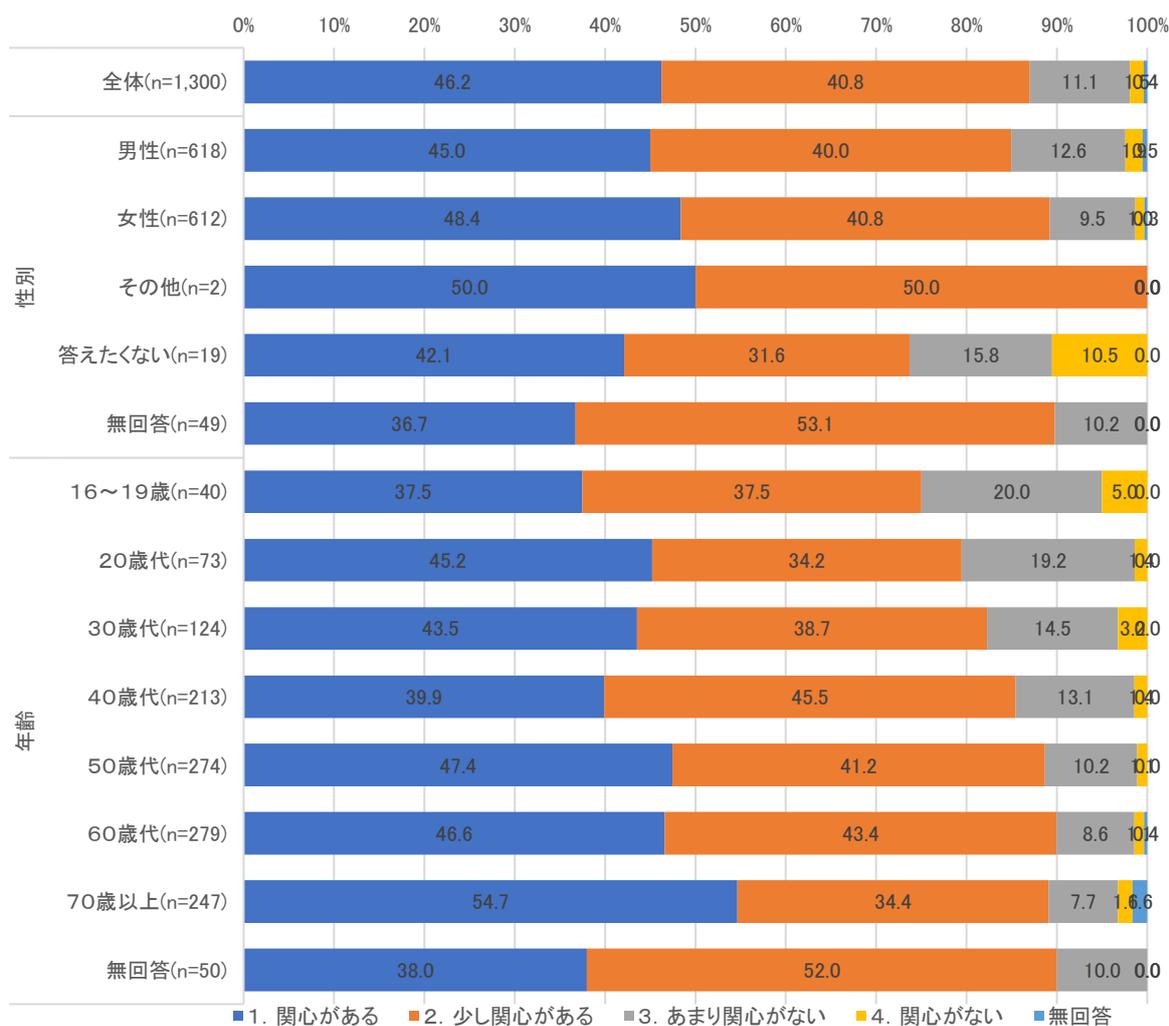
問2 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、性的少数者などの差別をはじめさまざまな人権問題があります。

(1) あなたは、人権問題に関心を持っていますか。自分の思いに一番近いと思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 関心がある	601	46.2%
2. 少し関心がある	530	40.8%
3. あまり関心がない	144	11.1%
4. 関心がない	20	1.5%
無回答	5	0.4%
合計	1,300	100.0%

「関心がある」、「少し関心がある」の合計は、87.0%と約9割となる。一方、「関心がない」、「あまり関心がない」の合計は、12.6%と約1割となる。

年代で見ると、「関心がある」、「少し関心がある」の合計は、30歳代以下では約8割、40歳代以上では約9割となる。

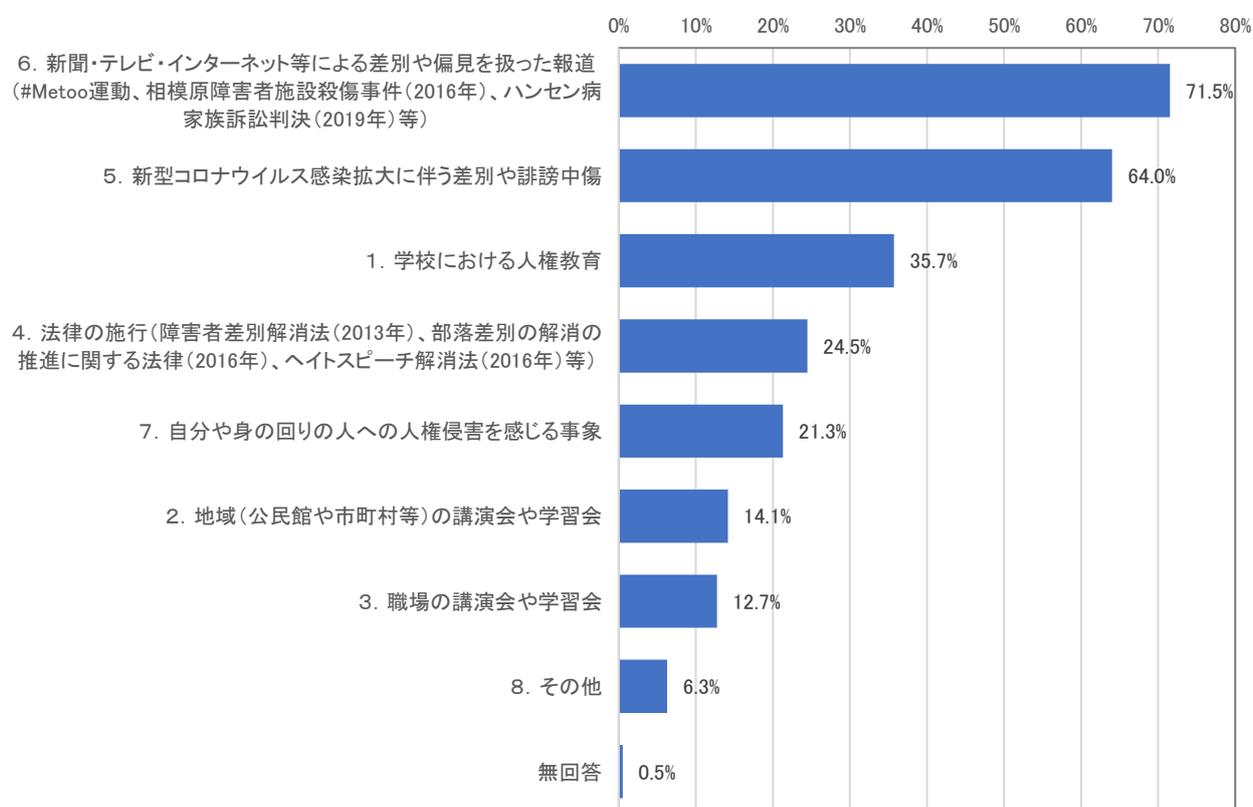


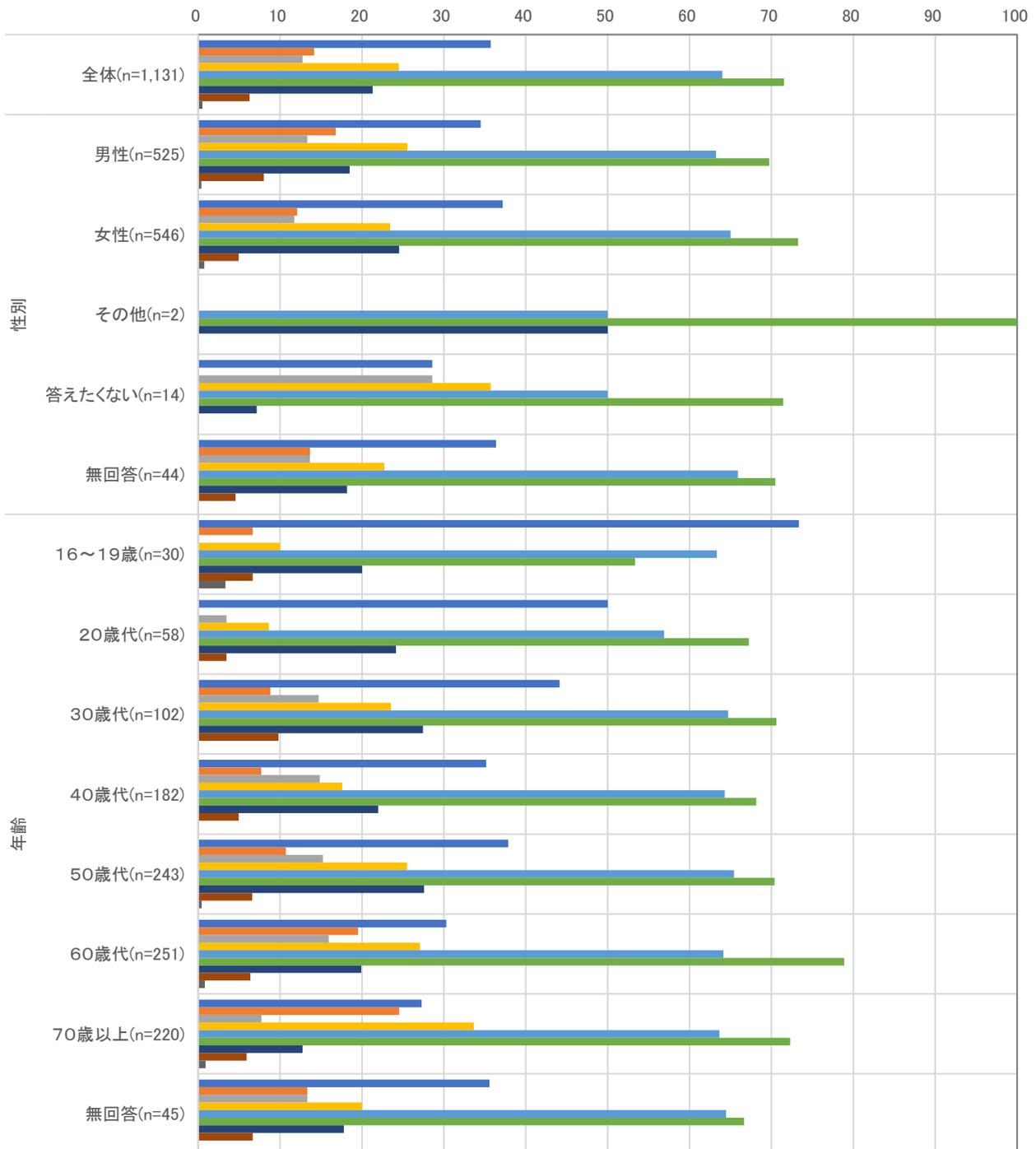
【(1)で「1 関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に伺います。】

(2) 関心を持ったきっかけはどのようなものでしたか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 学校における人権教育	404	35.7%
2. 地域（公民館や市町村等）の講演会や学習会	160	14.1%
3. 職場の講演会や学習会	144	12.7%
4. 法律の施行（障害者差別解消法（2013年）、部落差別の解消の推進に関する法律（2016年）、ヘイトスピーチ解消法（2016年）等）	277	24.5%
5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う差別や誹謗中傷	724	64.0%
6. 新聞・テレビ・インターネット等による差別や偏見を扱った報道（#Metoo運動、相模原障害者施設殺傷事件（2016年）、ハンセン病家族訴訟判決（2019年）等）	809	71.5%
7. 自分や身の回りの人への人権侵害を感じる事象	241	21.3%
8. その他	71	6.3%
無回答	6	0.5%
対象	1,131	-

「新聞・テレビ・インターネット等による差別や偏見を扱った報道（#Metoo運動、相模原障害者施設殺傷事件（2016年）、ハンセン病家族訴訟判決（2019年）等）」が71.5%で約7割と最も多い。次に、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う差別や誹謗中傷」（64.0%）、「学校における人権教育」（35.7%）と続いている。





- 1. 学校における人権教育
- 2. 地域(公民館や市町村等)の講演会や学習会
- 3. 職場の講演会や学習会
- 4. 法律の施行(障害者差別解消法(2013年)、部落差別の解消の推進に関する法律(2016年)、ヘイトスピーチ解消法(2016年)等)
- 5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う差別や誹謗中傷
- 6. 新聞・テレビ・インターネット等による差別や偏見を扱った報道(#Metoo運動、相模原障害者施設殺傷事件(2016年)、ハンセン病家族訴訟判決(2019年)等)
- 7. 自分や身の回りの人への人権侵害を感じる事象
- 8. その他
- 無回答

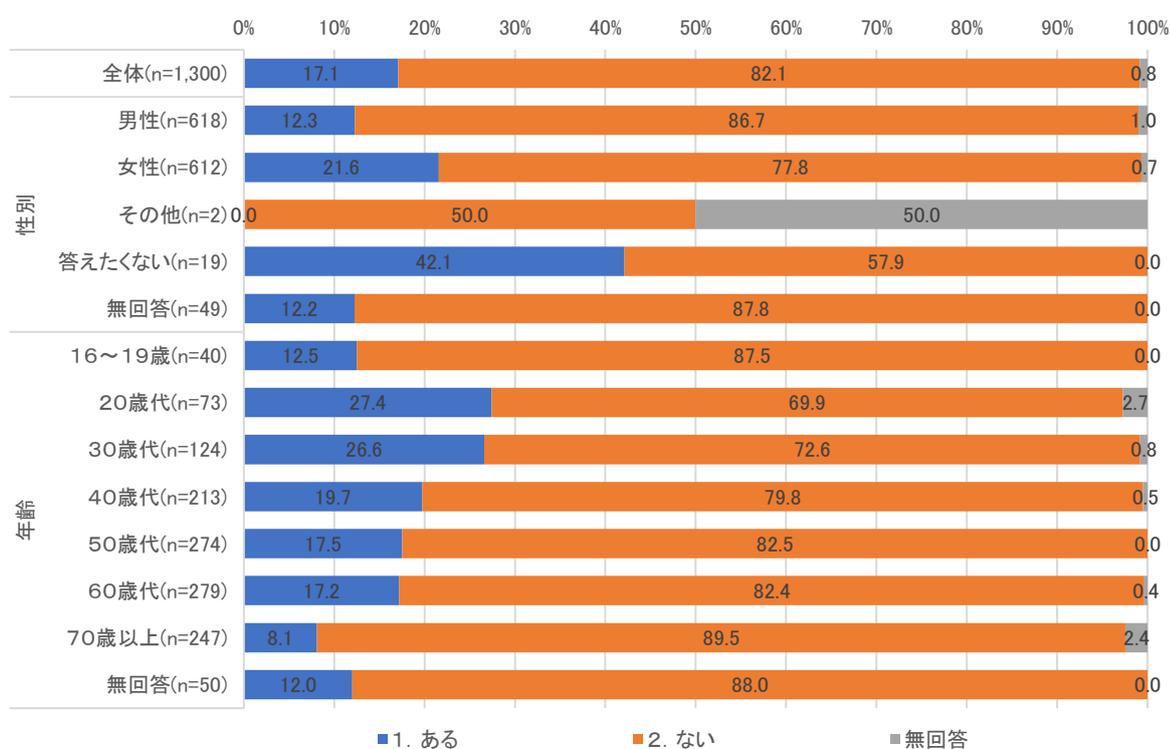
問3 あなたは、最近5年間で、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

選択肢	回答数	割合
1. ある	222	17.1%
2. ない	1,067	82.1%
無回答	11	0.8%
合計	1,300	100.0%

「ある」が17.1%と約2割、「ない」は82.1%と約8割となる。

性別でみると、「ある」は、男性では12.3%と約1割、女性では21.6%と約2割となる。

年代でみると、「ある」は、16～19歳では約1割、20歳代、30歳代では約3割、40歳代から60歳代で約2割、70歳以上で約1割となる。



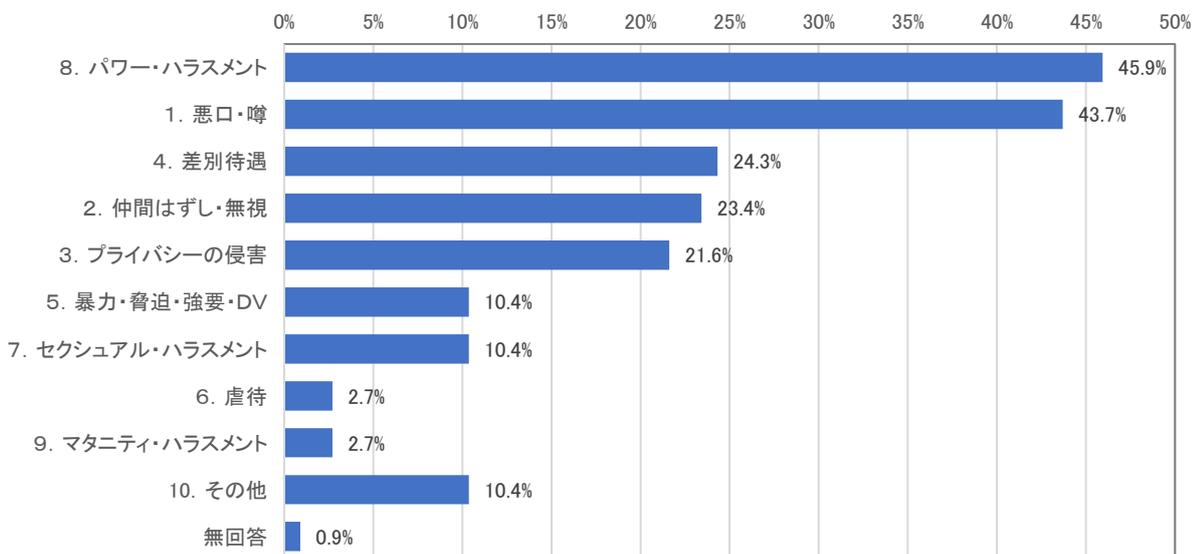
【問3で「1 ある」と答えた方のみ伺います。】

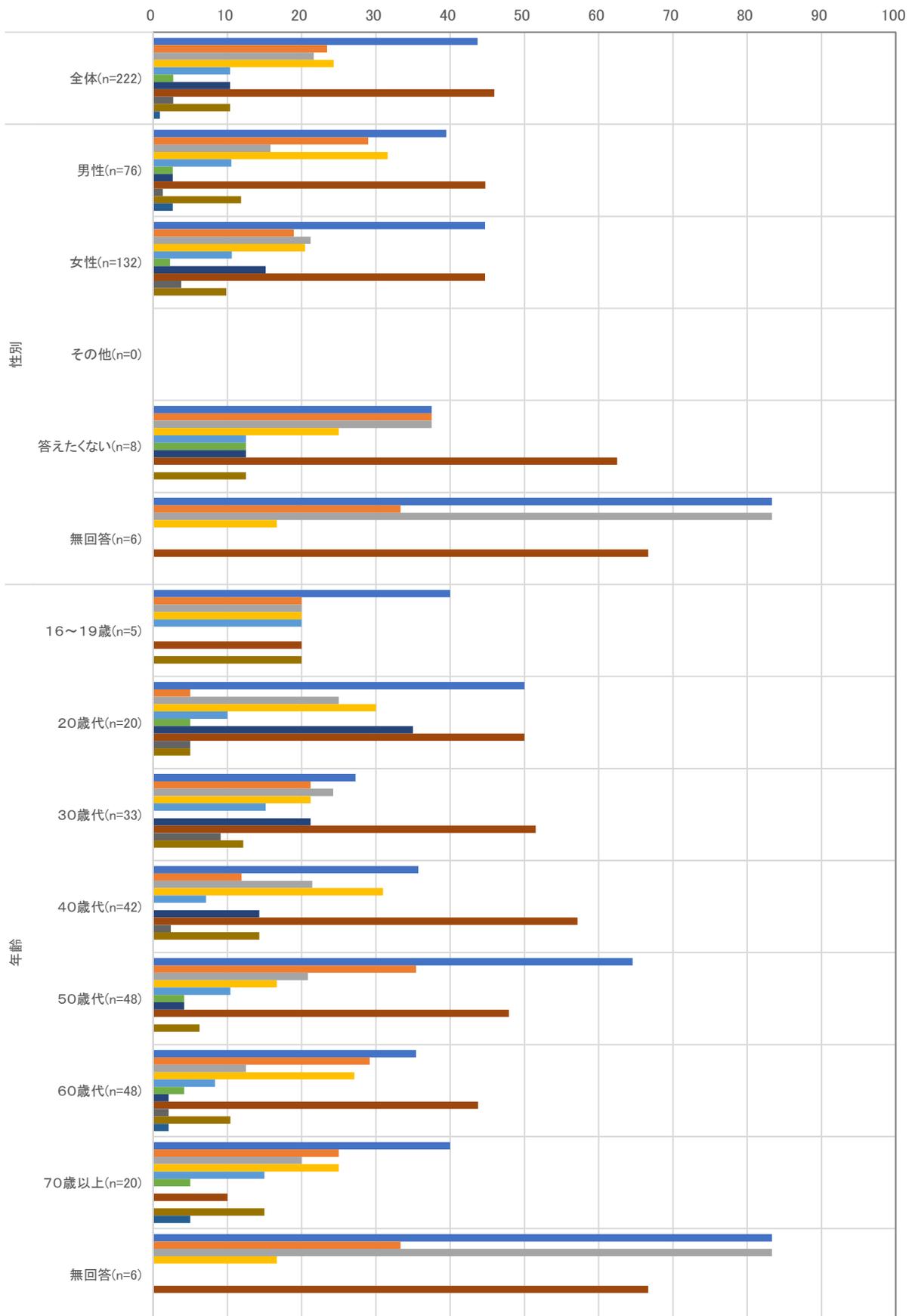
問4 最近5年間で、ご自分の人権が侵害されたと思ったことについて、お答えください。

(1) その人権侵害はどのようなものでしたか。あてはまると思った項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 悪口・噂	97	43.7%
2. 仲間はずし・無視	52	23.4%
3. プライバシーの侵害	48	21.6%
4. 差別待遇	54	24.3%
5. 暴力・脅迫・強要・DV	23	10.4%
6. 虐待	6	2.7%
7. セクシュアル・ハラスメント	23	10.4%
8. パワー・ハラスメント	102	45.9%
9. マタニティ・ハラスメント	6	2.7%
10. その他	23	10.4%
無回答	2	0.9%
対象	222	-

「パワー・ハラスメント」が45.9%、「悪口・噂」が43.7%と、2項目が4割を超えている。次に、「差別待遇」(24.3%)、「仲間はずし・無視」(23.4%)、「プライバシーの侵害」(21.6%)が約2割で続いている。



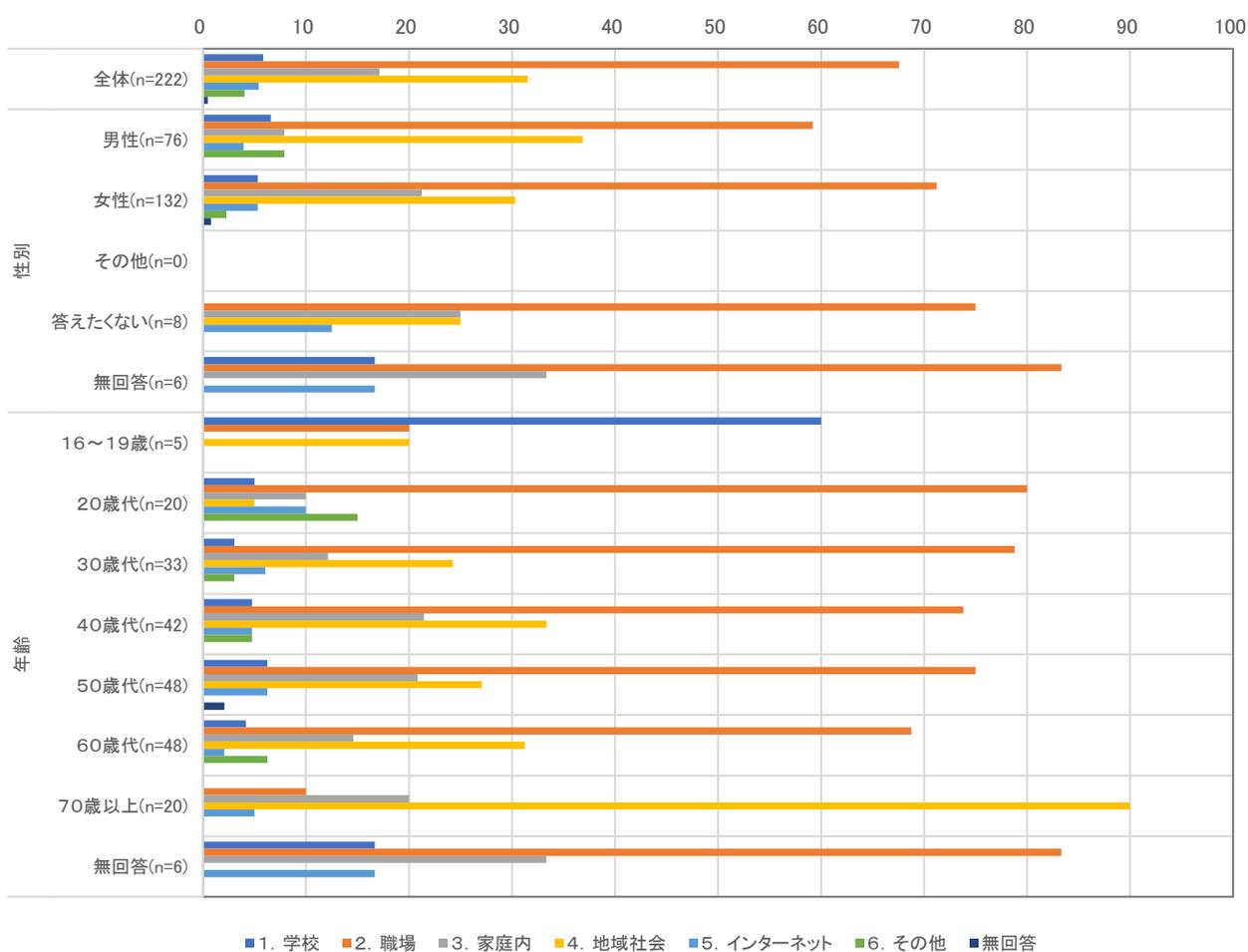
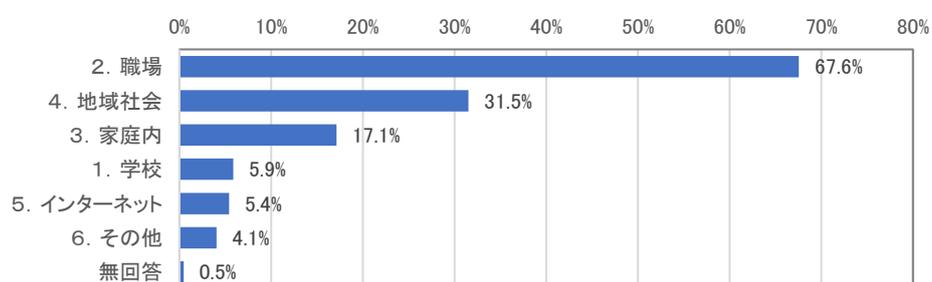


- 1. 悪口・噂
- 2. 仲間はずし・無視
- 3. プライバシーの侵害
- 4. 差別待遇
- 5. 暴力・脅迫・強要・DV
- 6. 虐待
- 7. セクシュアル・ハラスメント
- 8. パワー・ハラスメント
- 9. マタニティ・ハラスメント
- 10. その他
- 無回答

(2) その人権侵害はどこでありましたか。あてはまると思った項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 学校	13	5.9%
2. 職場	150	67.6%
3. 家庭内	38	17.1%
4. 地域社会	70	31.5%
5. インターネット	12	5.4%
6. その他	9	4.1%
無回答	1	0.5%
対象	222	-

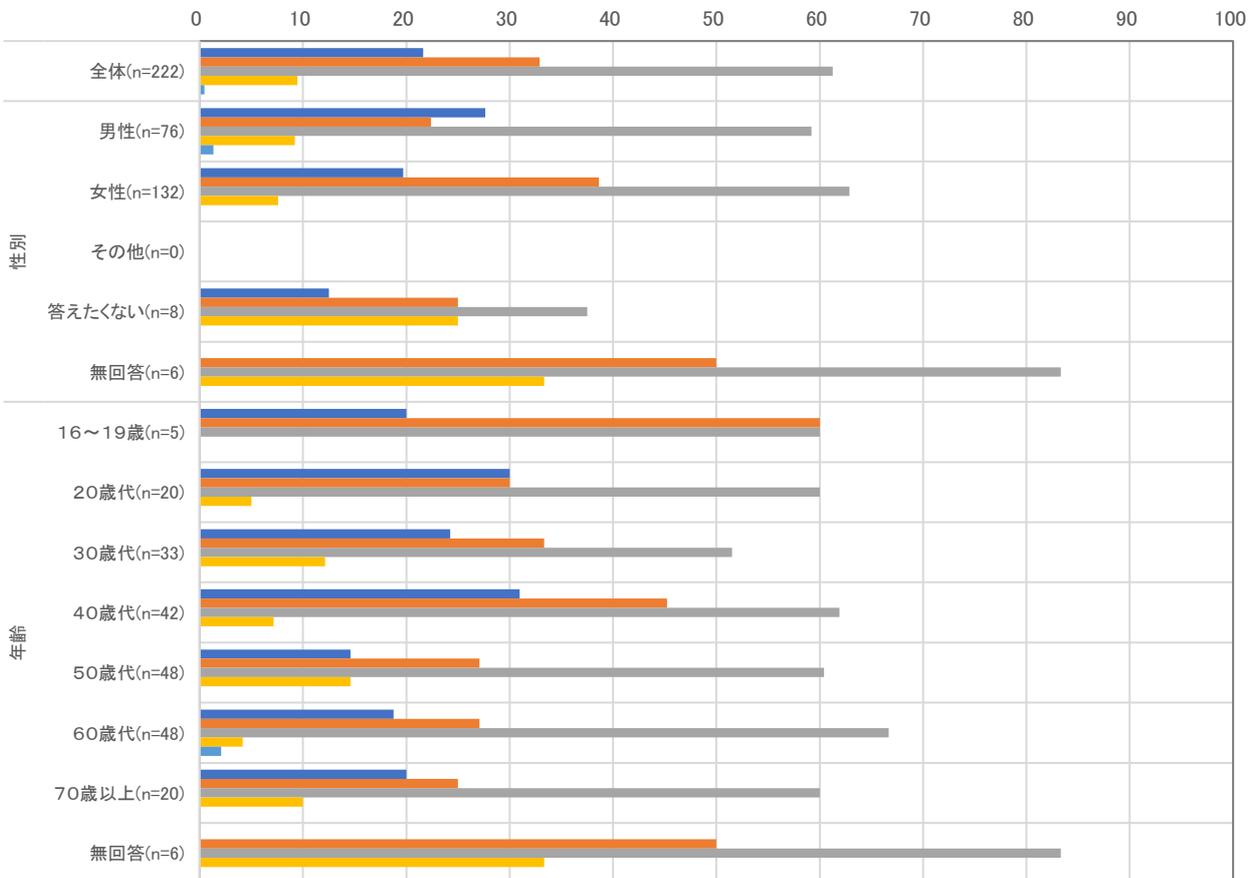
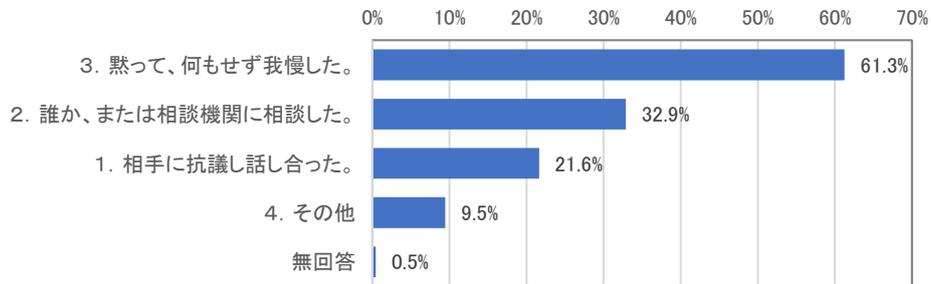
「職場」が67.6%と約7割で最も多い。次に「地域社会」(31.5%)、「家庭内」(17.1%)と続いている。



(3) 人権侵害を受けたときあなたはどのように対応しましたか。あてはまると思った項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 相手に抗議し話し合った。	48	21.6%
2. 誰か、または相談機関に相談した。	73	32.9%
3. 黙って、何もせず我慢した。	136	61.3%
4. その他	21	9.5%
無回答	1	0.5%
対象	222	-

「黙って、何もせず我慢した。」が61.3%と約6割と最も多い。次に、「誰か、または相談機関に相談した。」(32.9%)、「相手に抗議し話し合った。」(21.6%)と続いている。



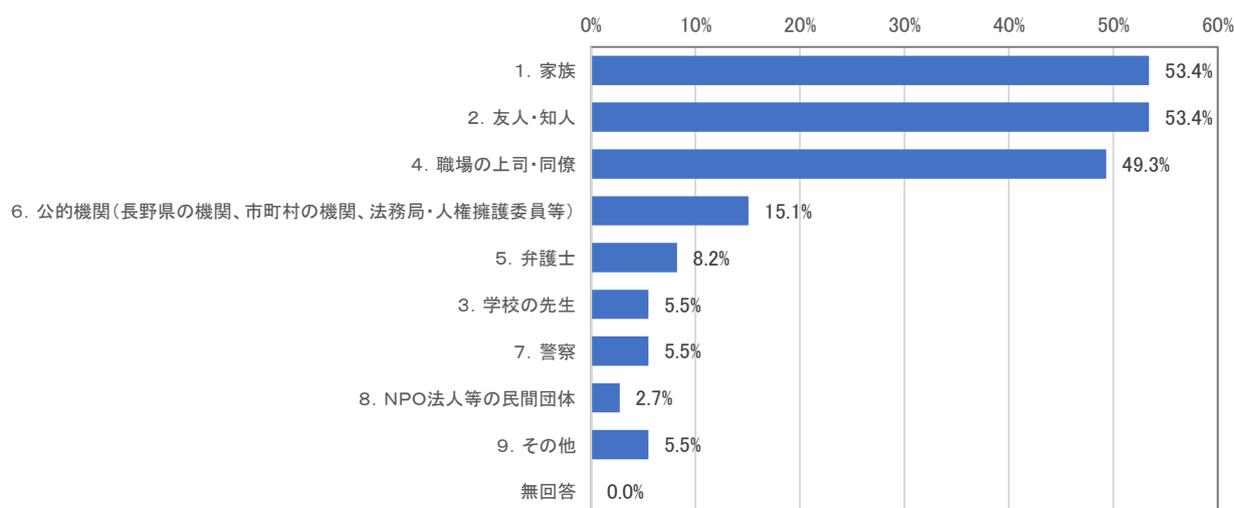
■ 1. 相手に抗議し話し合った。 ■ 2. 誰か、または相談機関に相談した。 ■ 3. 黙って、何もせず我慢した。 ■ 4. その他 ■ 無回答

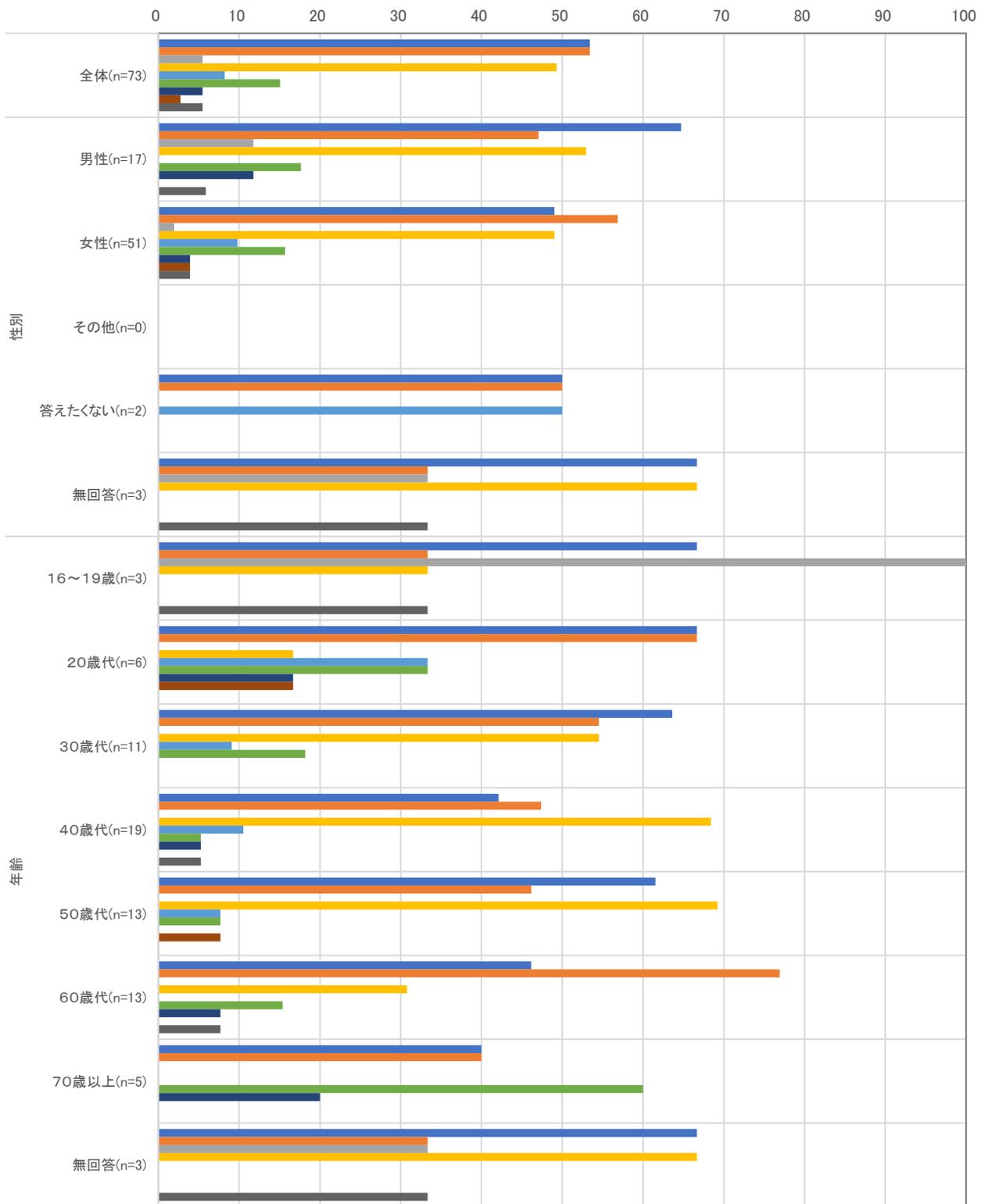
【(3)で「2 誰か、または相談機関に相談した」と答えた人に伺います。】

(4) (3)で相談した人、または相談機関をお答えください。あてはまると思った項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 家族	39	53.4%
2. 友人・知人	39	53.4%
3. 学校の先生	4	5.5%
4. 職場の上司・同僚	36	49.3%
5. 弁護士	6	8.2%
6. 公的機関（長野県の機関、市町村の機関、法務局・人権擁護委員等）	11	15.1%
7. 警察	4	5.5%
8. NPO法人等の民間団体	2	2.7%
9. その他	4	5.5%
無回答	0	0.0%
対象	73	-

「家族」が53.4%、「友人・知人」が53.4%、「職場の上司・同僚」が49.3%と、3項目が約5割となる。次に、「公的機関（長野県の機関、市町村の機関、法務局・人権擁護委員等）」(15.1%)、「弁護士」(8.2%)と続いている。





- 1. 家族
- 2. 友人・知人
- 3. 学校の先生
- 4. 職場の上司・同僚
- 5. 弁護士
- 6. 公的機関(長野県の機関、市町村の機関、法務局・人権擁護委員等)
- 7. 警察
- 8. NPO法人等の民間団体
- 9. その他

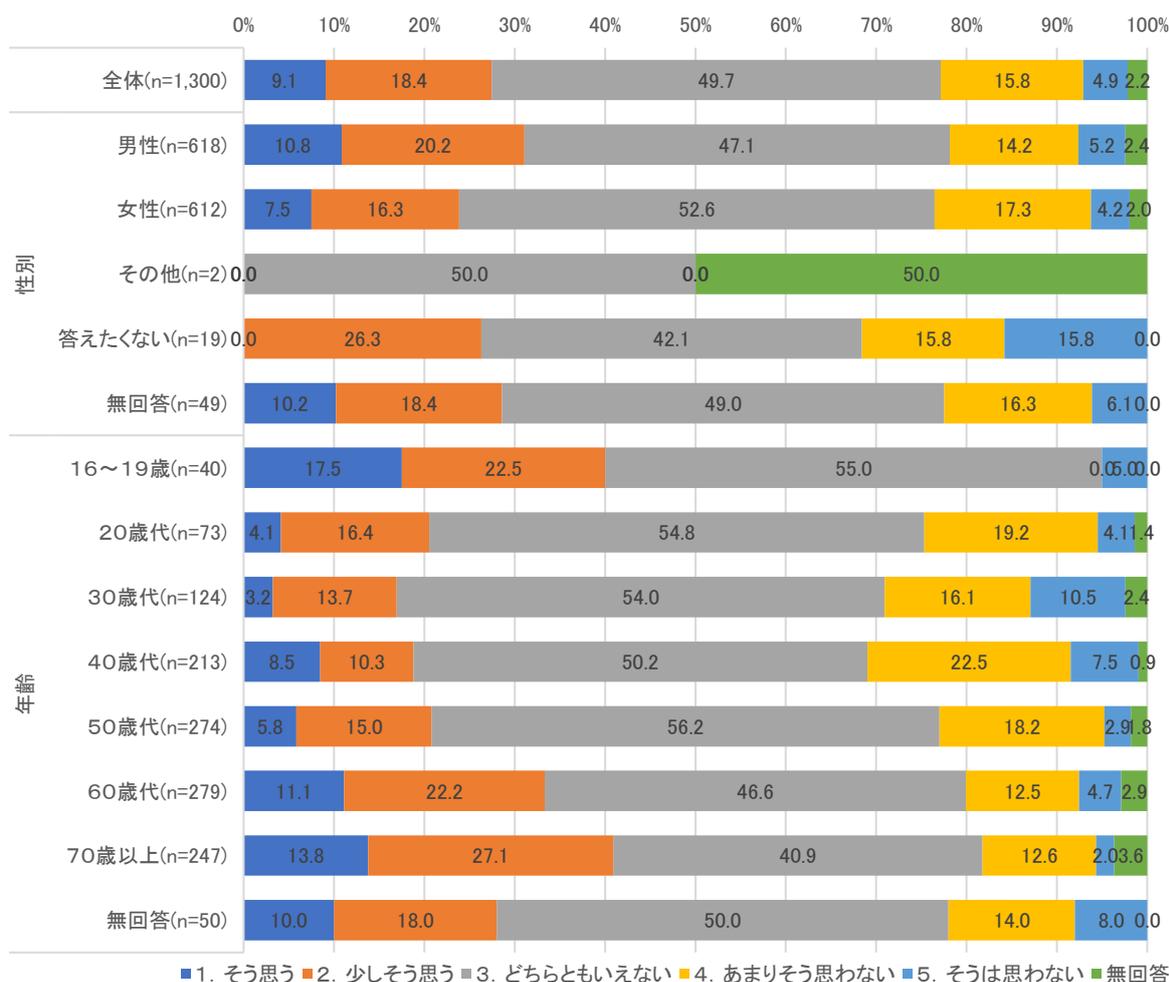
問5 あなたは、今の長野県は「人権が尊重される県」になっていると思いますか。あてはまると思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. そう思う	118	9.1%
2. 少しそう思う	239	18.4%
3. どちらともいえない	646	49.7%
4. あまりそう思わない	205	15.8%
5. そうは思わない	64	4.9%
無回答	28	2.2%
合計	1,300	100.0%

「そう思う」、「少しそう思う」の合計は27.5%、「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計が20.7%となる。

性別でみると、「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、男性では31.0%、女性では23.8%となる。

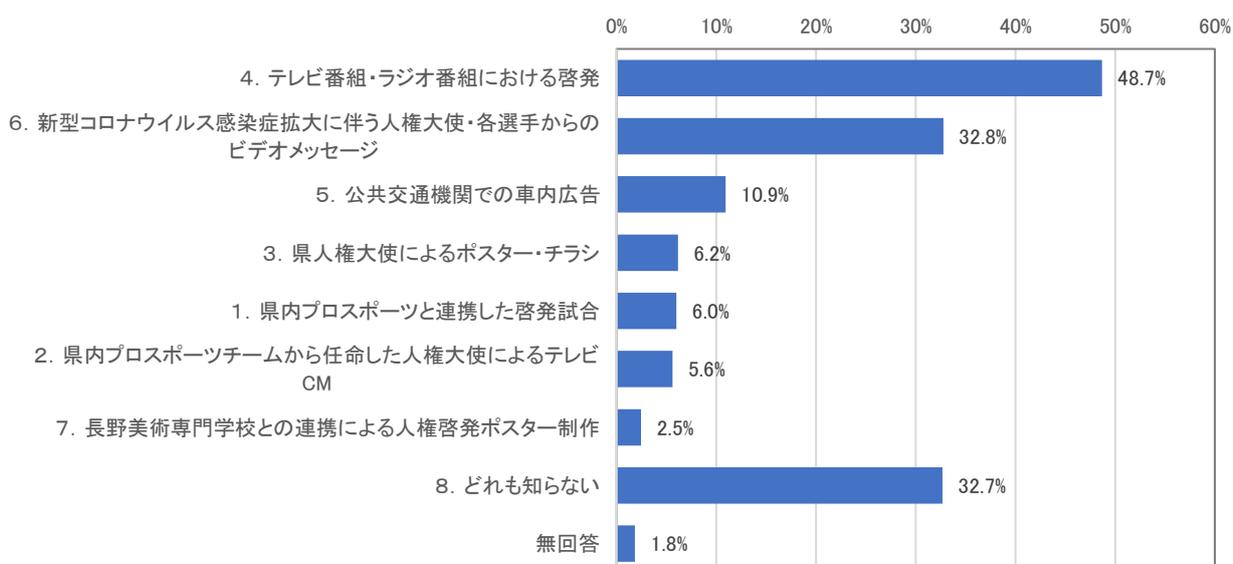
年代でみると、「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、16～19歳、60歳代以上で3割を超えている。一方、20歳代から50歳代では約2割となる。

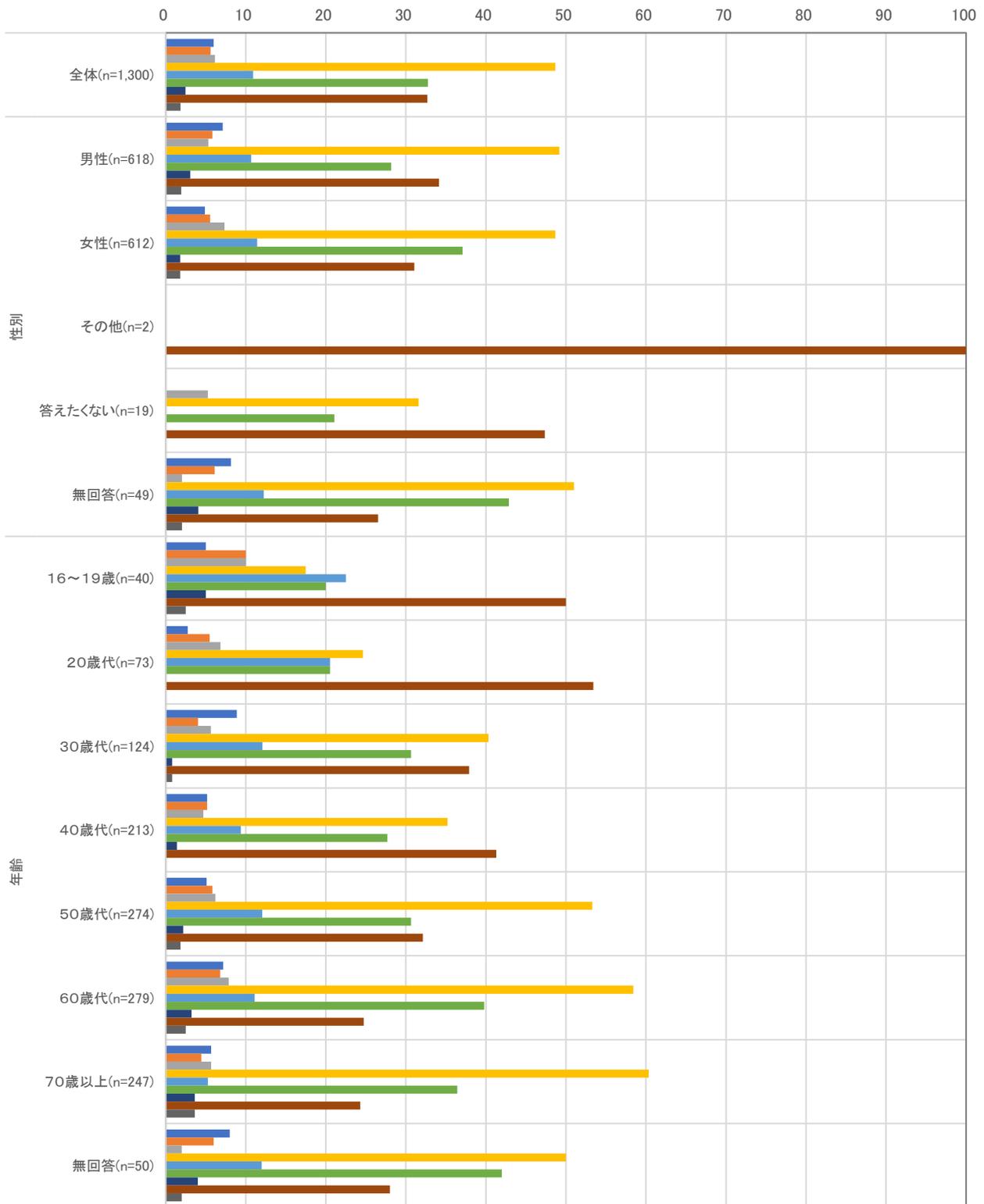


問6 次のうち見聞きしたことがある県の人権啓発活動はどれですか。あると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 県内プロスポーツと連携した啓発試合	78	6.0%
2. 県内プロスポーツチームから任命した人権大使によるテレビCM	73	5.6%
3. 県人権大使によるポスター・チラシ	80	6.2%
4. テレビ番組・ラジオ番組における啓発	633	48.7%
5. 公共交通機関での車内広告	142	10.9%
6. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人権大使・各選手からのビデオメッセージ	426	32.8%
7. 長野美術専門学校との連携による人権啓発ポスター制作	32	2.5%
8. どれも知らない	425	32.7%
無回答	24	1.8%
対象	1,300	-

「テレビ番組・ラジオ番組における啓発」が48.7%と約5割で最も多い。次に、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人権大使・各選手からのビデオメッセージ」(32.8%)、「公共交通機関での車内広告」(10.9%)と続いている。



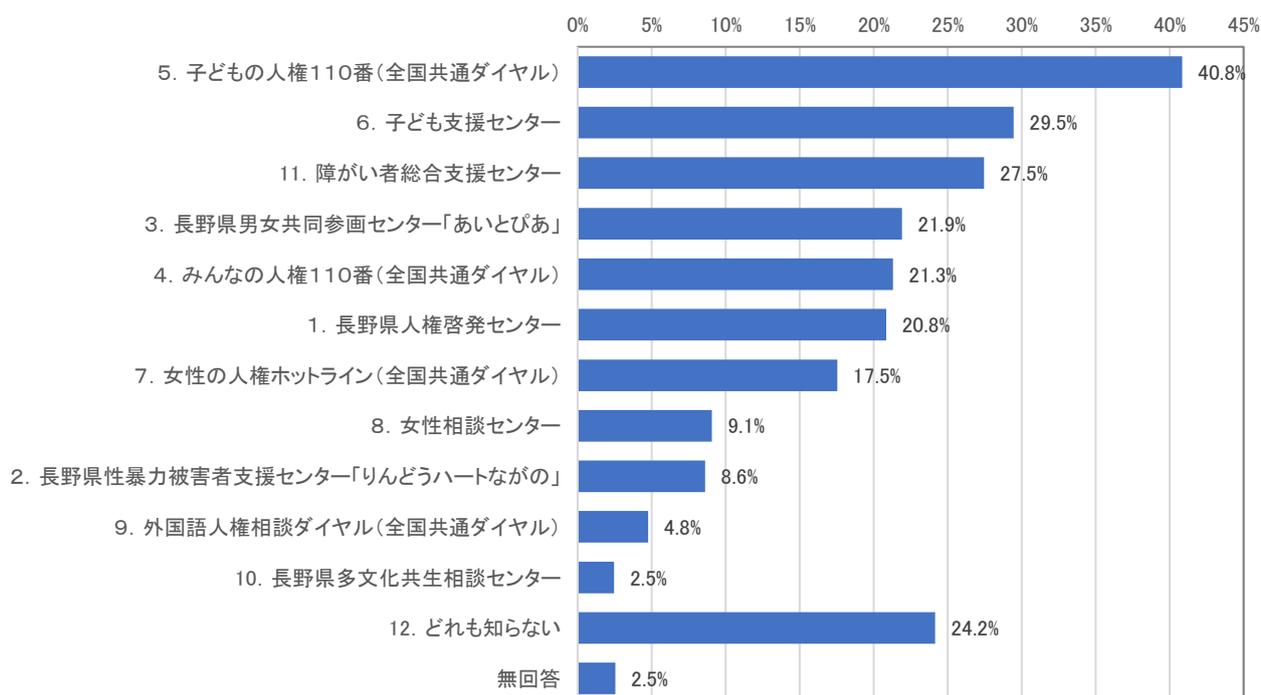


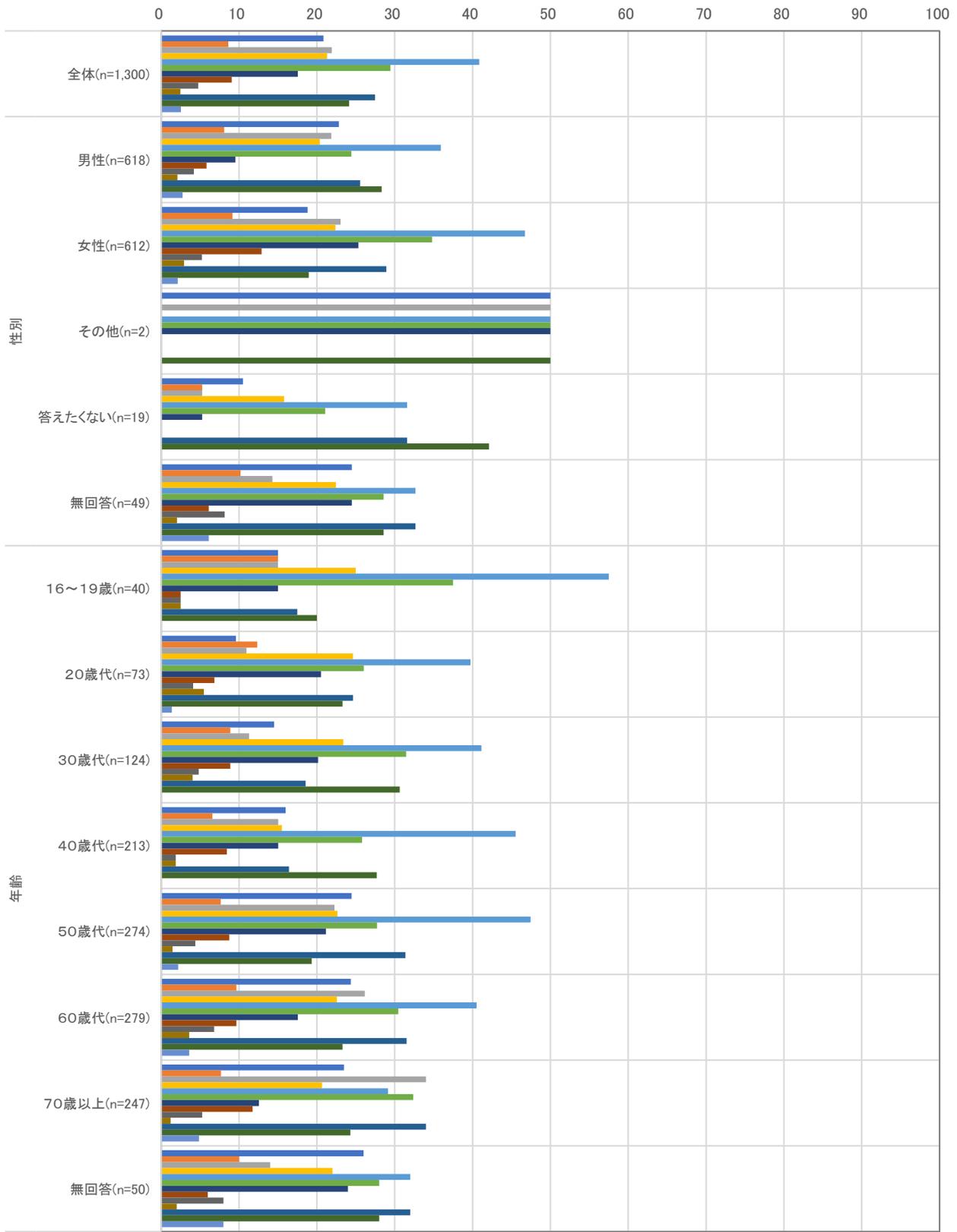
- 1. 県内プロスポーツと連携した啓発試合
- 2. 県内プロスポーツチームから任命した人権大使によるテレビCM
- 3. 県人権大使によるポスター・チラシ
- 4. テレビ番組・ラジオ番組における啓発
- 5. 公共交通機関での車内広告
- 6. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人権大使・各選手からのビデオメッセージ
- 7. 長野美術専門学校との連携による人権啓発ポスター制作
- 8. どれも知らない
- 無回答

問7 次のうち、見聞きしたことのある相談窓口はありますか。あると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 長野県人権啓発センター	271	20.8%
2. 長野県性暴力被害者支援センター「りんどうハートながの」	112	8.6%
3. 長野県男女共同参画センター「あいとびあ」	285	21.9%
4. みんなの人権110番（全国共通ダイヤル）	277	21.3%
5. 子どもの人権110番（全国共通ダイヤル）	531	40.8%
6. 子ども支援センター	383	29.5%
7. 女性の人権ホットライン（全国共通ダイヤル）	228	17.5%
8. 女性相談センター	118	9.1%
9. 外国語人権相談ダイヤル（全国共通ダイヤル）	62	4.8%
10. 長野県多文化共生相談センター	32	2.5%
11. 障がい者総合支援センター	357	27.5%
12. どれも知らない	314	24.2%
無回答	33	2.5%
対象	1,300	-

「子どもの人権110番（全国共通ダイヤル）」が40.8%と約4割で最も多い。次に、「子ども支援センター」（29.5%）、「障がい者総合支援センター」（27.5%）と続いている。



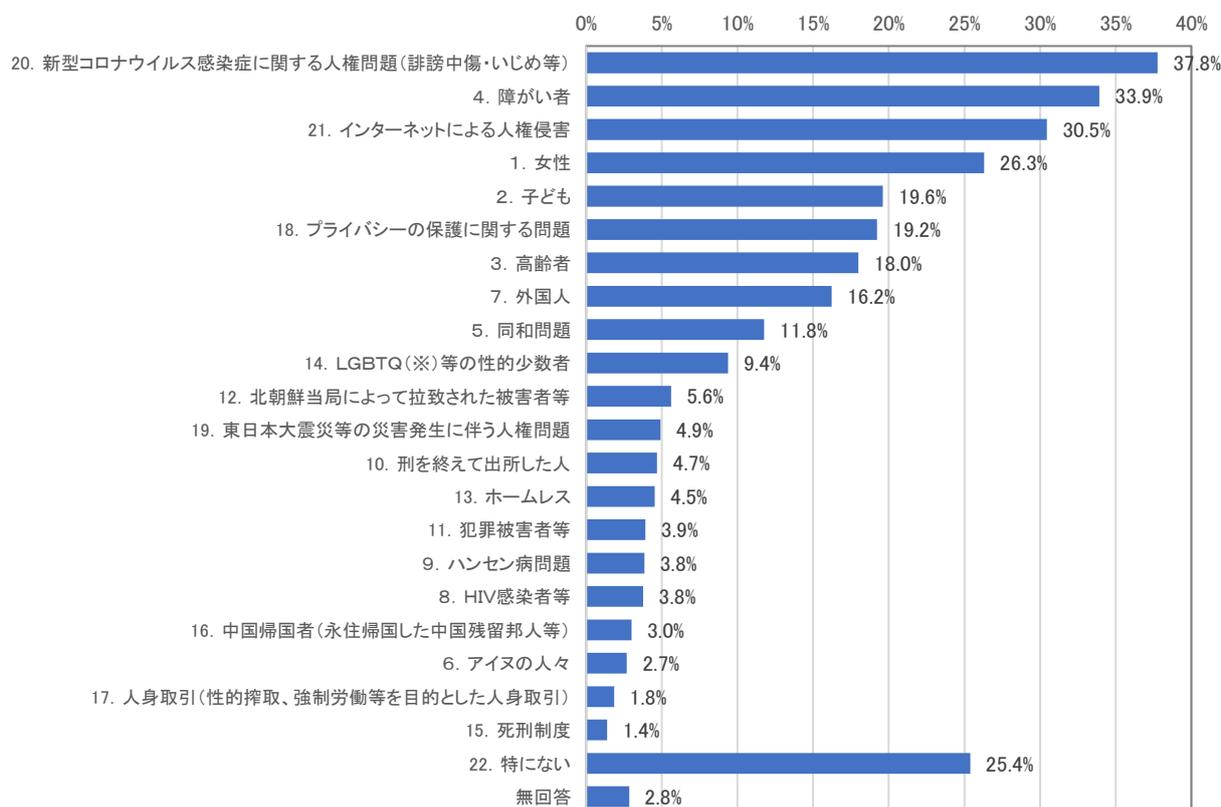


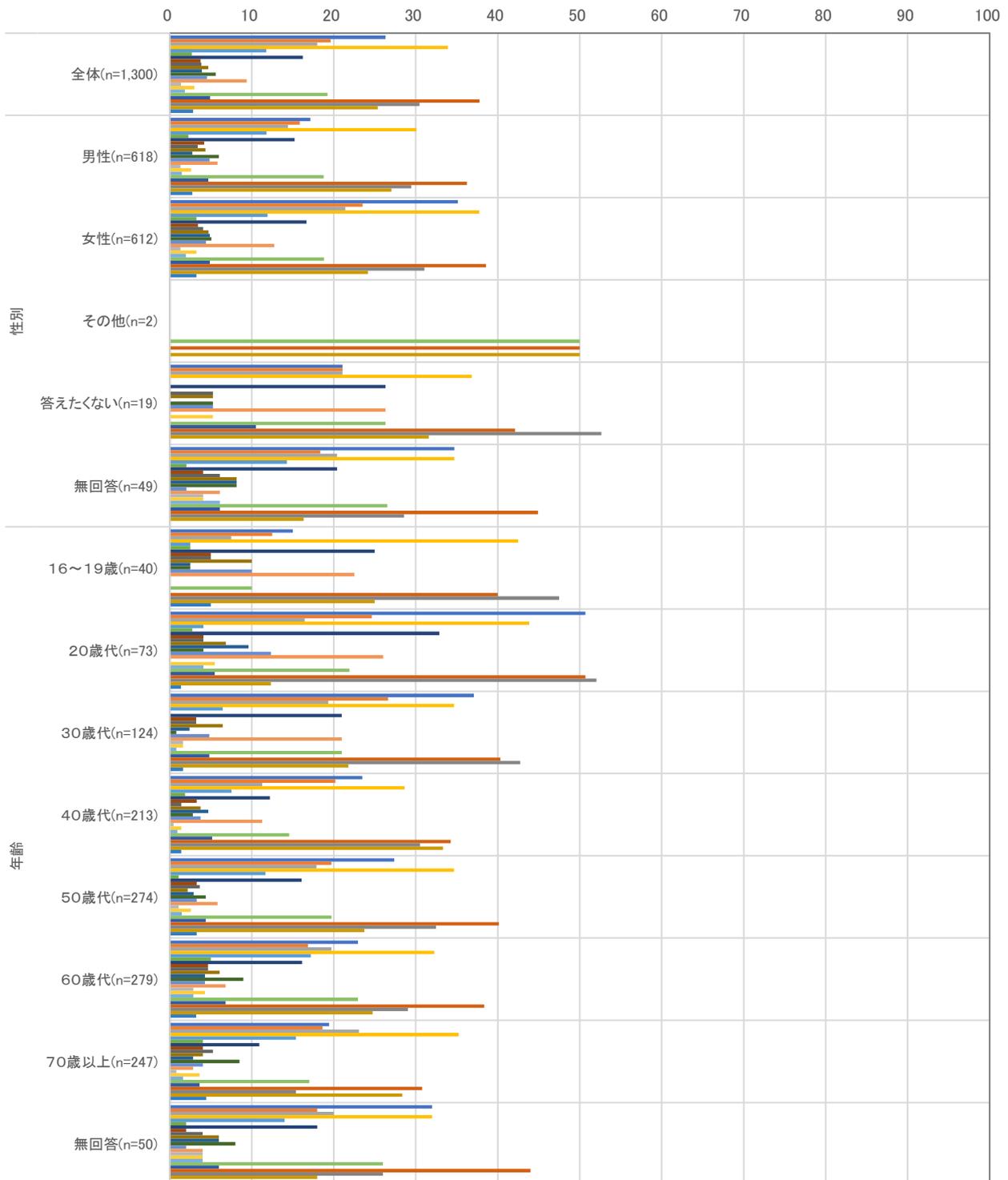
- 1. 長野県人権啓発センター
- 2. 長野県性暴力被害者支援センター「りんどうハートながの」
- 3. 長野県男女共同参画センター「あいとびあ」
- 4. みんなの人権110番(全国共通ダイヤル)
- 5. 子どもの人権110番(全国共通ダイヤル)
- 6. 子ども支援センター
- 7. 女性の人権ホットライン(全国共通ダイヤル)
- 8. 女性相談センター
- 9. 外国語人権相談ダイヤル(全国共通ダイヤル)
- 10. 長野県多文化共生相談センター
- 11. 障がい者総合支援センター
- 12. どれも知らない
- 無回答

問8 人権に関わるさまざまな問題がありますが、あなたの身の回りで起きているものはどれですか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 女性	342	26.3%
2. 子ども	255	19.6%
3. 高齢者	234	18.0%
4. 障がい者	441	33.9%
5. 同和問題	153	11.8%
6. アイヌの人々	35	2.7%
7. 外国人	211	16.2%
8. HIV感染者等	49	3.8%
9. ハンセン病問題	50	3.8%
10. 刑を終えて出所した人	61	4.7%
11. 犯罪被害者等	51	3.9%
12. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等	73	5.6%
13. ホームレス	59	4.5%
14. LGBTQ（※）等の性的少数者	122	9.4%
15. 死刑制度	18	1.4%
16. 中国帰国者（永住帰国した中国残留邦人等）	39	3.0%
17. 人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引）	24	1.8%
18. プライバシーの保護に関する問題	250	19.2%
19. 東日本大震災等の災害発生に伴う人権問題	64	4.9%
20. 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷・いじめ等）	491	37.8%
21. インターネットによる人権侵害	396	30.5%
22. 特にない	330	25.4%
無回答	37	2.8%
対象	1,300	-

「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷・いじめ等）」が37.8%と約4割で最も多い。次に、「障がい者」（33.9%）、「インターネットによる人権侵害」（30.5%）と続いている。



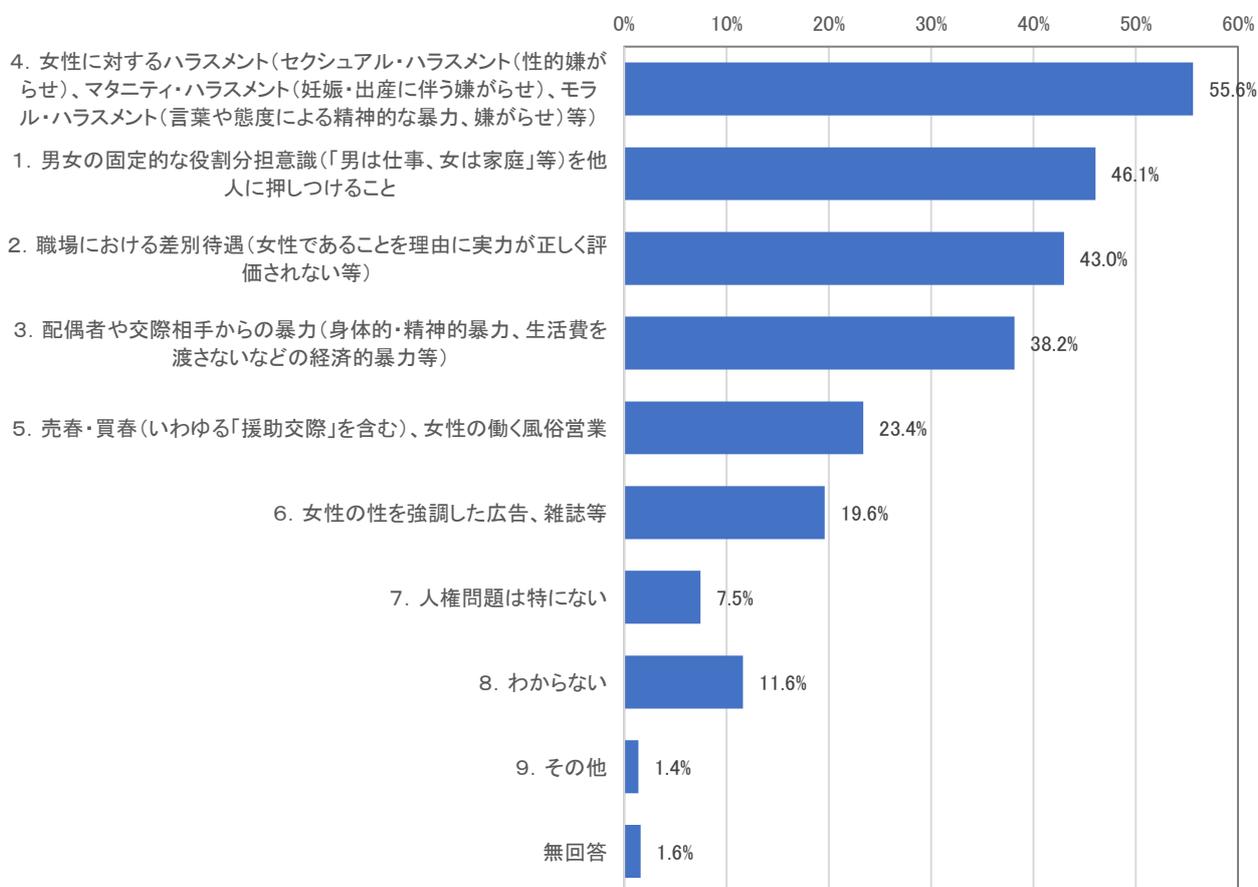


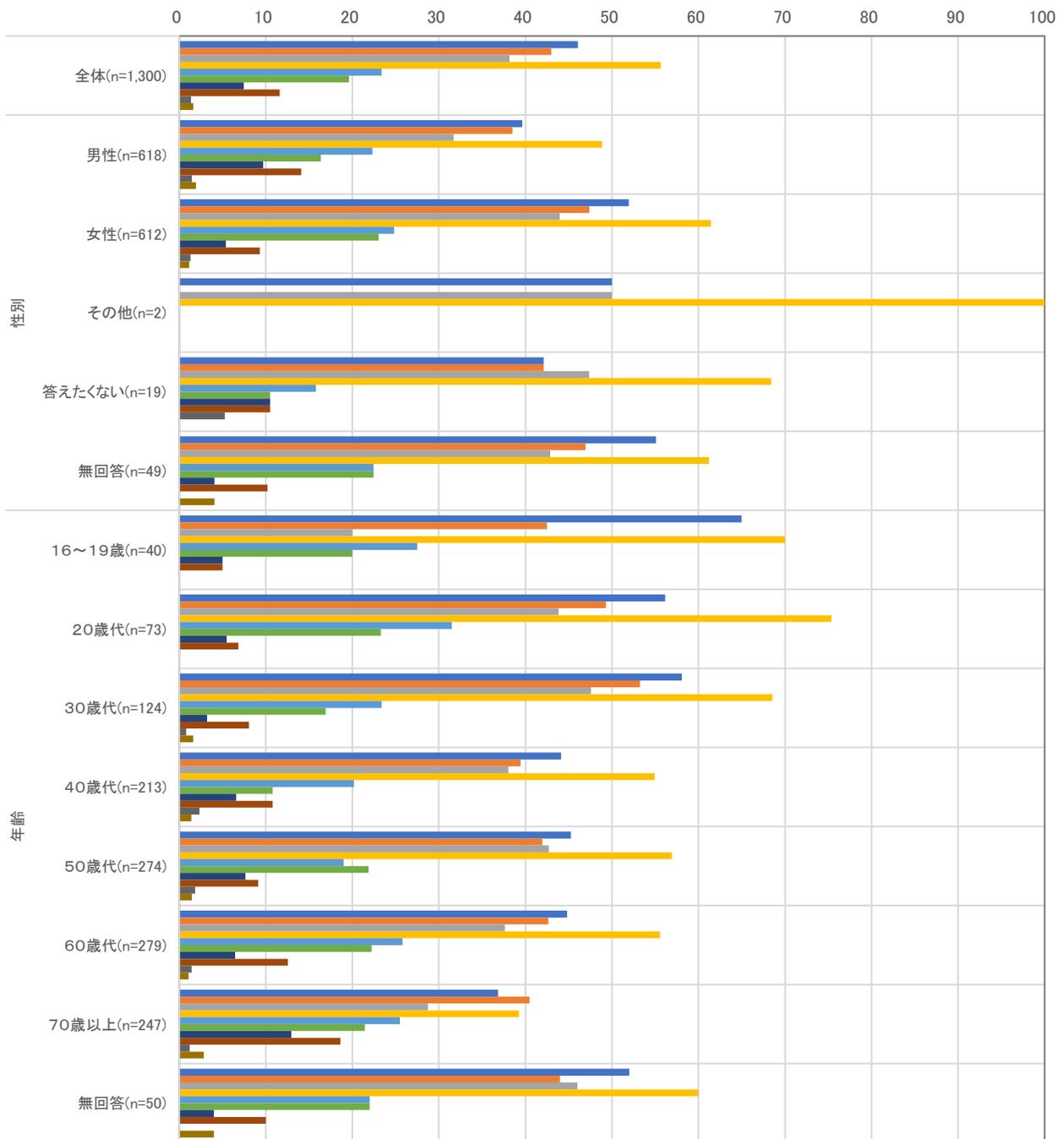
- 1. 女性
- 2. 子ども
- 3. 高齢者
- 4. 障がい者
- 5. 同和問題
- 6. アイヌの人々
- 7. 外国人
- 8. HIV感染者等
- 9. ハンセン病問題
- 10. 刑を終えて出所した人
- 11. 犯罪被害者等
- 12. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等
- 13. ホームレス
- 14. LGBTQ(※)等の性的少数者
- 15. 死刑制度
- 16. 中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)
- 17. 人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)
- 18. プライバシーの保護に関する問題
- 19. 東日本大震災等の災害発生に伴う人権問題
- 20. 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷・いじめ等)
- 21. インターネットによる人権侵害
- 22. 特にない
- 無回答

問9 あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）を他人に押しつけること	599	46.1%
2. 職場における差別待遇（女性であることを理由に実力が正しく評価されない等）	559	43.0%
3. 配偶者や交際相手からの暴力（身体的・精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力等）	496	38.2%
4. 女性に対するハラスメント（セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）、マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産に伴う嫌がらせ）、モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）等）	723	55.6%
5. 売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む）、女性の働く風俗営業	304	23.4%
6. 女性の性を強調した広告、雑誌等	255	19.6%
7. 人権問題は特にない	97	7.5%
8. わからない	151	11.6%
9. その他	18	1.4%
無回答	21	1.6%
対象	1,300	-

「女性に対するハラスメント（セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）、マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産に伴う嫌がらせ）、モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）等）」が55.6%と約6割で最も多い。次に、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）を他人に押しつけること」（46.1%）、「職場における差別待遇（女性であることを理由に実力が正しく評価されない等）」（43.0%）と続いている。



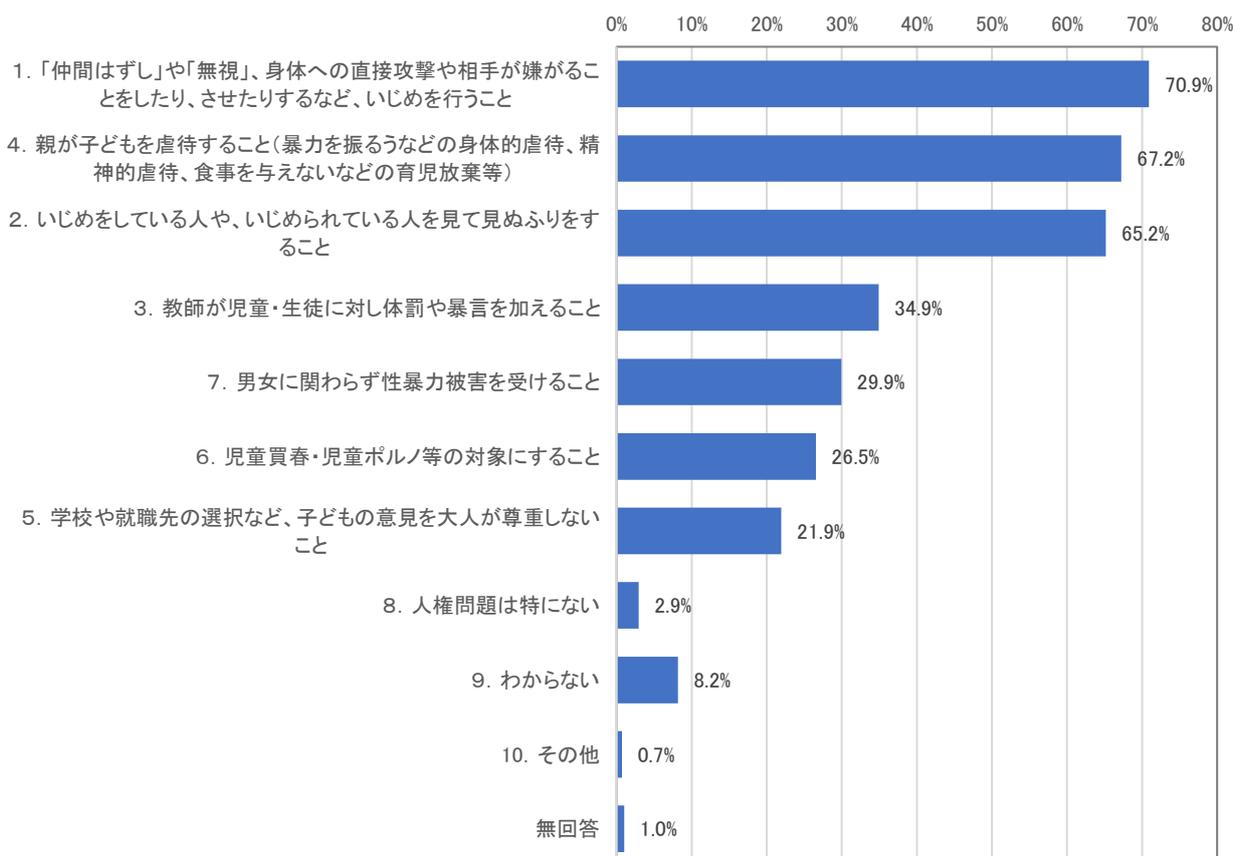


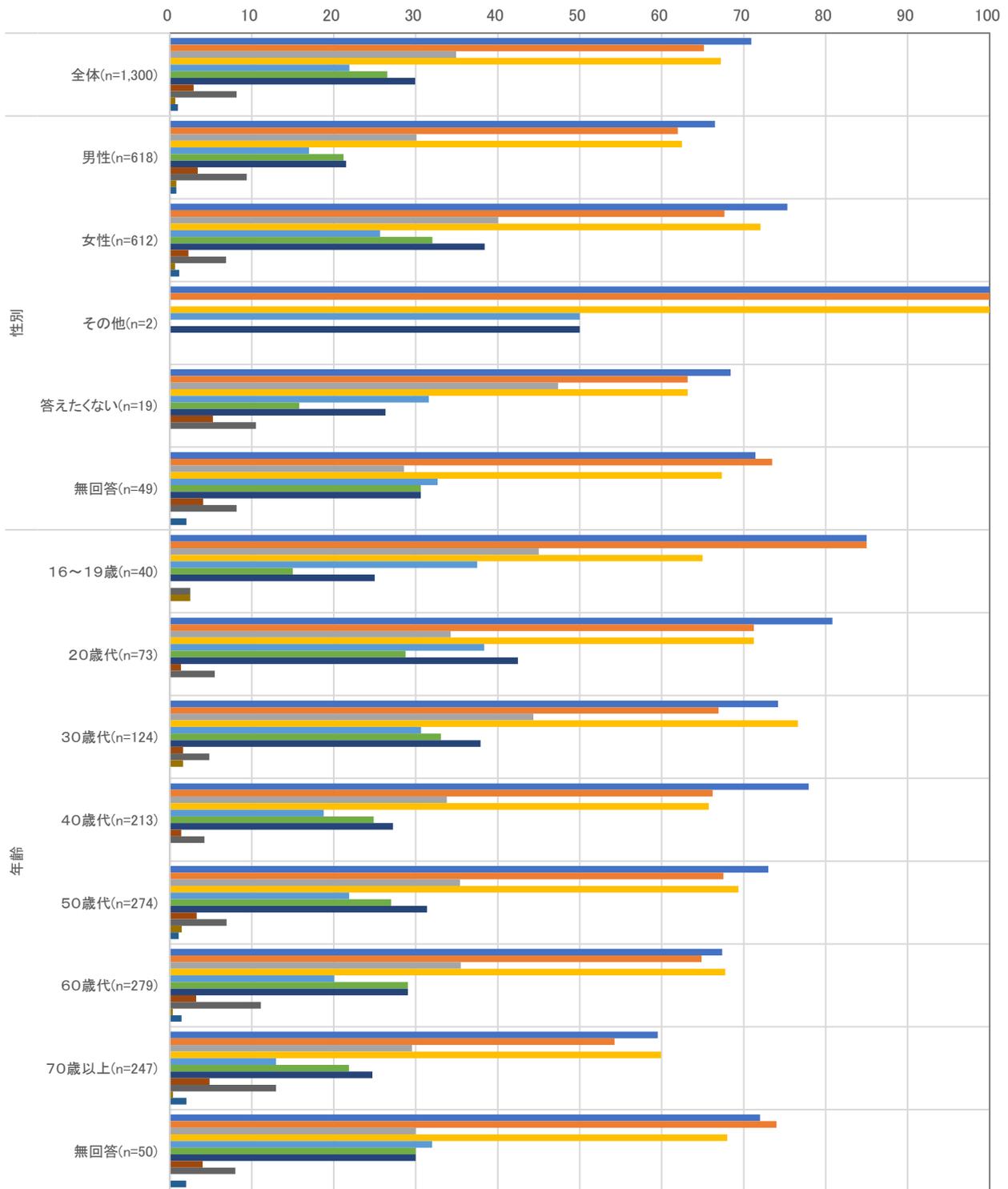
- 1. 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」等)を他人に押しつけること
- 2. 職場における差別待遇(女性であることを理由に実力が正しく評価されない等)
- 3. 配偶者や交際相手からの暴力(身体的・精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力等)
- 4. 女性に対するハラスメント(セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)、マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産に伴う嫌がらせ)、モラル・ハラスメント(言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ)等)
- 5. 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)、女性の働く風俗営業
- 6. 女性の性を強調した広告、雑誌等
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 10 あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと	922	70.9%
2. いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること	847	65.2%
3. 教師が児童・生徒に対し体罰や暴言を加えること	454	34.9%
4. 親が子どもを虐待すること（暴力を振るうなどの身体的虐待、精神的虐待、食事を与えないなどの育児放棄等）	874	67.2%
5. 学校や就職先の選択など、子どもの意見を大人が尊重しないこと	285	21.9%
6. 児童買春・児童ポルノ等の対象にすること	345	26.5%
7. 男女に関わらず性暴力被害を受けること	389	29.9%
8. 人権問題は特にならない	38	2.9%
9. わからない	106	8.2%
10. その他	9	0.7%
無回答	13	1.0%
対象	1,300	-

「「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと」が70.9%、「親が子どもを虐待すること（暴力を振るうなどの身体的虐待、精神的虐待、食事を与えないなどの育児放棄等）」が67.2%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」が65.2%と3項目が約7割となる。



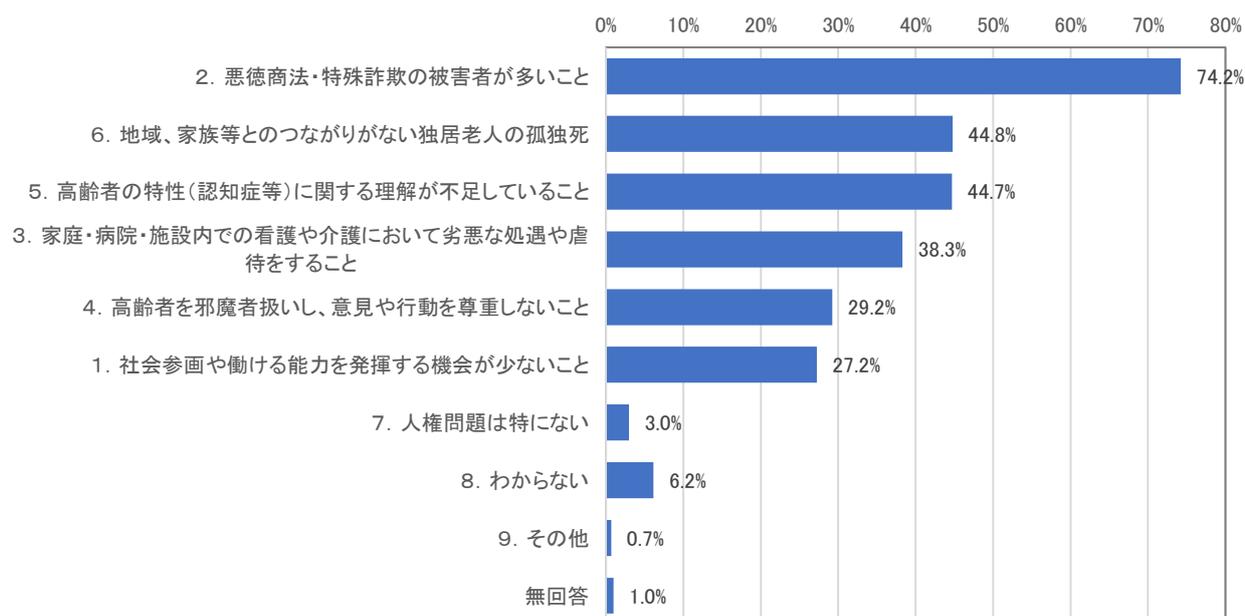


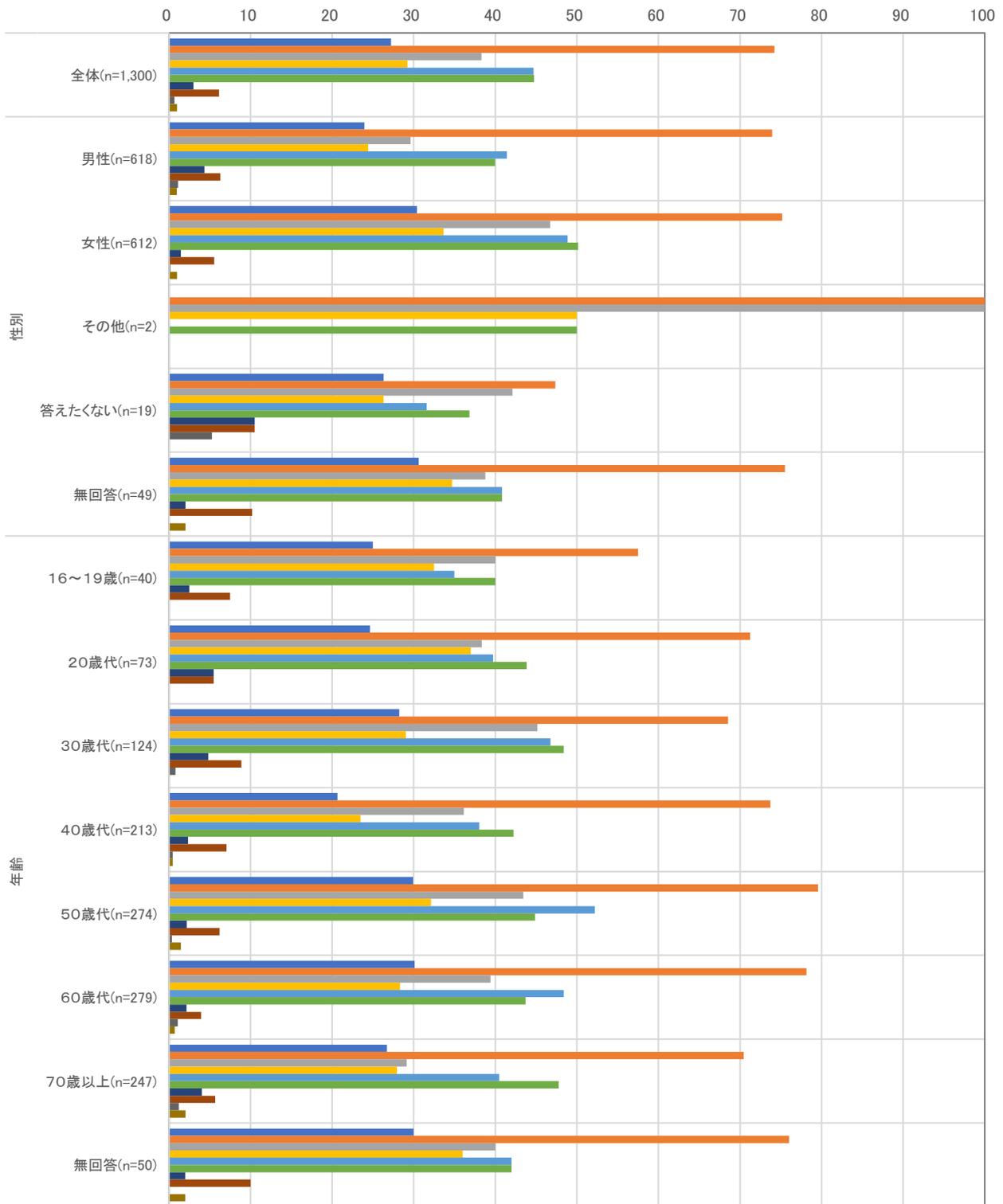
- 1. 「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと
- 2. いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする
- 3. 教師が児童・生徒に対し体罰や暴言を加えること
- 4. 親が子どもを虐待すること(暴力を振るうなどの身体的虐待、精神的虐待、食事を与えないなどの育児放棄等)
- 5. 学校や就職先の選択など、子どもの意見を大人が尊重しないこと
- 6. 児童買春・児童ポルノ等の対象にすること
- 7. 男女に関わらず性暴力被害を受けること
- 8. 人権問題は特にない
- 9. わからない
- 10. その他
- 無回答

問11 あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと	354	27.2%
2. 悪徳商法・特殊詐欺の被害者が多いこと	965	74.2%
3. 家庭・病院・施設内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待をすること	498	38.3%
4. 高齢者を邪魔者扱いし、意見や行動を尊重しないこと	380	29.2%
5. 高齢者の特性（認知症等）に関する理解が不足していること	581	44.7%
6. 地域、家族等とのつながりが無い独居老人の孤独死	582	44.8%
7. 人権問題は特にない	39	3.0%
8. わからない	80	6.2%
9. その他	9	0.7%
無回答	13	1.0%
対象	1,300	-

「悪徳商法・特殊詐欺の被害者が多いこと」が74.2%と約7割で最も多い。次に、「地域、家族等とのつながりが無い独居老人の孤独死」(44.8%)、「高齢者の特性（認知症等）に関する理解が不足していること」(44.7%)と続いている。



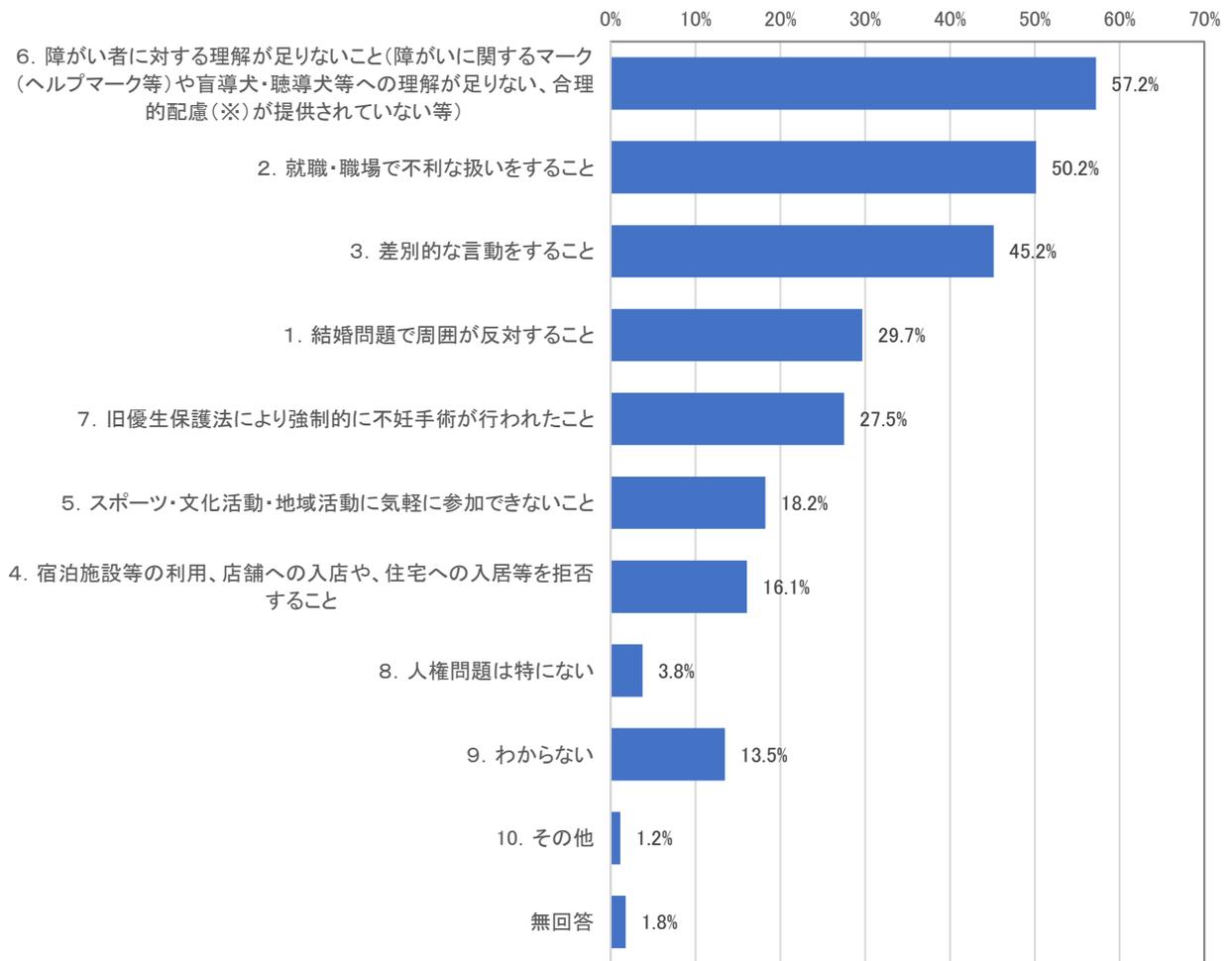


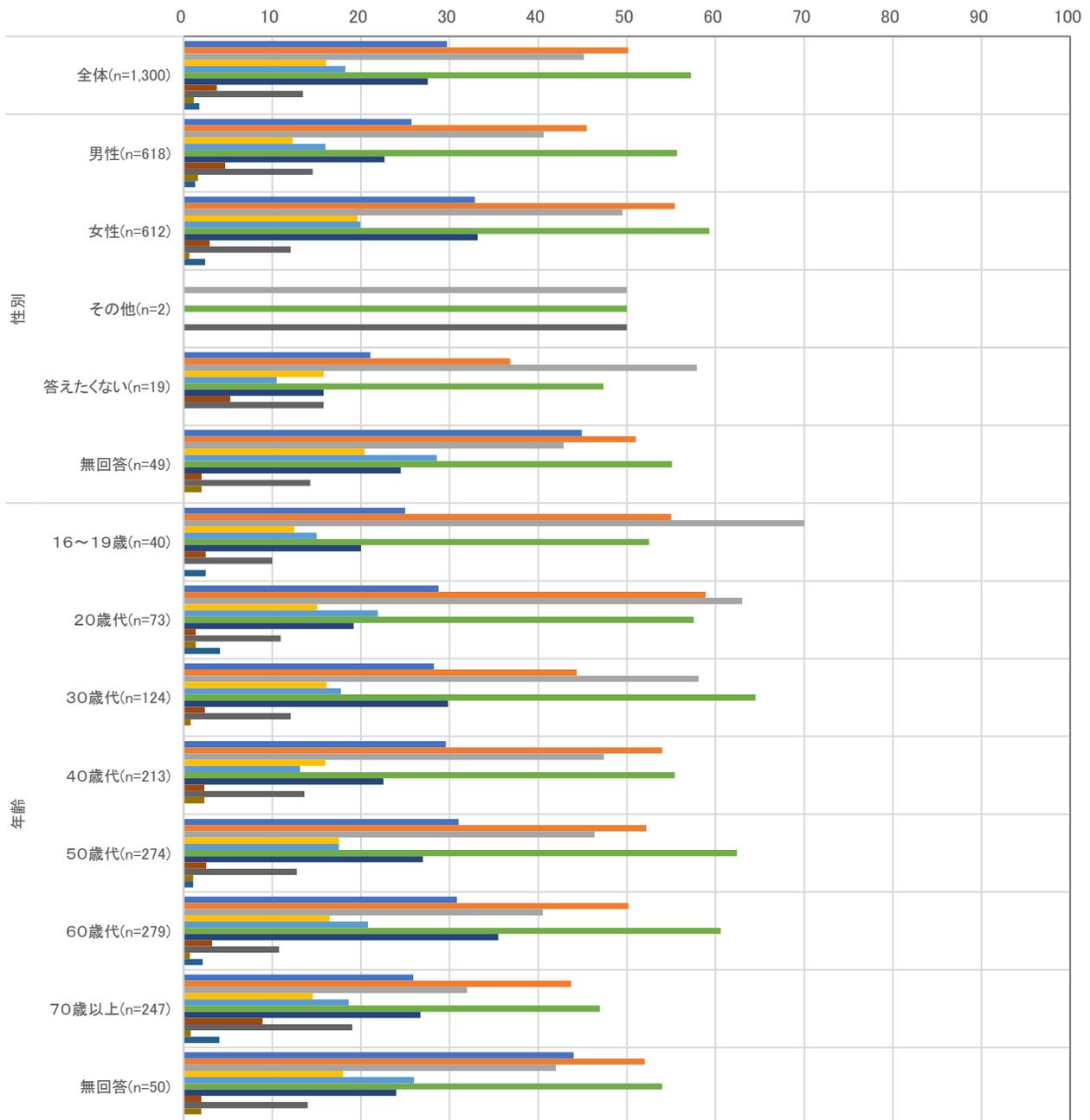
- 1. 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 2. 悪徳商法・特殊詐欺の被害者が多いこと
- 3. 家庭・病院・施設内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待をすること
- 4. 高齢者を邪魔者扱いし、意見や行動を尊重しないこと
- 5. 高齢者の特性(認知症等)に関する理解が不足していること
- 6. 地域、家族等とのつながりが無い独居老人の孤独死
- 7. 人権問題は特でない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 12 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 結婚問題で周囲が反対すること	386	29.7%
2. 就職・職場で不利な扱いをすること	652	50.2%
3. 差別的な言動をすること	587	45.2%
4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	209	16.1%
5. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	237	18.2%
6. 障がい者に対する理解が足りないこと（障がいに関するマーク（ヘルプマーク等）や盲導犬・聴導犬等への理解が足りない、合理的配慮（※）が提供されていない等）	744	57.2%
7. 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと	358	27.5%
8. 人権問題は特にない	49	3.8%
9. わからない	175	13.5%
10. その他	15	1.2%
無回答	23	1.8%
対象	1,300	-

「障がい者に対する理解が足りないこと（障がいに関するマーク（ヘルプマーク等）や盲導犬・聴導犬等への理解が足りない、合理的配慮（※）が提供されていない等）」が 57.2%と約 6 割で最も多い。次に、「就職・職場で不利な扱いをすること」(50.2%)、「差別的な言動をすること」(45.2%)と続いている。



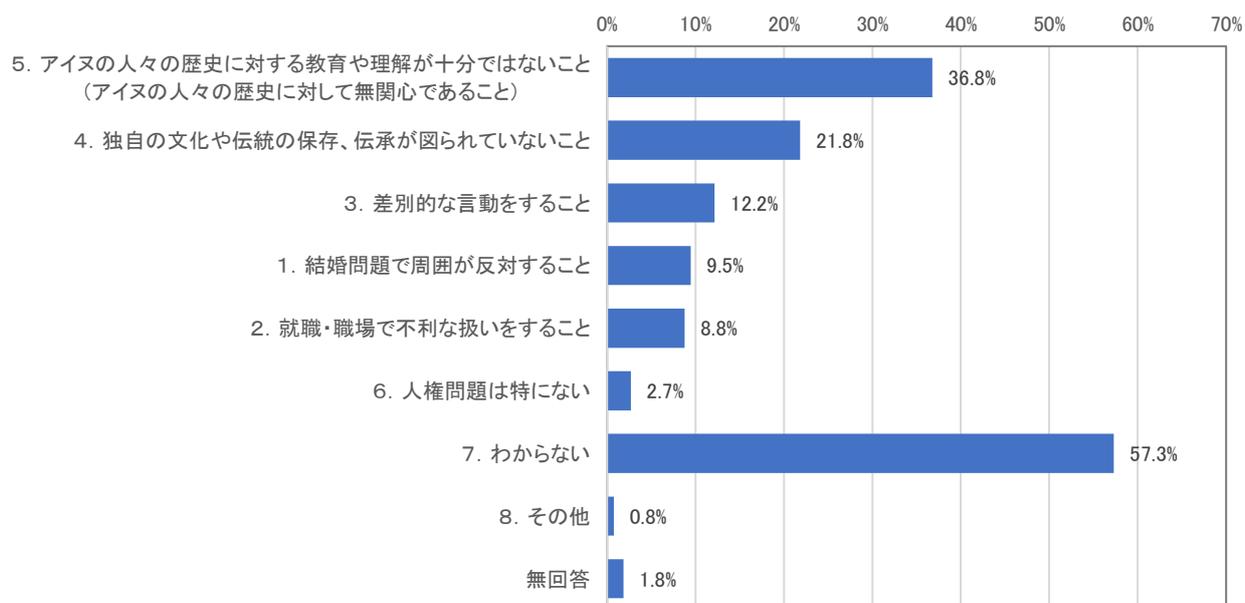


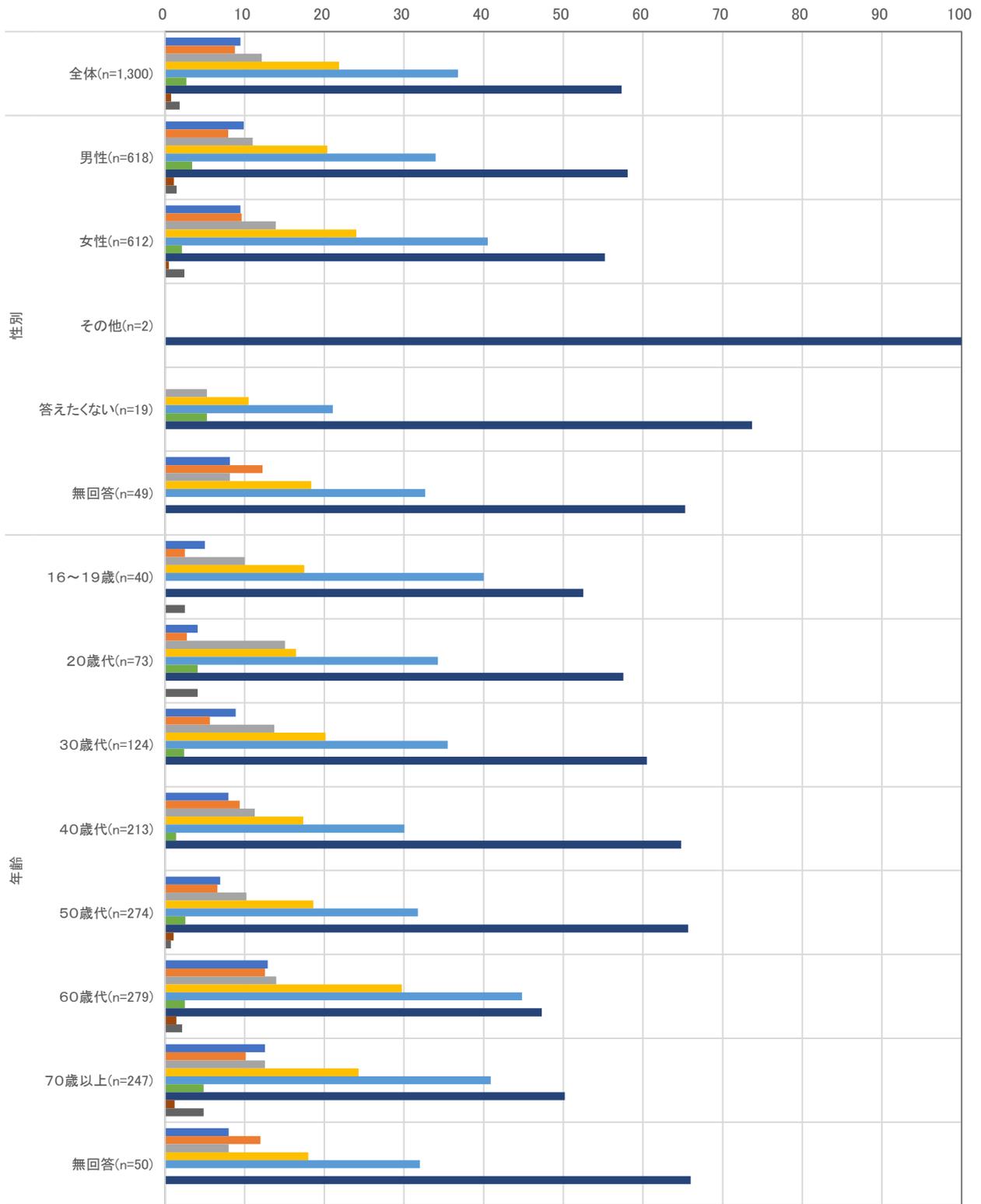
- 1. 結婚問題で周囲が反対すること
- 2. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3. 差別的な言動をすること
- 4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 5. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
- 6. 障がい者に対する理解が足りないこと(障がいに関するマーク(ヘルプマーク等)や盲導犬・聴導犬等への理解が足りない、合理的配慮(※)が提供されていない等)
- 7. 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと
- 8. 人権問題は特にない
- 9. わからない
- 10. その他
- 無回答

問 13 あなたは、アイヌの人々に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 結婚問題で周囲が反対すること	123	9.5%
2. 就職・職場で不利な扱いをすること	114	8.8%
3. 差別的な言動をすること	158	12.2%
4. 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	284	21.8%
5. アイヌの人々の歴史に対する教育や理解が十分ではないこと（アイヌの人々の歴史に対して無関心であること）	478	36.8%
6. 人権問題は特にない	35	2.7%
7. わからない	745	57.3%
8. その他	10	0.8%
無回答	24	1.8%
対象	1,300	-

「わからない」が57.3%と約6割で最も多い。次に、「アイヌの人々の歴史に対する教育や理解が十分ではないこと（アイヌの人々の歴史に対して無関心であること）」(36.8%)、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」(21.8%)と続いている。



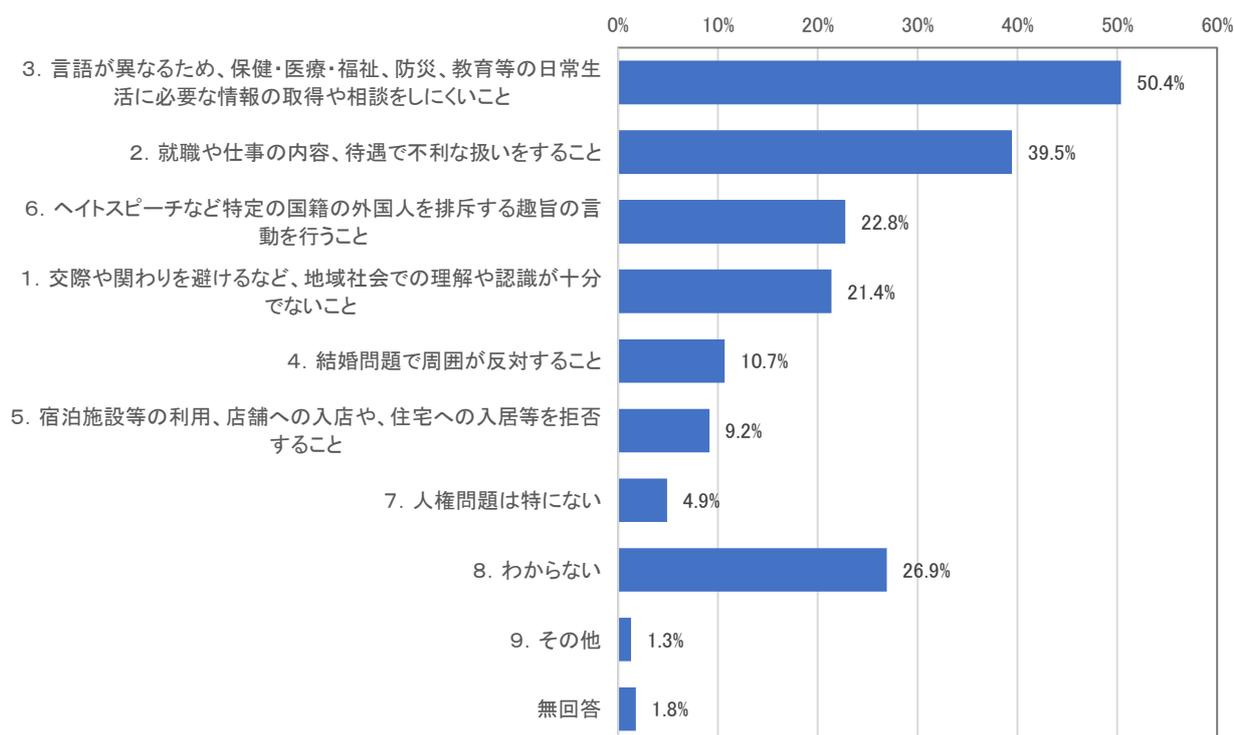


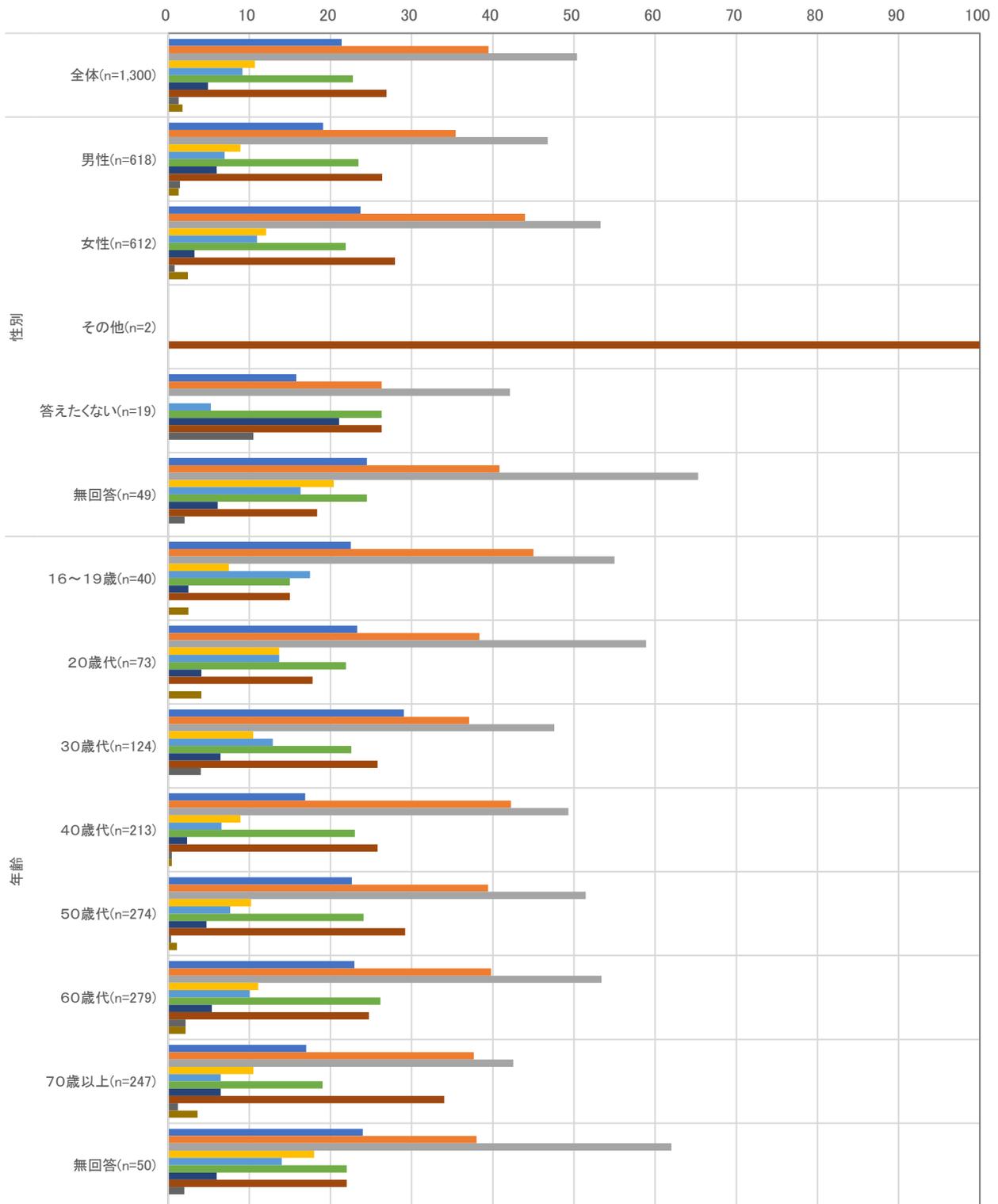
- 1. 結婚問題で周囲が反対すること
- 2. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3. 差別的な言動をすること
- 4. 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと
- 5. アイヌの人々の歴史に対する教育や理解が十分ではないこと(アイヌの人々の歴史に対して無関心であること)
- 6. 人権問題は特にはない
- 7. わからない
- 8. その他
- 無回答

問 14 日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと	278	21.4%
2. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること	513	39.5%
3. 言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育等の日常生活に必要な情報の取得や相談をしにくいこと	655	50.4%
4. 結婚問題で周囲が反対すること	139	10.7%
5. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	119	9.2%
6. ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと	296	22.8%
7. 人権問題は特にない	64	4.9%
8. わからない	350	26.9%
9. その他	17	1.3%
無回答	23	1.8%
対象	1,300	-

「言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育等の日常生活に必要な情報の取得や相談をしにくいこと」が50.4%と約5割で最も多い。次に、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること」(39.5%)、「わからない」(26.9%)と続いている。



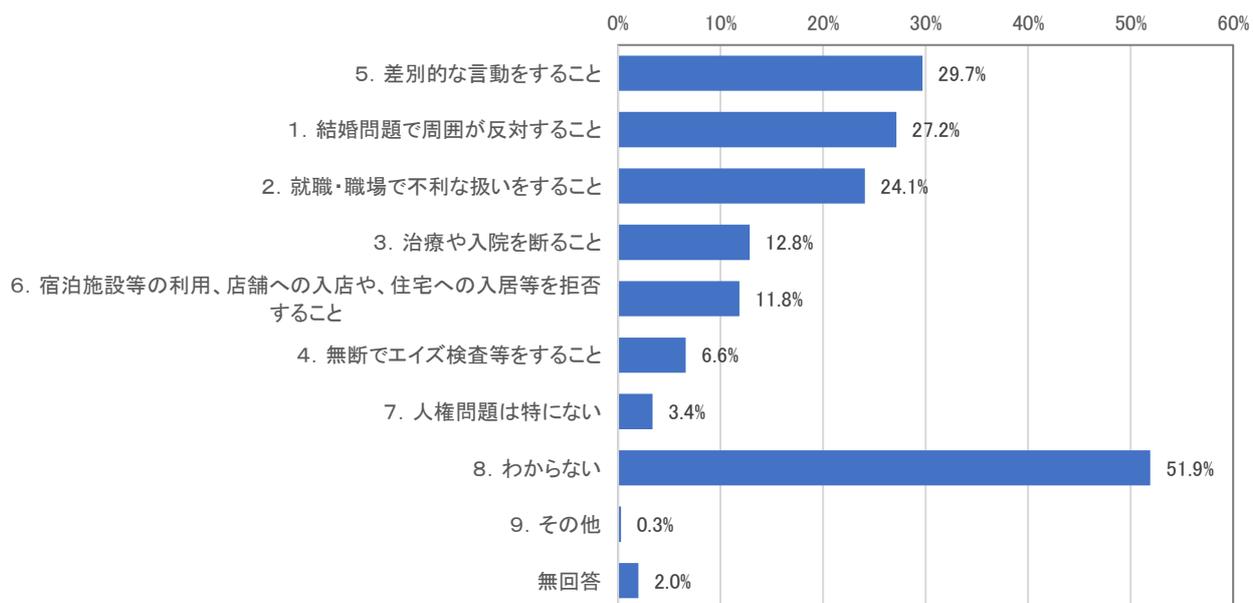


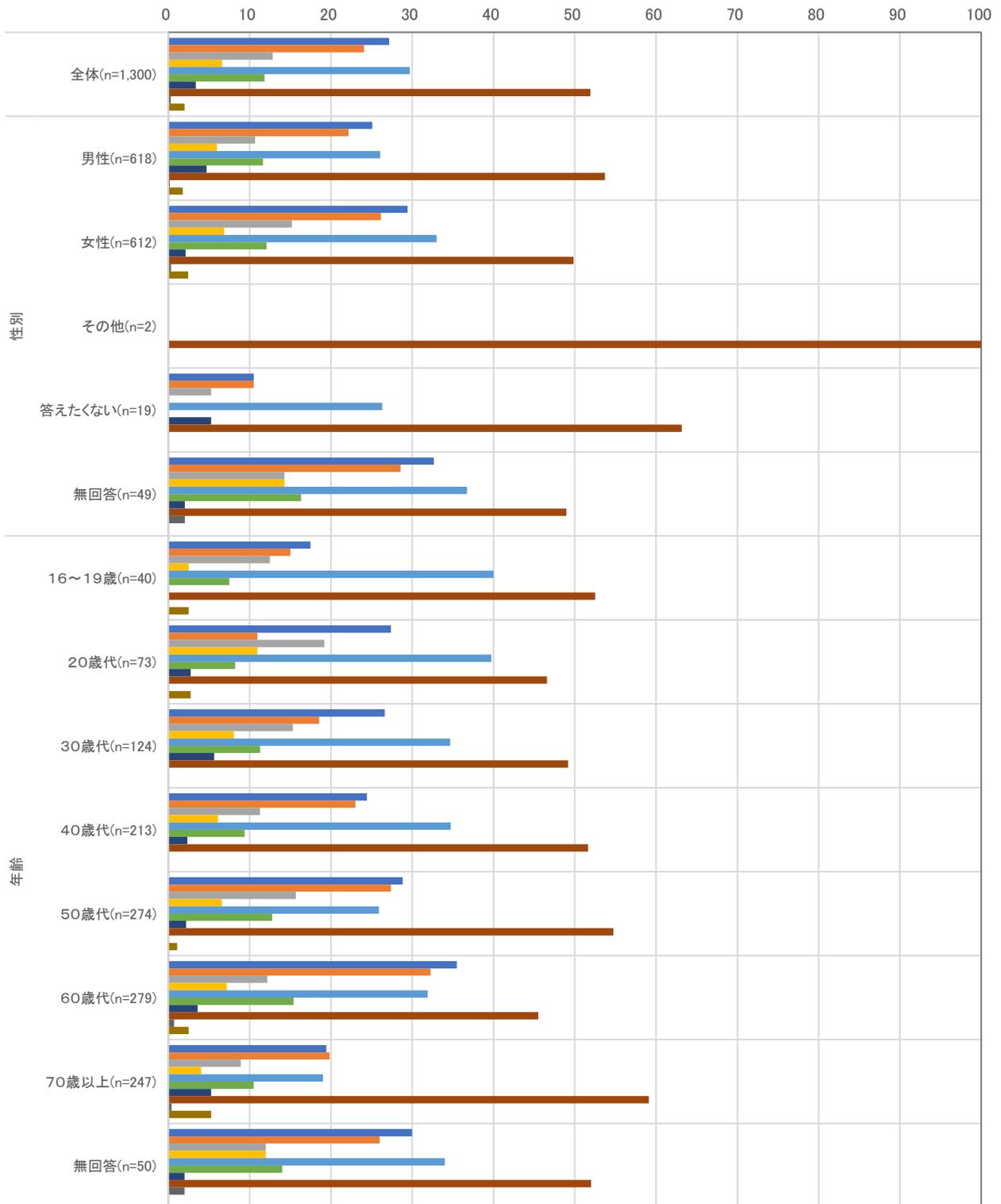
- 1. 交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと
- 2. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること
- 3. 言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育等の日常生活に必要な情報の取得や相談をしにくいこと
- 4. 結婚問題で周囲が反対すること
- 5. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 6. ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 15 あなたは、H I V感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 結婚問題で周囲が反対すること	353	27.2%
2. 就職・職場で不利な扱いをすること	313	24.1%
3. 治療や入院を断ること	167	12.8%
4. 無断でエイズ検査等をする事	86	6.6%
5. 差別的な言動をすること	386	29.7%
6. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	154	11.8%
7. 人権問題は特にな	44	3.4%
8. わからない	675	51.9%
9. その他	4	0.3%
無回答	26	2.0%
対象	1,300	-

「わからない」が51.9%と約5割で最も多い。次に、「差別的な言動をすること」(29.7%)、「結婚問題で周囲が反対すること」(27.2%)、「就職・職場で不利な扱いをすること」(24.1%)と続いている。



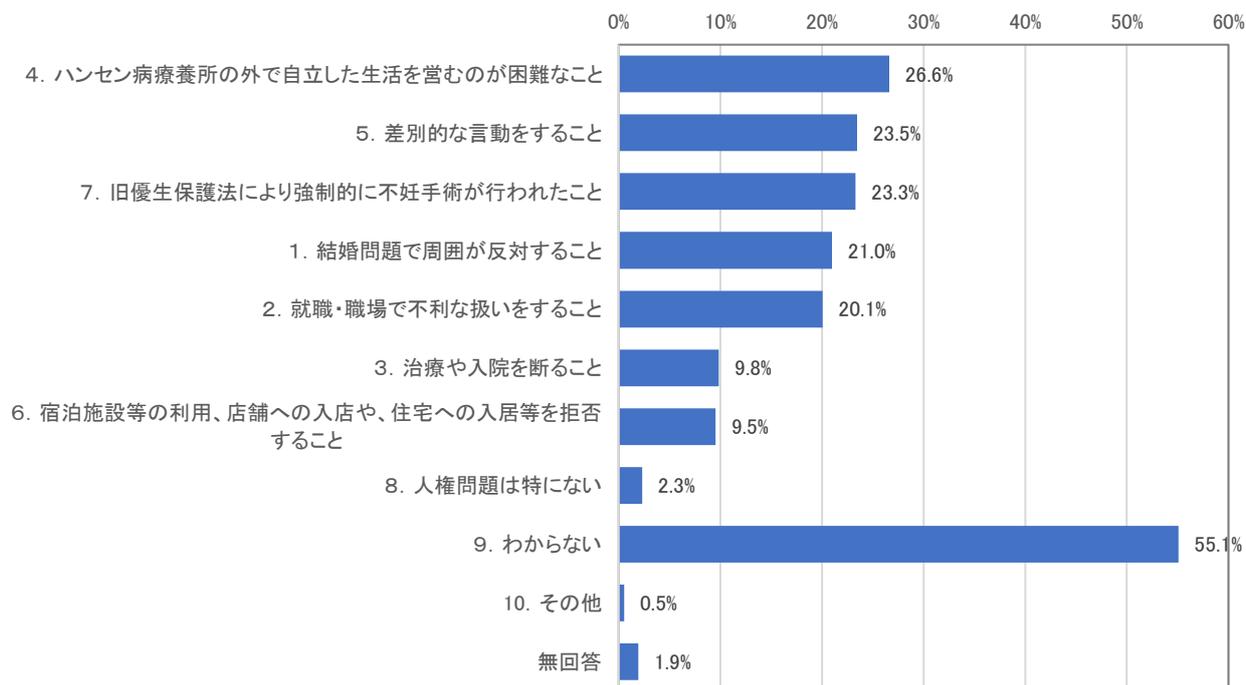


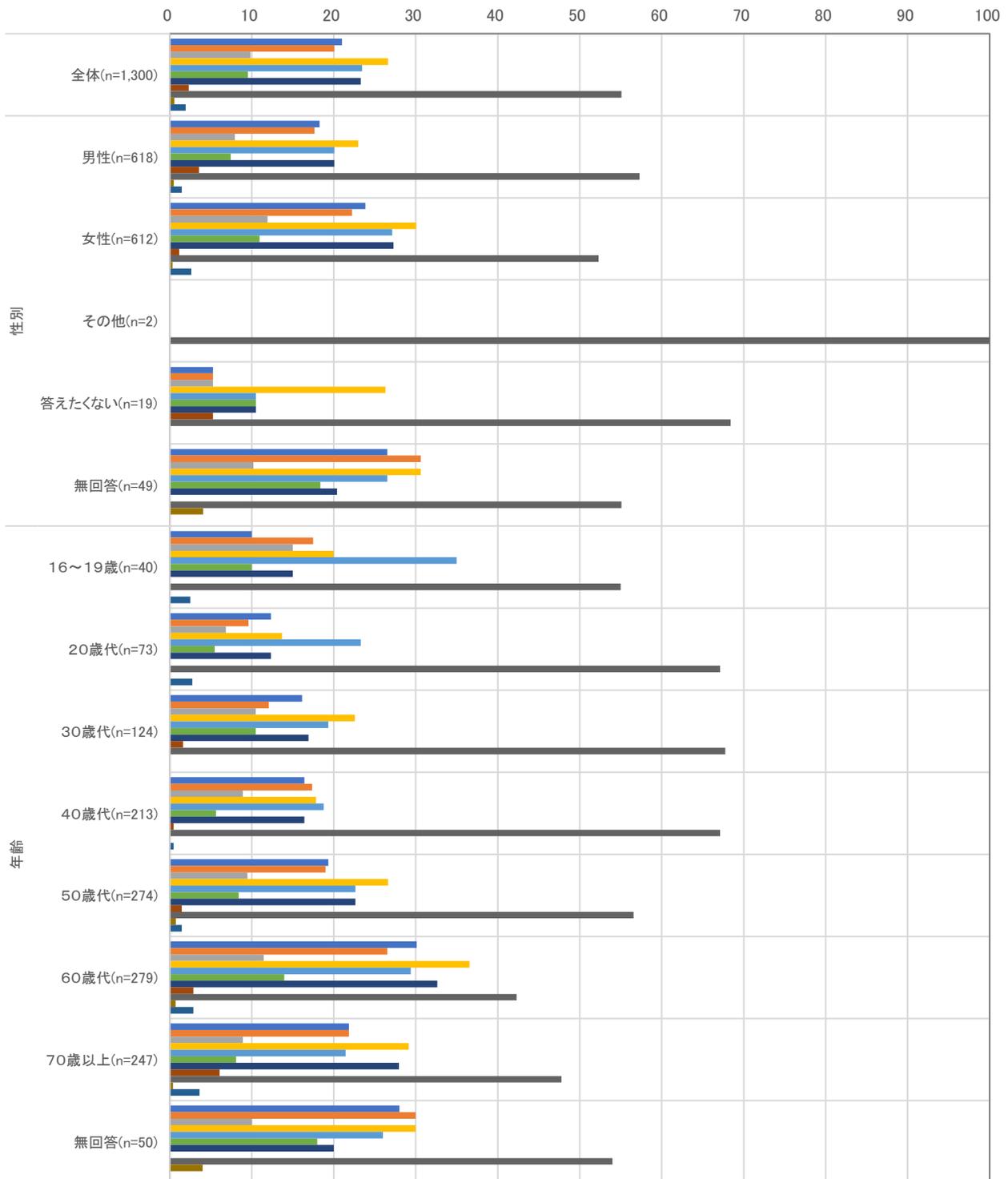
- 1. 結婚問題で周囲が反対すること
- 2. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3. 治療や入院を断ること
- 4. 無断でエイズ検査等を行うこと
- 5. 差別的な言動をすること
- 6. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 16 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 結婚問題で周囲が反対すること	273	21.0%
2. 就職・職場で不利な扱いをすること	261	20.1%
3. 治療や入院を断ること	128	9.8%
4. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと	346	26.6%
5. 差別的な言動をすること	305	23.5%
6. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	124	9.5%
7. 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと	303	23.3%
8. 人権問題は特にない	30	2.3%
9. わからない	716	55.1%
10. その他	7	0.5%
無回答	25	1.9%
対象	1,300	-

「わからない」が55.7%と約6割で最も多い。次に、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」(26.6%)、「差別的な言動をすること」(23.5%)、「旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと」(23.3%)、「結婚問題で周囲が反対すること」(21.0%)、「就職・職場で不利な扱いをすること」(20.1%)と続いている。



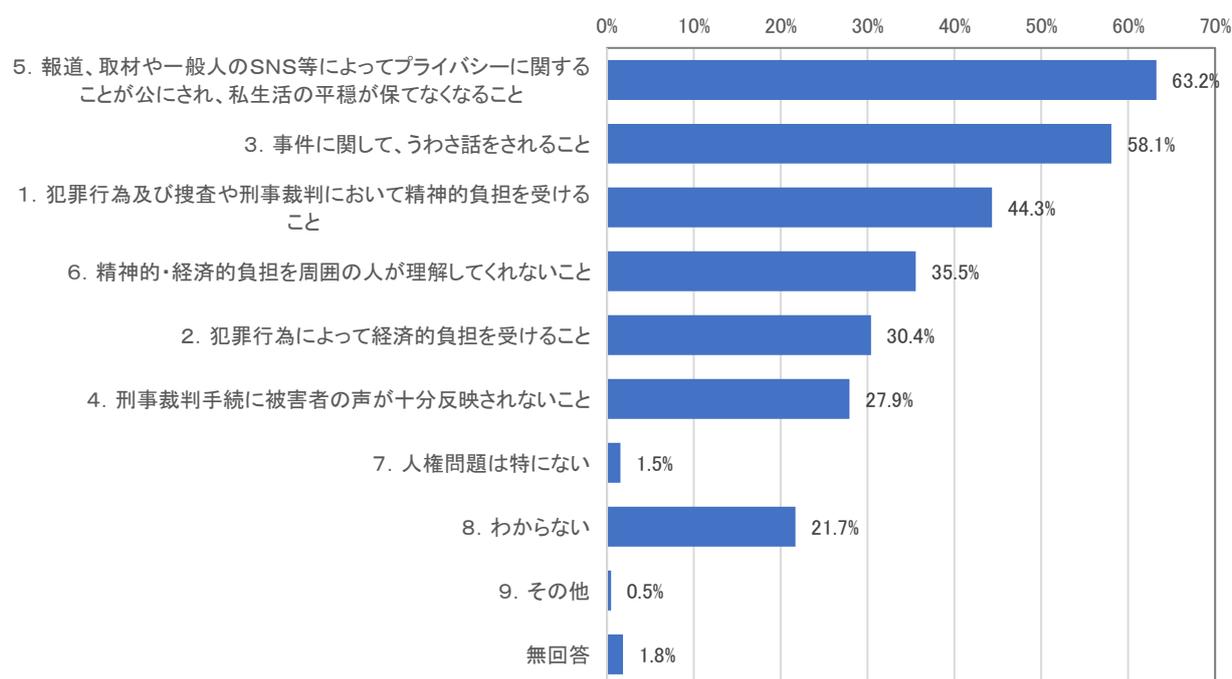


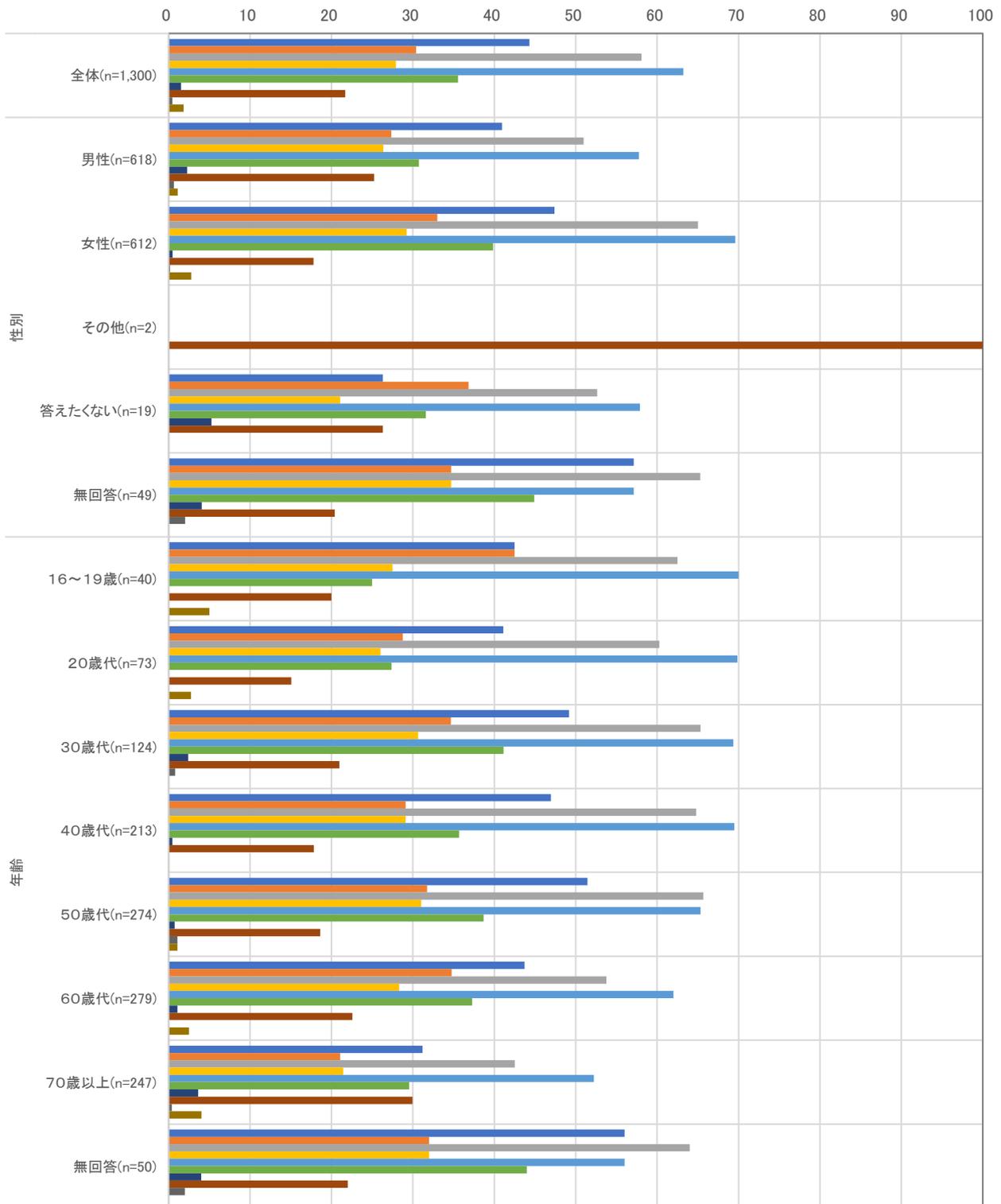
- 1. 結婚問題で周囲が反対すること
- 2. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3. 治療や入院を断ること
- 4. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと
- 5. 差別的な言動をすること
- 6. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 7. 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと
- 8. 人権問題は特にない
- 9. わからない
- 10. その他
- 無回答

問 17 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 犯罪行為及び捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	576	44.3%
2. 犯罪行為によって経済的負担を受けること	395	30.4%
3. 事件に関して、うわさ話をされること	755	58.1%
4. 刑事裁判手続に被害者の声が十分反映されないこと	363	27.9%
5. 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することが公にされ、私生活の平穏が保てなくなること	822	63.2%
6. 精神的・経済的負担を周囲の人が理解してくれないこと	462	35.5%
7. 人権問題は特にない	20	1.5%
8. わからない	282	21.7%
9. その他	6	0.5%
無回答	24	1.8%
対象	1,300	-

「報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することが公にされ、私生活の平穏が保てなくなること」が63.2%と約6割で最も多い。次に、「事件に関して、うわさ話をされること」(58.1%)、「犯罪行為及び捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」(44.3%)と続いている。



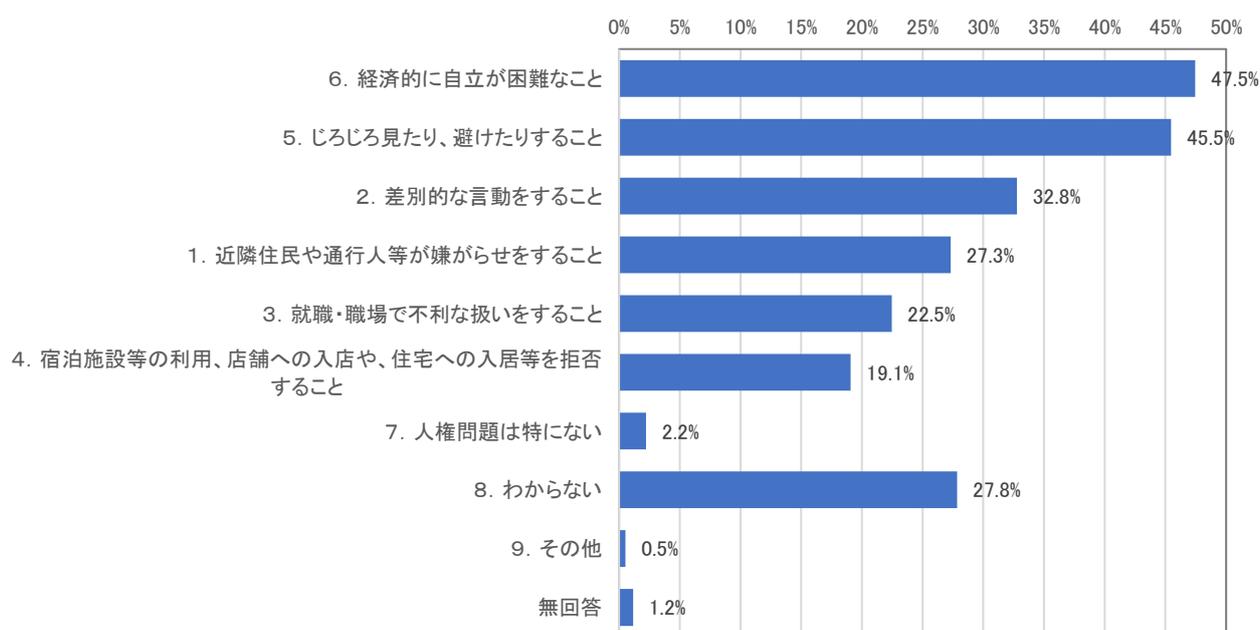


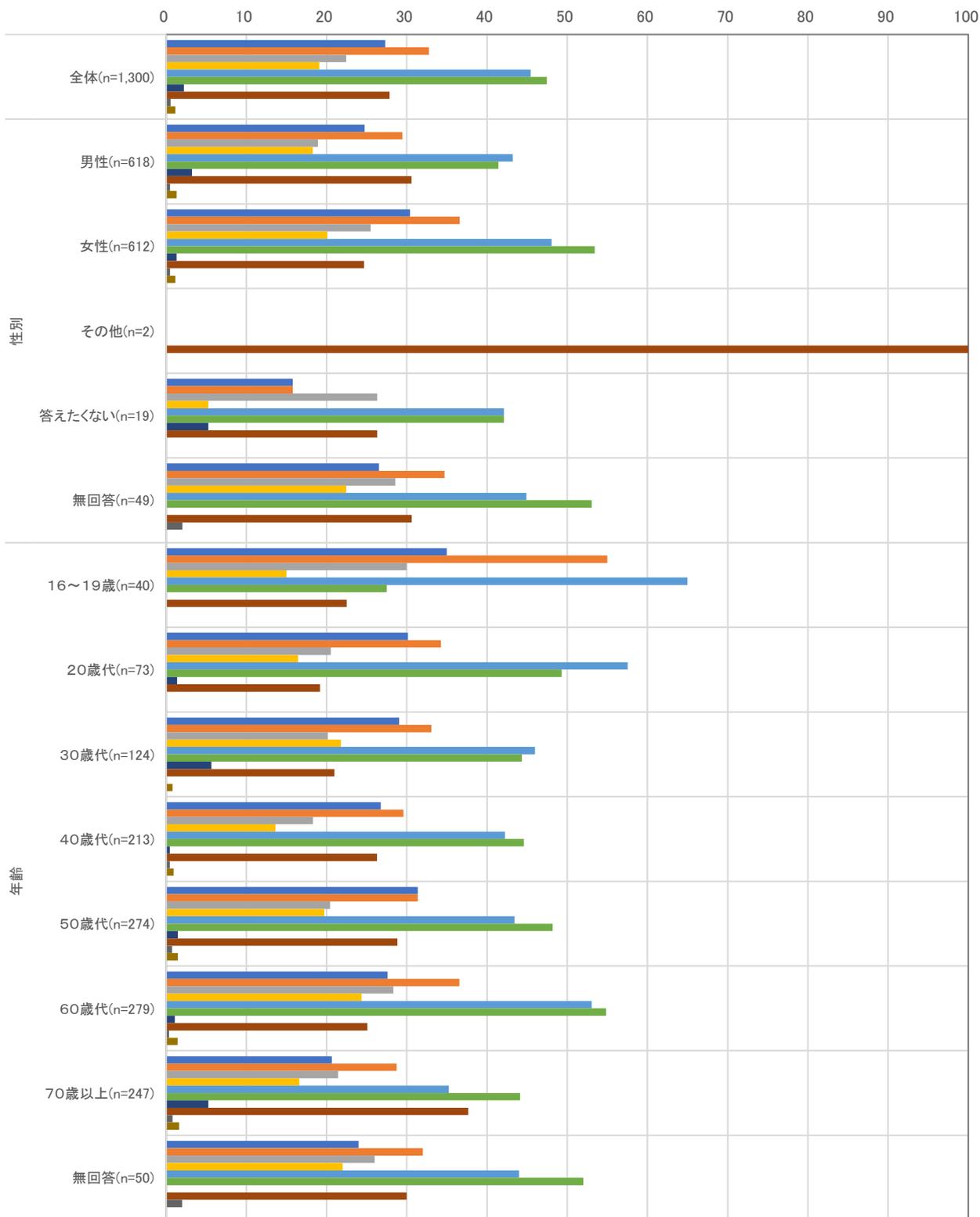
- 1. 犯罪行為及び捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
- 2. 犯罪行為によって経済的負担を受けること
- 3. 事件に関して、うわさ話をされること
- 4. 刑事裁判手続に被害者の声が十分反映されないこと
- 5. 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することが公にされ、私生活の平穏が保てなくなること
- 6. 精神的・経済的負担を周囲の人が理解してくれないこと
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 18 あなたは、ホームレスに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 近隣住民や通行人等が嫌がらせをすること	355	27.3%
2. 差別的な言動をすること	426	32.8%
3. 就職・職場で不利な扱いをすること	292	22.5%
4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	248	19.1%
5. じろじろ見たり、避けたりすること	591	45.5%
6. 経済的に自立が困難なこと	617	47.5%
7. 人権問題は特にない	29	2.2%
8. わからない	362	27.8%
9. その他	7	0.5%
無回答	15	1.2%
対象	1,300	-

「経済的に自立が困難なこと」が47.5%、「じろじろ見たり、避けたりすること」が45.5%で約5割となる。次に、「差別的な言動をすること」(32.8%)、「わからない」(27.8%)、「近隣住民や通行人等が嫌がらせをすること」(27.3%)と続いている。



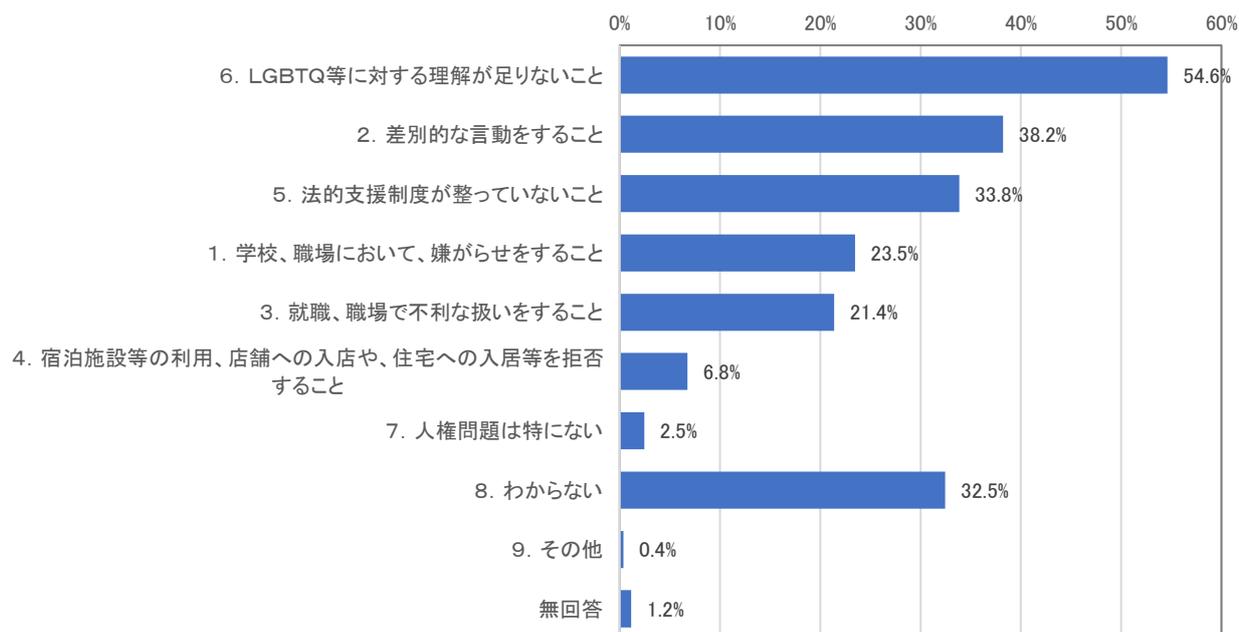


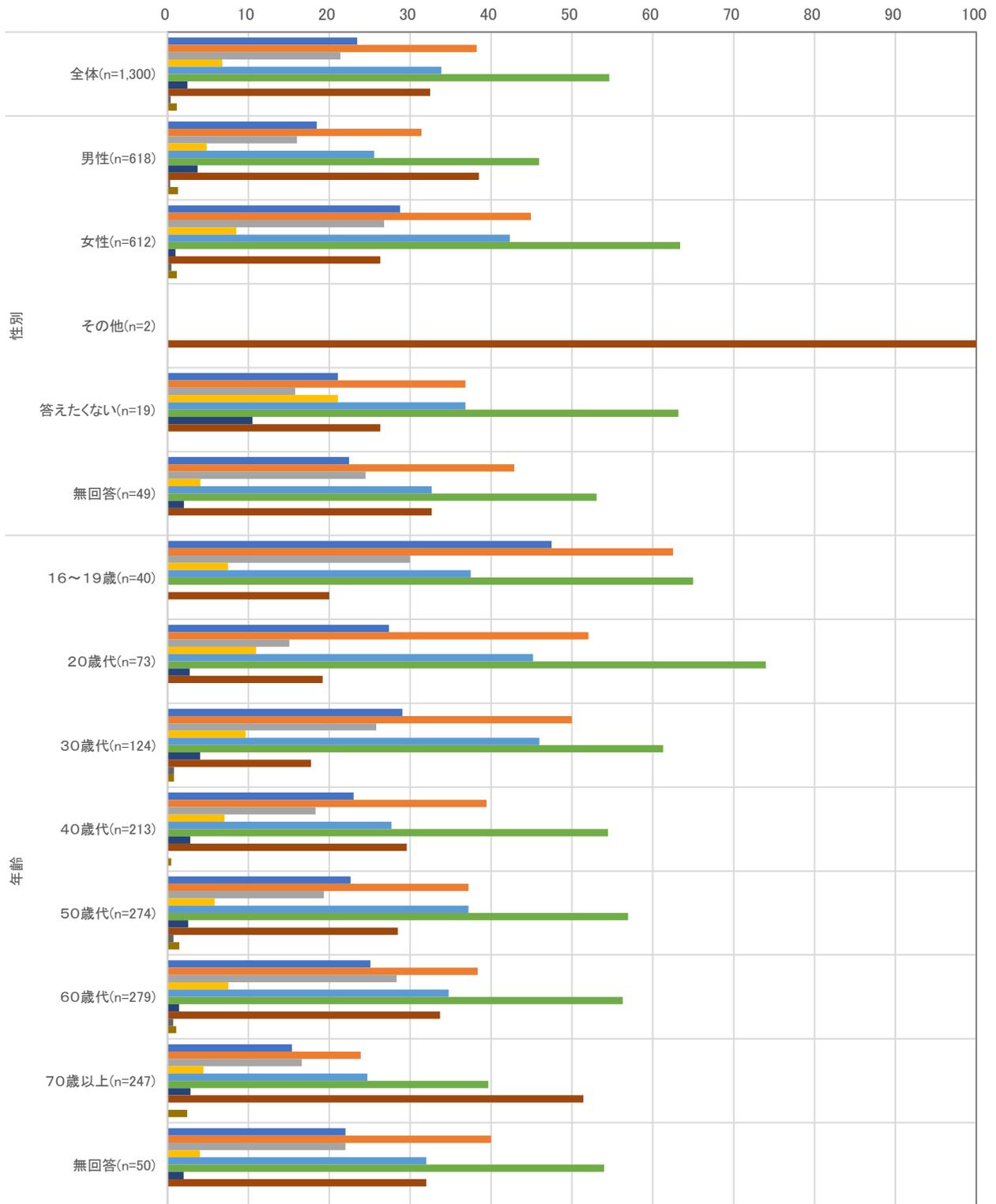
- 1. 近隣住民や通行人等が嫌がらせをすること
- 2. 差別的な言動をすること
- 3. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 5. じろじろ見たり、避けたりすること
- 6. 経済的に自立が困難なこと
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 19 あなたは、LGBTQ（※）等の性的少数者の方々に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 学校、職場において、嫌がらせをすること	305	23.5%
2. 差別的な言動をすること	497	38.2%
3. 就職、職場で不利な扱いをすること	278	21.4%
4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること	88	6.8%
5. 法的支援制度が整っていないこと	440	33.8%
6. LGBTQ等に対する理解が足りないこと	710	54.6%
7. 人権問題は特にない	32	2.5%
8. わからない	422	32.5%
9. その他	5	0.4%
無回答	15	1.2%
対象	1,300	-

「LGBTQ等に対する理解が足りないこと」が54.6%と約5割で最も多い。次に、「差別的な言動をすること」(38.2%)、「法的支援制度が整っていないこと」(33.8%)、「わからない」(32.5%)と続いている。



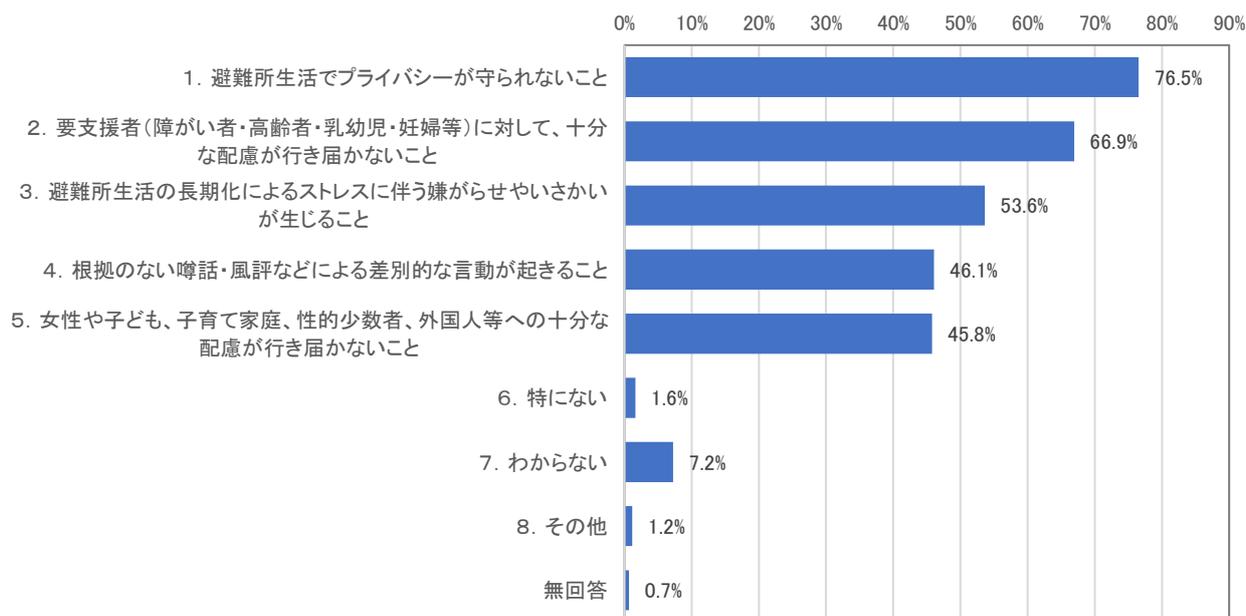


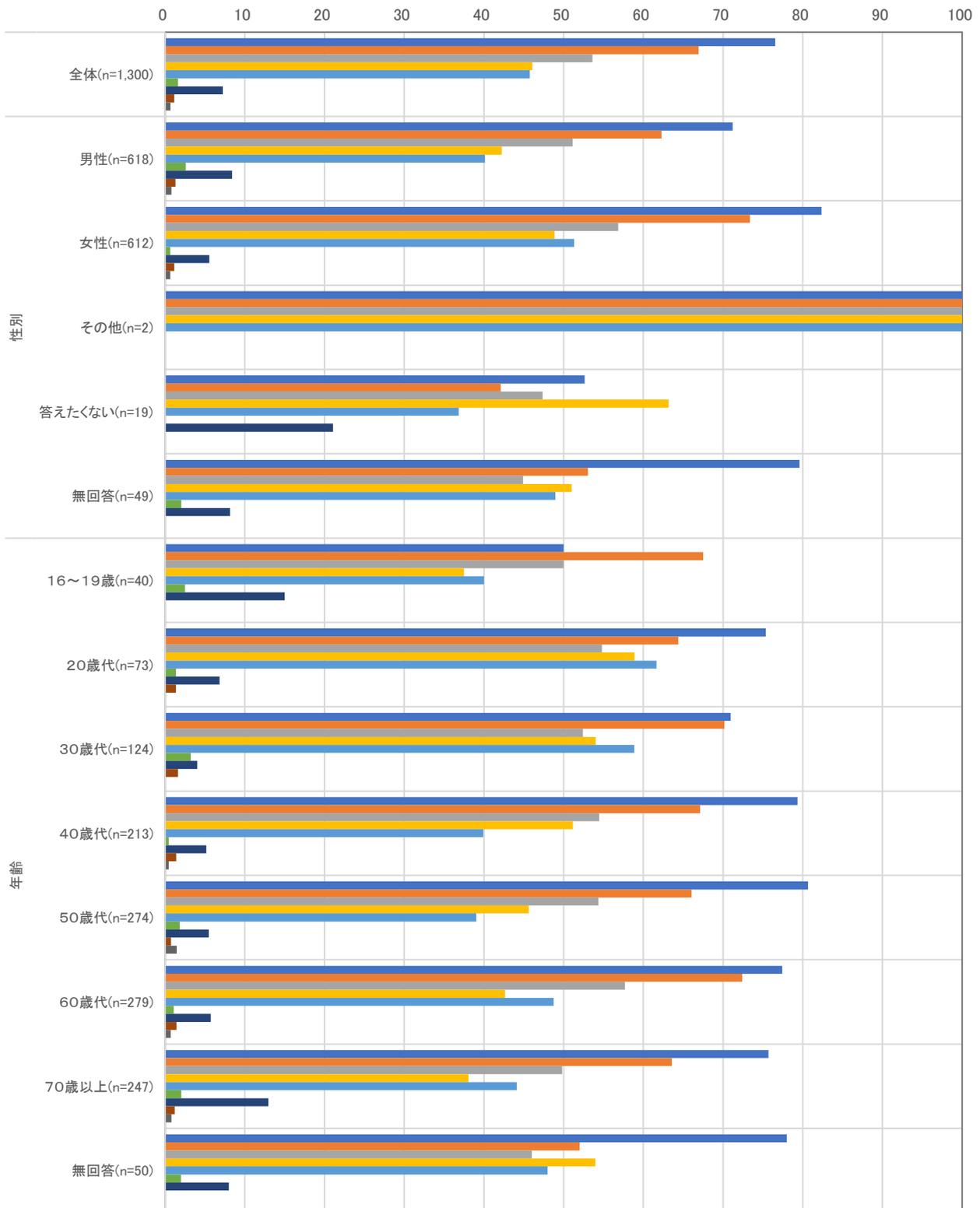
- 1. 学校、職場において、嫌がらせをすること
- 2. 差別的な言動をすること
- 3. 就職、職場で不利な扱いをすること
- 4. 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること
- 5. 法的支援制度が整っていないこと
- 6. LGBTQ等に対する理解が足りないこと
- 7. 人権問題は特にならない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 20 あなたは、地震や台風による水害などの災害が起きた場合に、どのような人権問題が起きると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 避難所生活でプライバシーが守られないこと	995	76.5%
2. 要支援者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊婦等）に対して、十分な配慮が行き届かないこと	870	66.9%
3. 避難所生活の長期化によるストレスに伴う嫌がらせやいさかいが生じること	697	53.6%
4. 根拠のない噂話・風評などによる差別的な言動が起きること	599	46.1%
5. 女性や子ども、子育て家庭、性的少数者、外国人等への十分な配慮が行き届かないこと	595	45.8%
6. 特にない	21	1.6%
7. わからない	94	7.2%
8. その他	15	1.2%
無回答	9	0.7%
対象	1,300	-

「避難所生活でプライバシーが守られないこと」が76.5%と約8割で最も多い。次に、「要支援者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊婦等）に対して、十分な配慮が行き届かないこと」（66.9%）、「避難所生活の長期化によるストレスに伴う嫌がらせやいさかいが生じること」（53.6%）と続いている。



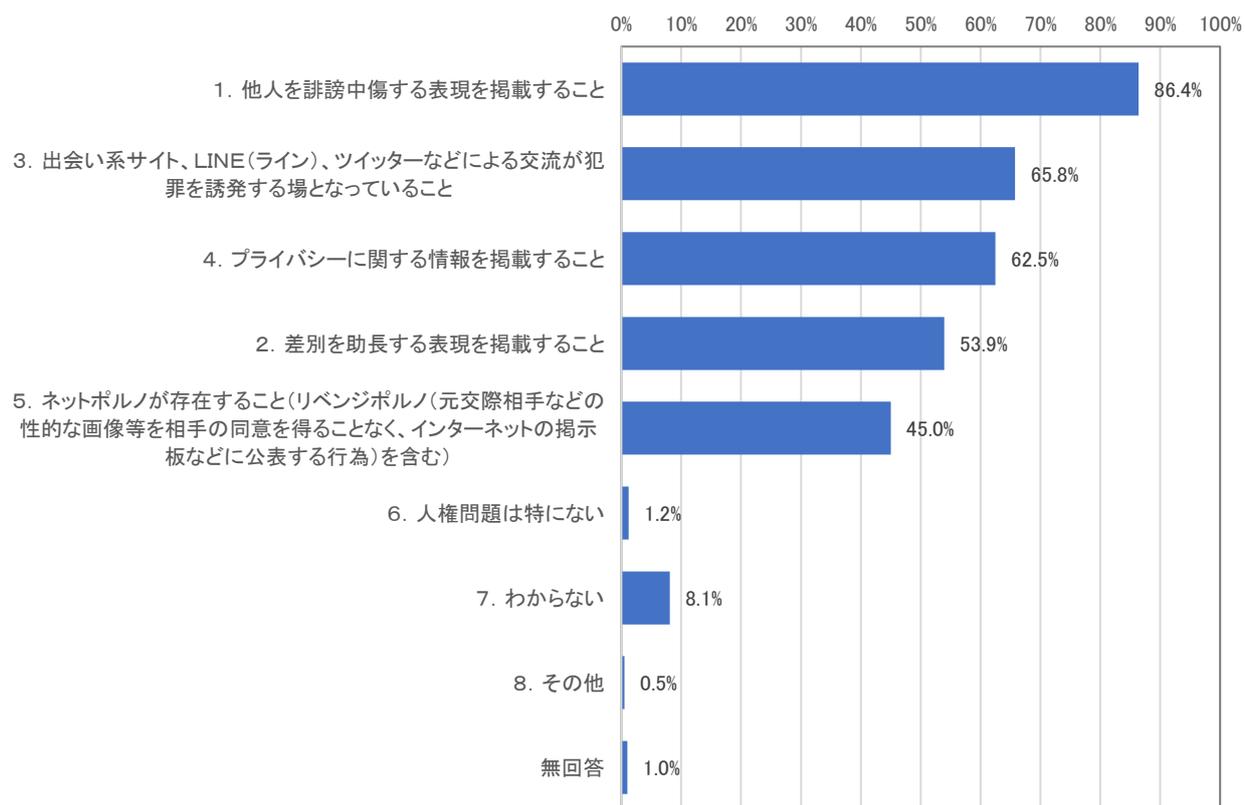


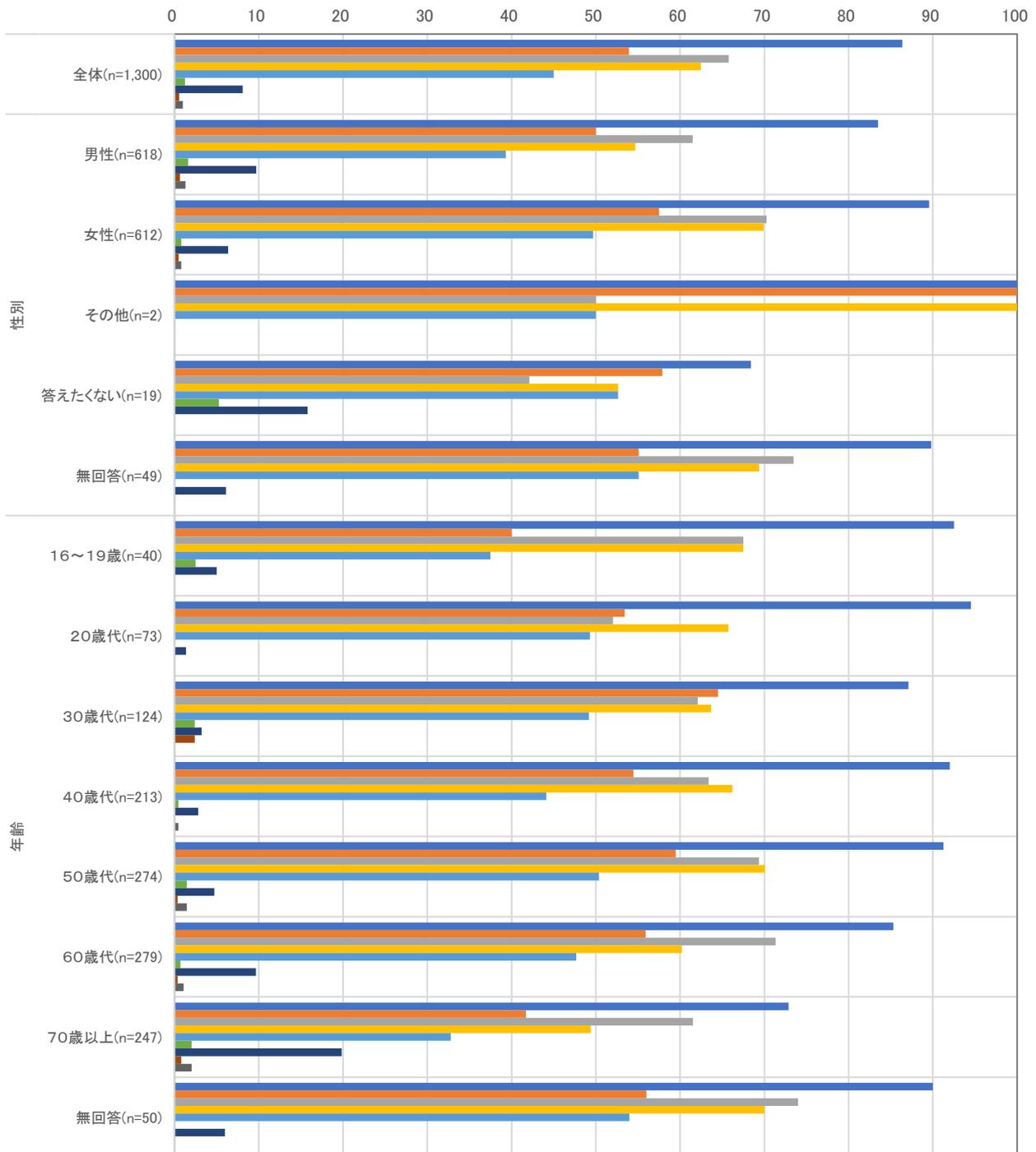
- 1. 避難所生活でプライバシーが守られないこと
- 2. 要支援者(障がい者・高齢者・乳幼児・妊婦等)に対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 3. 避難所生活の長期化によるストレスに伴う嫌がらせやいさかいが生じること
- 4. 根拠のない噂話・風評などによる差別的な言動が起きること
- 5. 女性や子ども、子育て家庭、性的少数者、外国人等への十分な配慮が行き届かないこと
- 6. 特にない
- 7. わからない
- 8. その他
- 無回答

問 21 あなたは、SNSをはじめとしたインターネットに関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること	1,123	86.4%
2. 差別を助長する表現を掲載すること	701	53.9%
3. 出会い系サイト、LINE（ライン）、ツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること	855	65.8%
4. プライバシーに関する情報を掲載すること	812	62.5%
5. ネットポルノが存在すること（リベンジポルノ（元交際相手などの性的な画像等を相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為）を含む）	585	45.0%
6. 人権問題は特にない	16	1.2%
7. わからない	105	8.1%
8. その他	7	0.5%
無回答	13	1.0%
対象	1,300	-

「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」が86.4%と約9割で最も多い。次に、「出会い系サイト、LINE（ライン）、ツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」（65.8%）、「プライバシーに関する情報を掲載すること」（62.5%）と続いている。



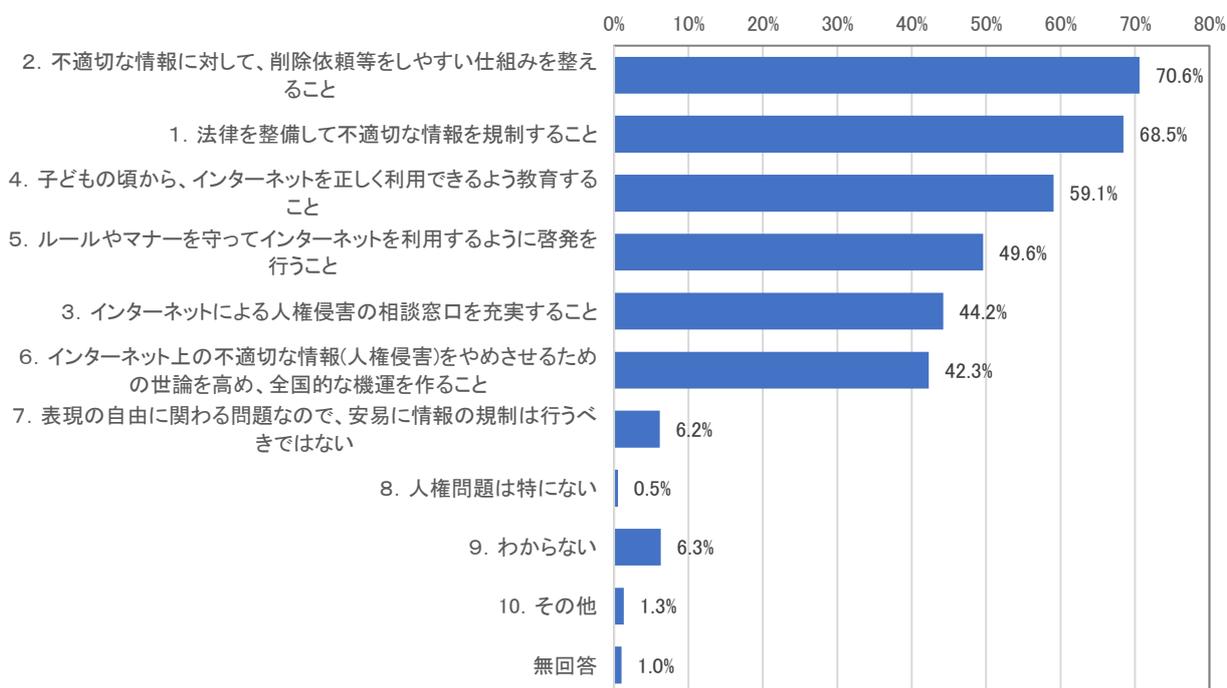


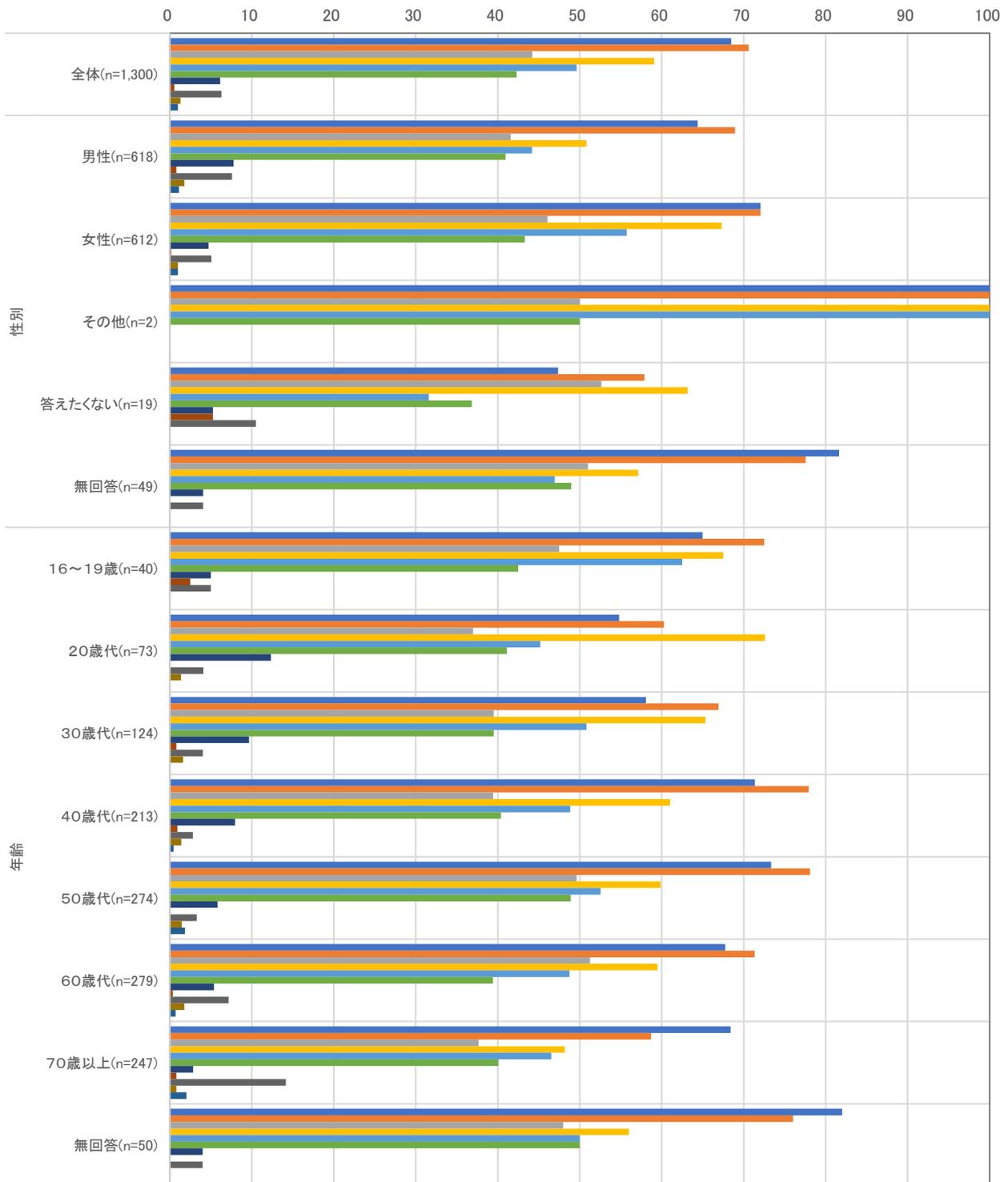
- 1. 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること
- 2. 差別を助長する表現を掲載すること
- 3. 出会い系サイト、LINE(ライン)、ツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること
- 4. プライバシーに関する情報を掲載すること
- 5. ネットポルノが存在すること(リベンジポルノ(元交際相手などの性的な画像等を相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為)を含む)
- 6. 人権問題は特にない
- 7. わからない
- 8. その他
- 無回答

問 22 あなたは、インターネット上に不適切な情報が掲載されていることに対して、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 法律を整備して不適切な情報を規制すること	890	68.5%
2. 不適切な情報に対して、削除依頼等をしやすい仕組みを整えること	918	70.6%
3. インターネットによる人権侵害の相談窓口を充実すること	575	44.2%
4. 子どもの頃から、インターネットを正しく利用できるよう教育すること	768	59.1%
5. ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように啓発を行うこと	645	49.6%
6. インターネット上の不適切な情報(人権侵害)をやめさせるための世論を高め、全国的な機運を作ること	550	42.3%
7. 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	80	6.2%
8. 人権問題は特にならない	7	0.5%
9. わからない	82	6.3%
10. その他	17	1.3%
無回答	13	1.0%
対象	1,300	-

「不適切な情報に対して、削除依頼等をしやすい仕組みを整えること」が70.6%、「法律を整備して不適切な情報を規制すること」が68.5%と、2つの項目が約7割となる。次に、「子どもの頃から、インターネットを正しく利用できるよう教育すること」(59.1%)、「ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように啓発を行うこと」(49.6%)と続いている。



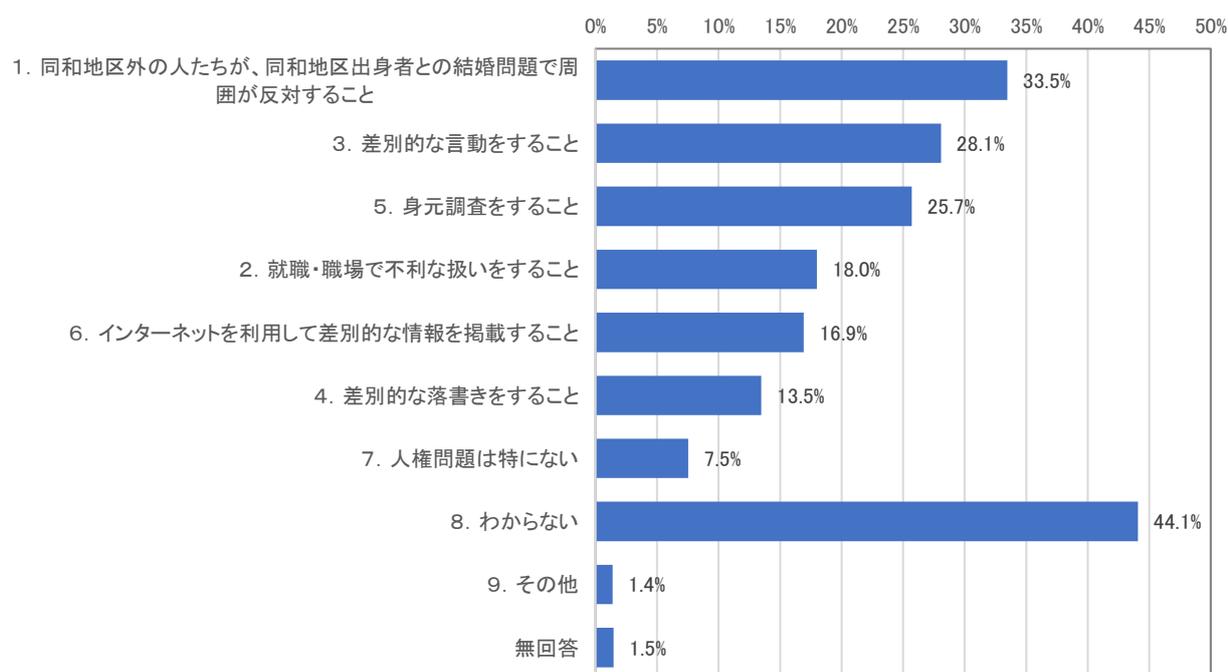


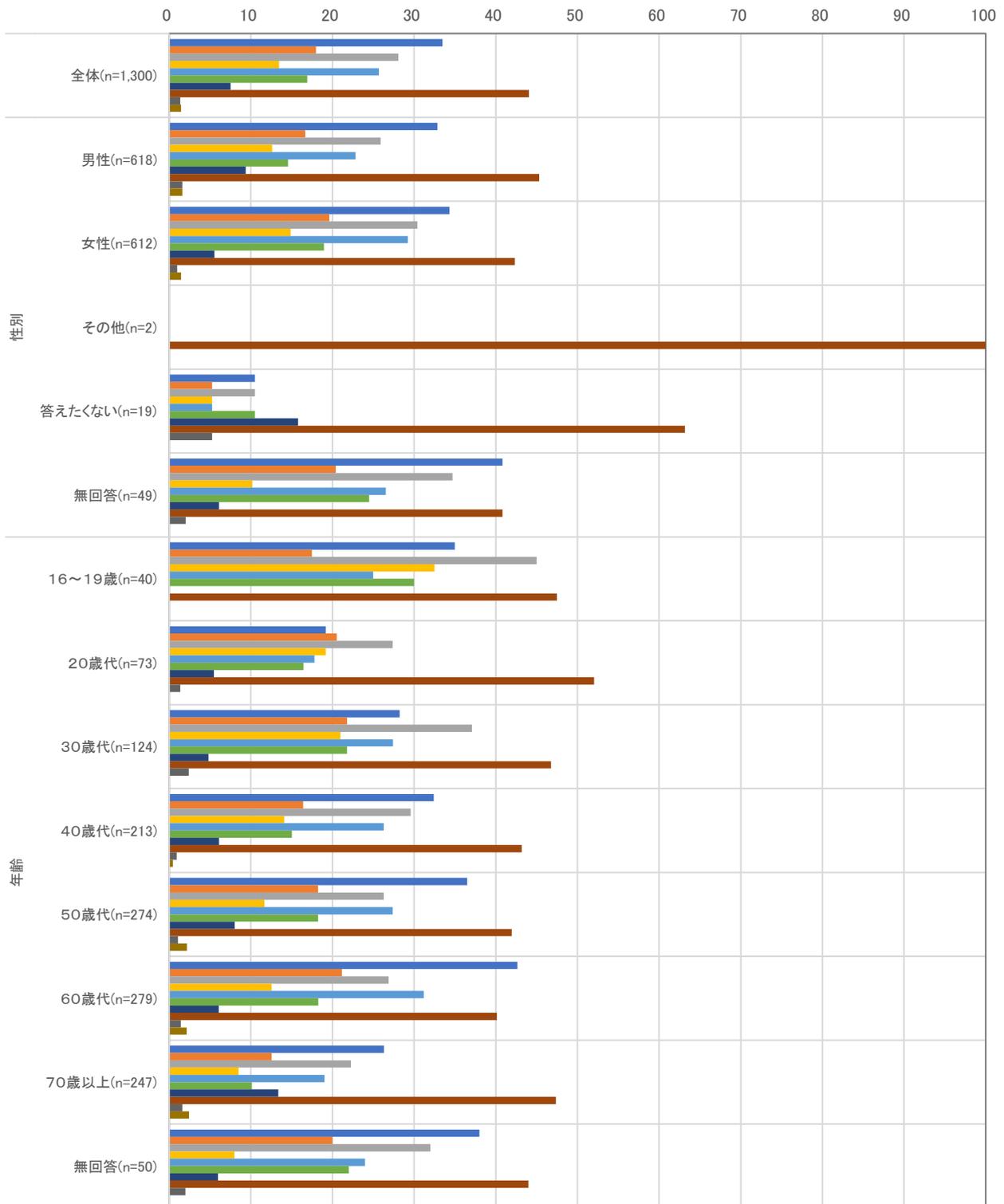
- 1. 法律を整備して不適切な情報を規制すること
- 2. 不適切な情報に対して、削除依頼等をしやすい仕組みを整えること
- 3. インターネットによる人権侵害の相談窓口を充実すること
- 4. 子どもの頃から、インターネットを正しく利用できるよう教育すること
- 5. ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように啓発を行うこと
- 6. インターネット上の不適切な情報(人権侵害)をやめさせるための世論を高め、全国的な機運を造ること
- 7. 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない
- 8. 人権問題は特にない
- 9. わからない
- 10. その他
- 無回答

問 23 あなたは、部落差別等の同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 同和地区外の人たちが、同和地区出身者との結婚問題で周囲が反対すること	435	33.5%
2. 就職・職場で不利な扱いをすること	234	18.0%
3. 差別的な言動をすること	365	28.1%
4. 差別的な落書きをすること	175	13.5%
5. 身元調査をすること	334	25.7%
6. インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	220	16.9%
7. 人権問題は特にない	98	7.5%
8. わからない	573	44.1%
9. その他	18	1.4%
無回答	19	1.5%
対象	1,300	-

「わからない」が44.1%と約4割で最も多い。次に、「同和地区外の人たちが、同和地区出身者との結婚問題で周囲が反対すること」(33.5%)、「差別的な言動をすること」(28.1%)、「身元調査をすること」(25.7%)と続いている。



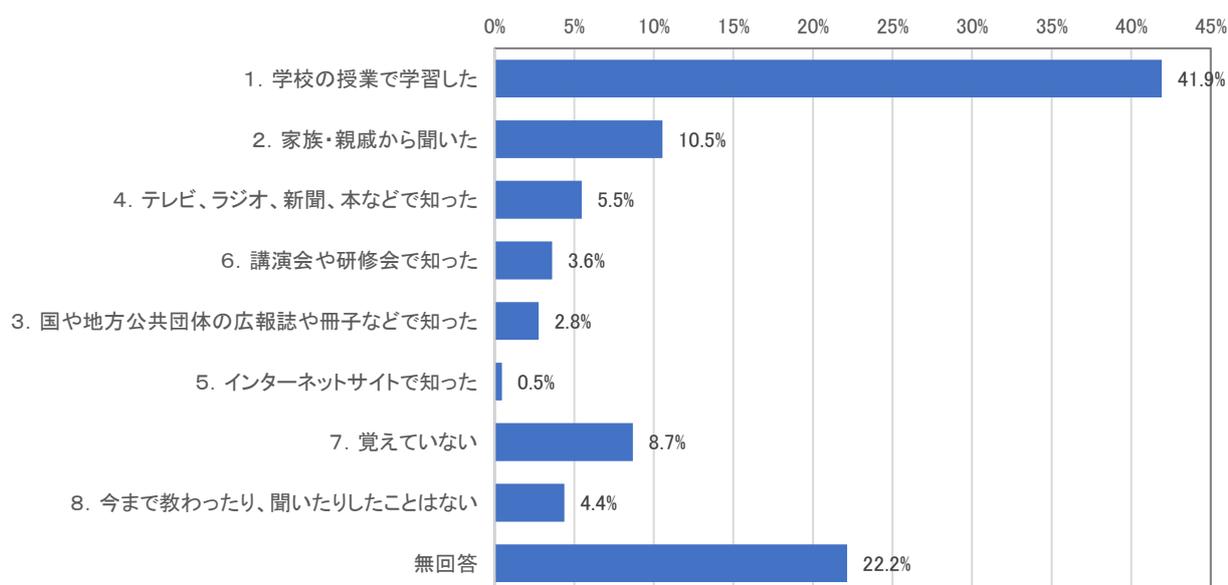


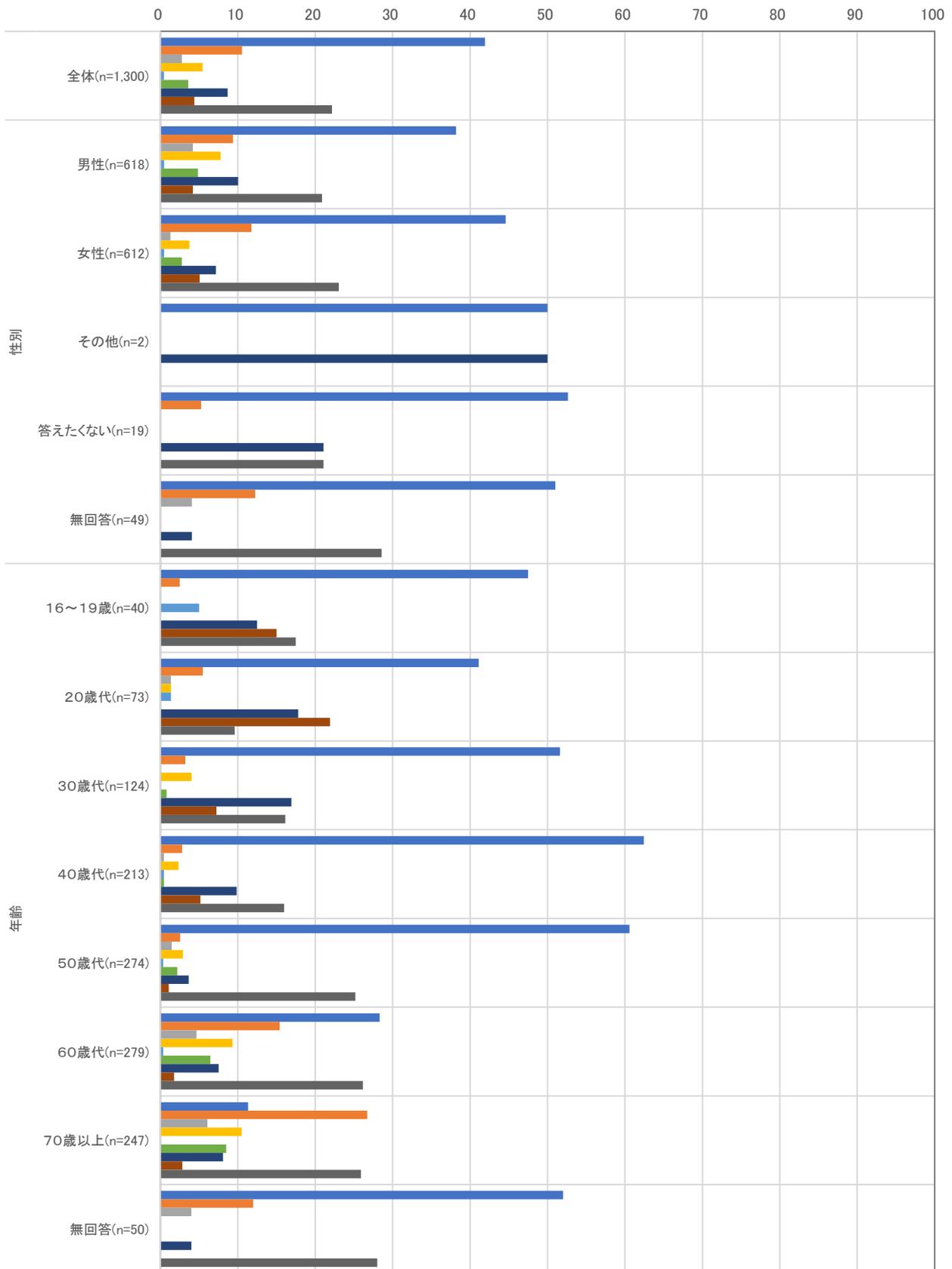
- 1. 同和地区外の人たちが、同和地区出身者との結婚問題で周囲が反対すること
- 2. 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3. 差別的な言動をすること
- 4. 差別的な落書きをすること
- 5. 身元調査をすること
- 6. インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
- 7. 人権問題は特にない
- 8. わからない
- 9. その他
- 無回答

問 24 あなたが、同和問題を知ったきっかけは何ですか。あてはまると思う項目 1 つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 学校の授業で学習した	545	41.9%
2. 家族・親戚から聞いた	137	10.5%
3. 国や地方公共団体の広報誌や冊子などで知った	36	2.8%
4. テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った	71	5.5%
5. インターネットサイトで知った	6	0.5%
6. 講演会や研修会で知った	47	3.6%
7. 覚えていない	113	8.7%
8. 今まで教わったり、聞いたりしたことはない	57	4.4%
無回答	288	22.2%
合計	1,300	100.0%

「学校の授業で学習した」が 41.9%と約 4 割で最も多い。次に、「無回答」(22.2%)、「家族・親戚から聞いた」(10.5%)、「覚えていない」(8.7%) と続いている。





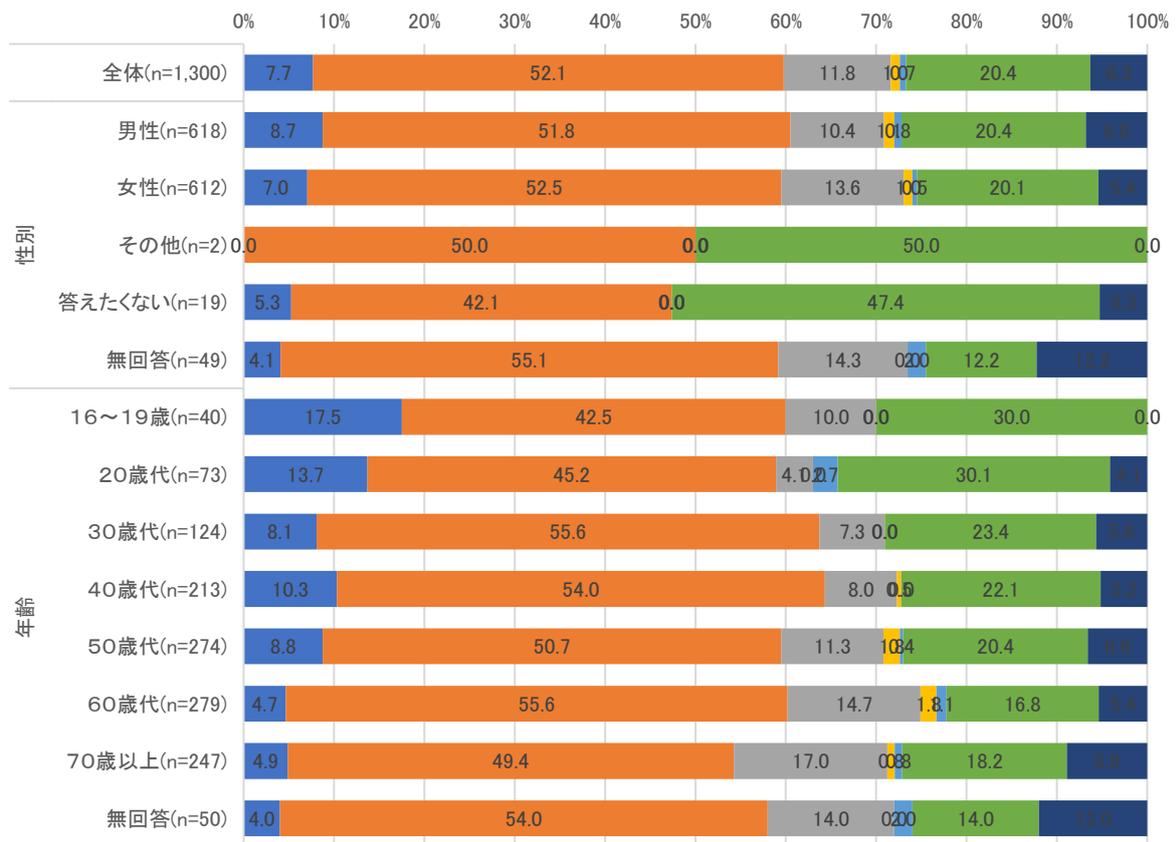
- 1. 学校の授業で学習した
- 2. 家族・親戚から聞いた
- 3. 国や地方公共団体の広報誌や冊子などで知った
- 4. テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った
- 5. インターネットサイトで知った
- 6. 講演会や研修会で知った
- 7. 覚えていない
- 8. 今まで教わったり、聞いたりしたことはない
- 無回答

問 25 あなたにお子さんがあると仮定し、お子さんの結婚相手が同和地区の人であると知った場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。あてはまると思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 賛成し、協力する	100	7.7%
2. 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない	677	52.1%
3. 親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない	154	11.8%
4. 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない	13	1.0%
5. 絶対に結婚を認めない	9	0.7%
6. わからない	265	20.4%
無回答	82	6.3%
合計	1,300	100.0%

「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」が52.1%と約5割で最も多い。次に、「わからない」(20.4%)、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない」(11.8%)と続いている。

年代で見ると、「賛成し、協力する」、「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」の合計は、60歳代以下では約6割となり、70歳以上では約5割となる。



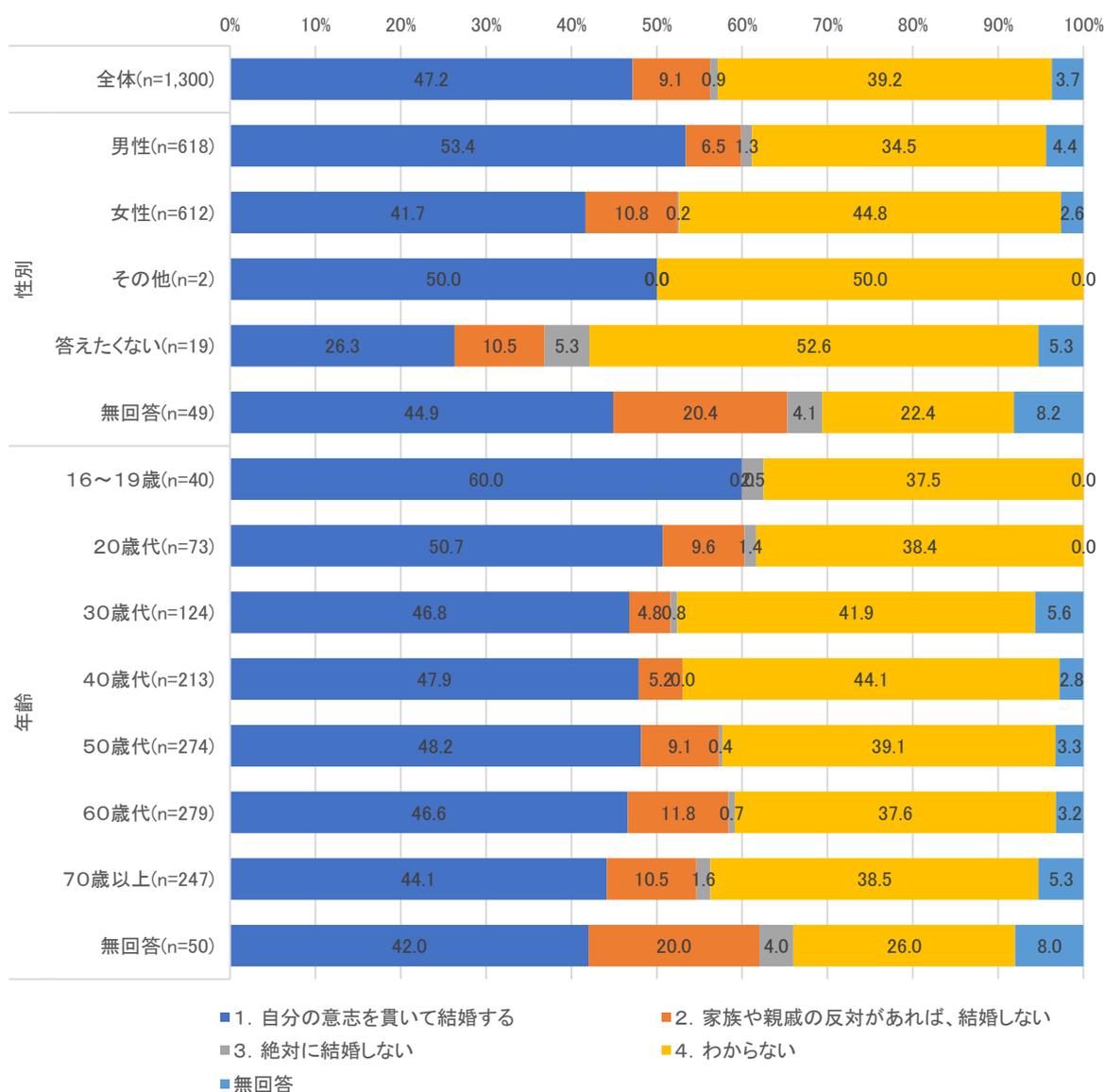
- 1. 賛成し、協力する
- 2. 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない
- 3. 親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方ない
- 4. 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 5. 絶対に結婚を認めない
- 6. わからない
- 無回答

問 26 あなた自身が同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしていると仮定し、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。あてはまると思う項目 1 つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 自分の意志を貫いて結婚する	613	47.2%
2. 家族や親戚の反対があれば、結婚しない	118	9.1%
3. 絶対に結婚しない	12	0.9%
4. わからない	509	39.2%
無回答	48	3.7%
合計	1,300	100.0%

「自分の意志を貫いて結婚する」が 47.2% と約 5 割で最も多い。次に、「わからない」(39.2%)、「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」(9.1%) と続いている。

性別でみると、「自分の意志を貫いて結婚する」は、男性では 53.4%、女性では 41.7% となる。年代でみると、「自分の意志を貫いて結婚する」は、16～19 歳で 6 割、20 歳代から 60 歳代で約 5 割、70 歳以上で約 4 割となる。



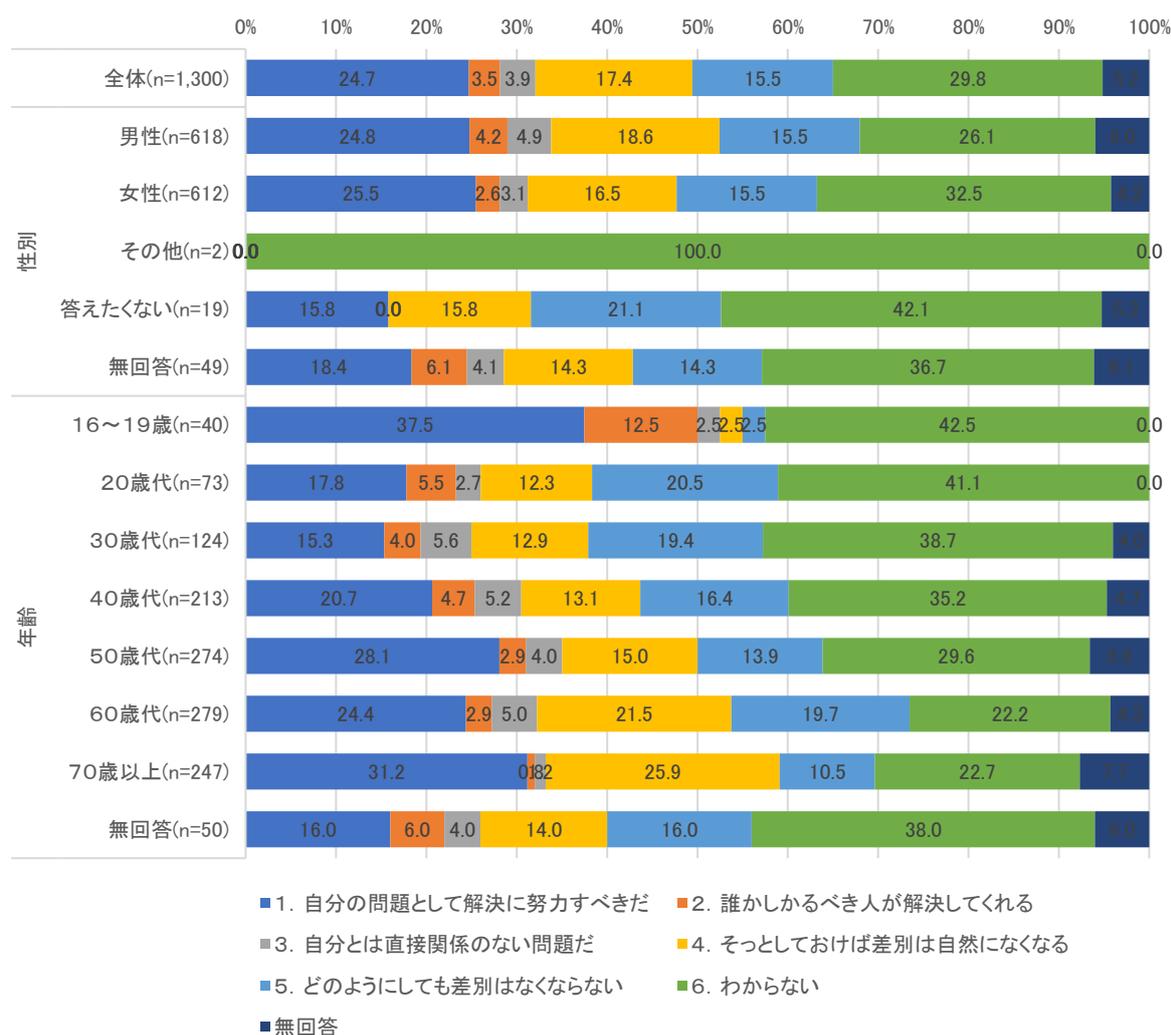
問 27 次の設問にお答えください。

(1) 同和問題の解決に対するあなたの考えに近いものはどれですか。あてはまると思う項目1つに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 自分の問題として解決に努力すべきだ	321	24.7%
2. 誰かしかるべき人が解決してくれる	45	3.5%
3. 自分とは直接関係のない問題だ	51	3.9%
4. そっとしておけば差別は自然になくなる	226	17.4%
5. どのようにしても差別はなくなる	202	15.5%
6. わからない	388	29.8%
無回答	67	5.2%
合計	1,300	100.0%

「わからない」が29.8%、「自分の問題として解決に努力すべきだ」が24.7%と2項目が多くなる。次に、「そっとしておけば差別は自然になくなる」(17.4%)、「どのようにしても差別はなくなる」(15.5%)と続いている。

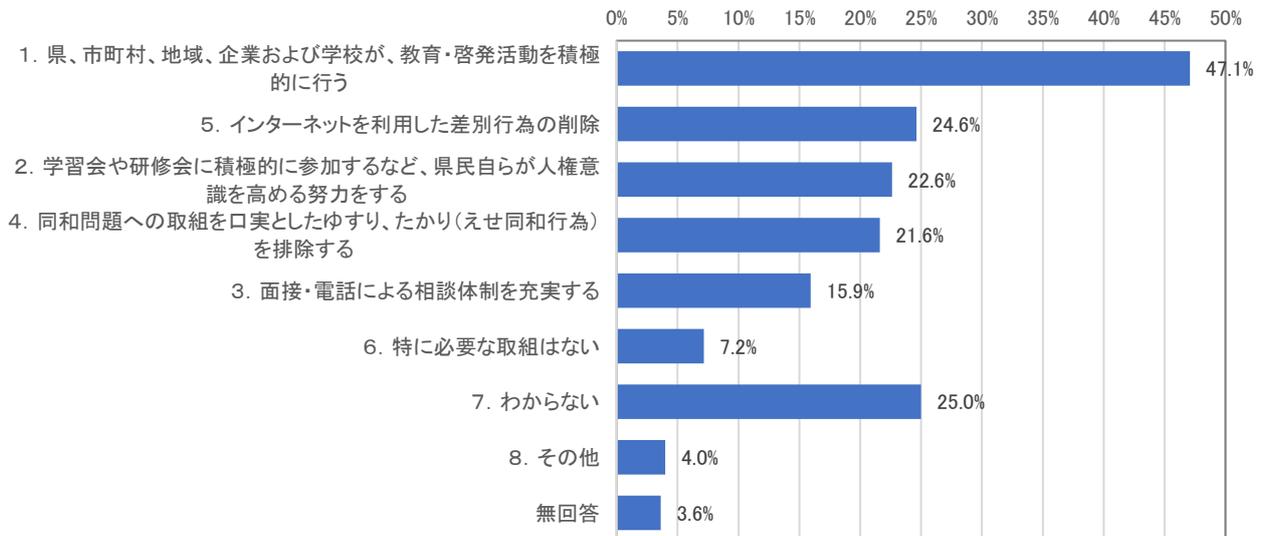
年代でみると、「わからない」は、40歳代以下では約4割、50歳代で約3割、60歳代以上で約2割となる。「自分の問題として解決に努力すべきだ」は、16～19歳で約4割、20歳代から40歳代、60歳代で約2割、50歳代、70歳以上で約3割となる。

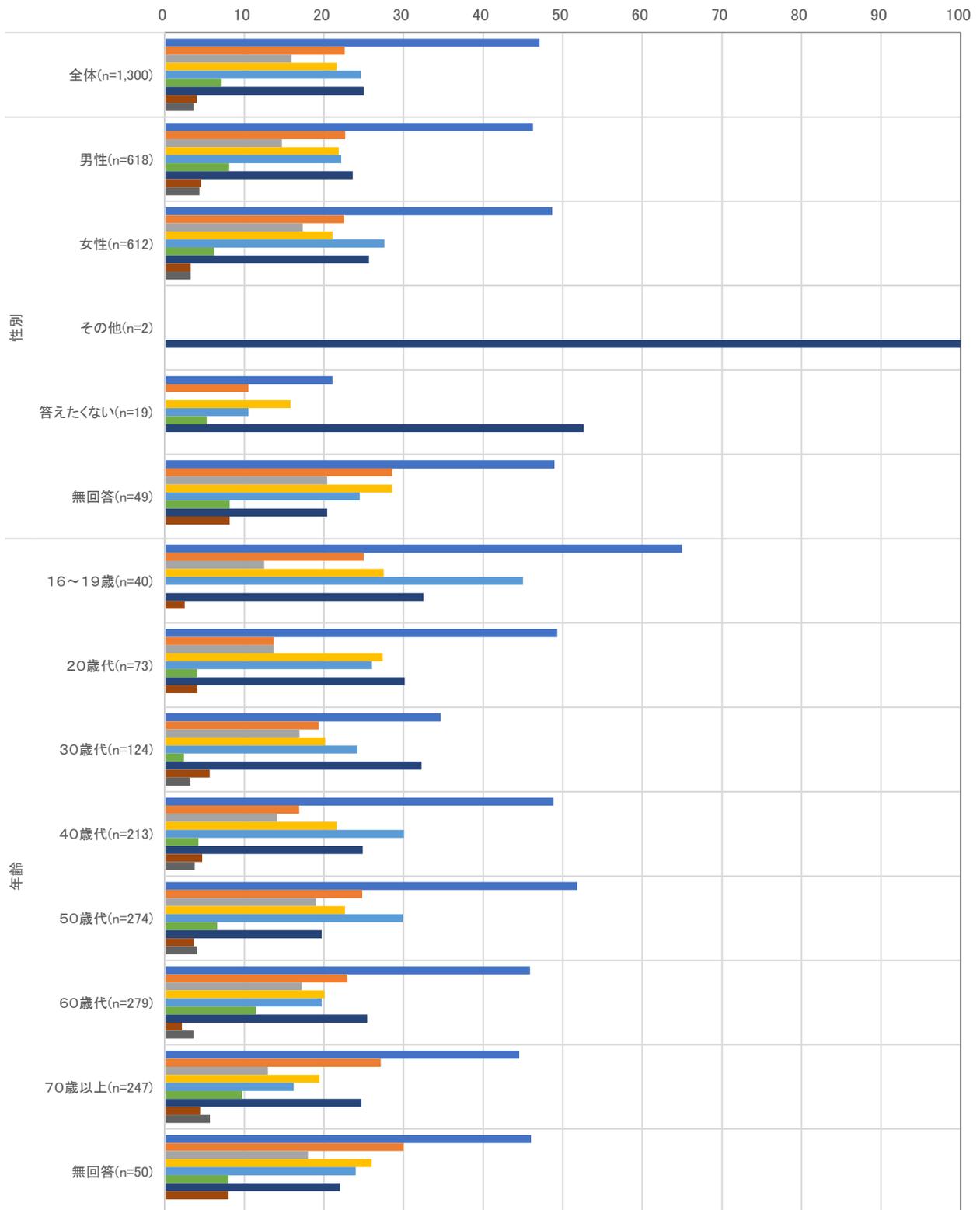


(2) あなたは、同和問題を解決するために、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 県、市町村、地域、企業および学校が、教育・啓発活動を積極的に行う	612	47.1%
2. 学習会や研修会に積極的に参加するなど、県民自らが人権意識を高める努力をする	294	22.6%
3. 面接・電話による相談体制を充実する	207	15.9%
4. 同和問題への取組を口実としたゆすり、たかり（えせ同和行為）を排除する	281	21.6%
5. インターネットを利用した差別行為の削除	320	24.6%
6. 特に必要な取組はない	93	7.2%
7. わからない	325	25.0%
8. その他	52	4.0%
無回答	47	3.6%
対象	1,300	-

「県、市町村、地域、企業および学校が、教育・啓発活動を積極的に行う」が47.1%と約5割で最も多い。次に、「わからない」(25.0%)、「インターネットを利用した差別行為の削除」(24.6%)、「学習会や研修会に積極的に参加するなど、県民自らが人権意識を高める努力をする」(22.6%)、「同和問題への取組を口実としたゆすり、たかり（えせ同和行為）を排除する」(21.6%)と続いている。



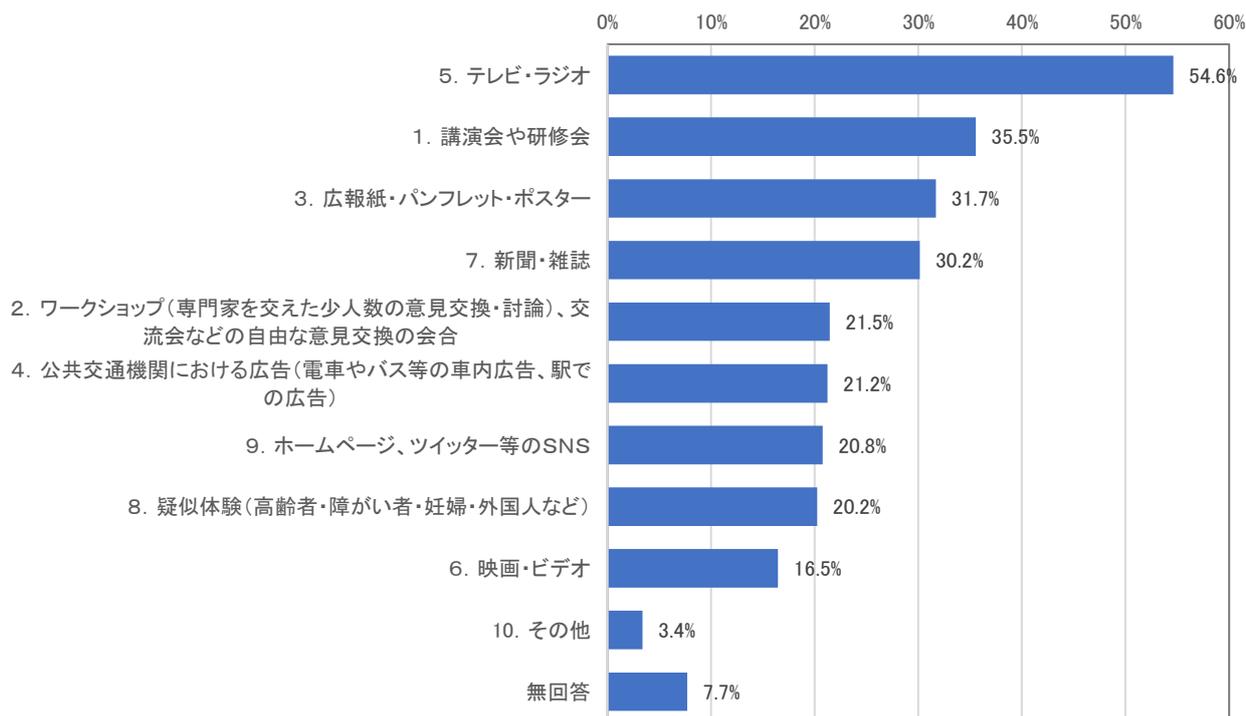


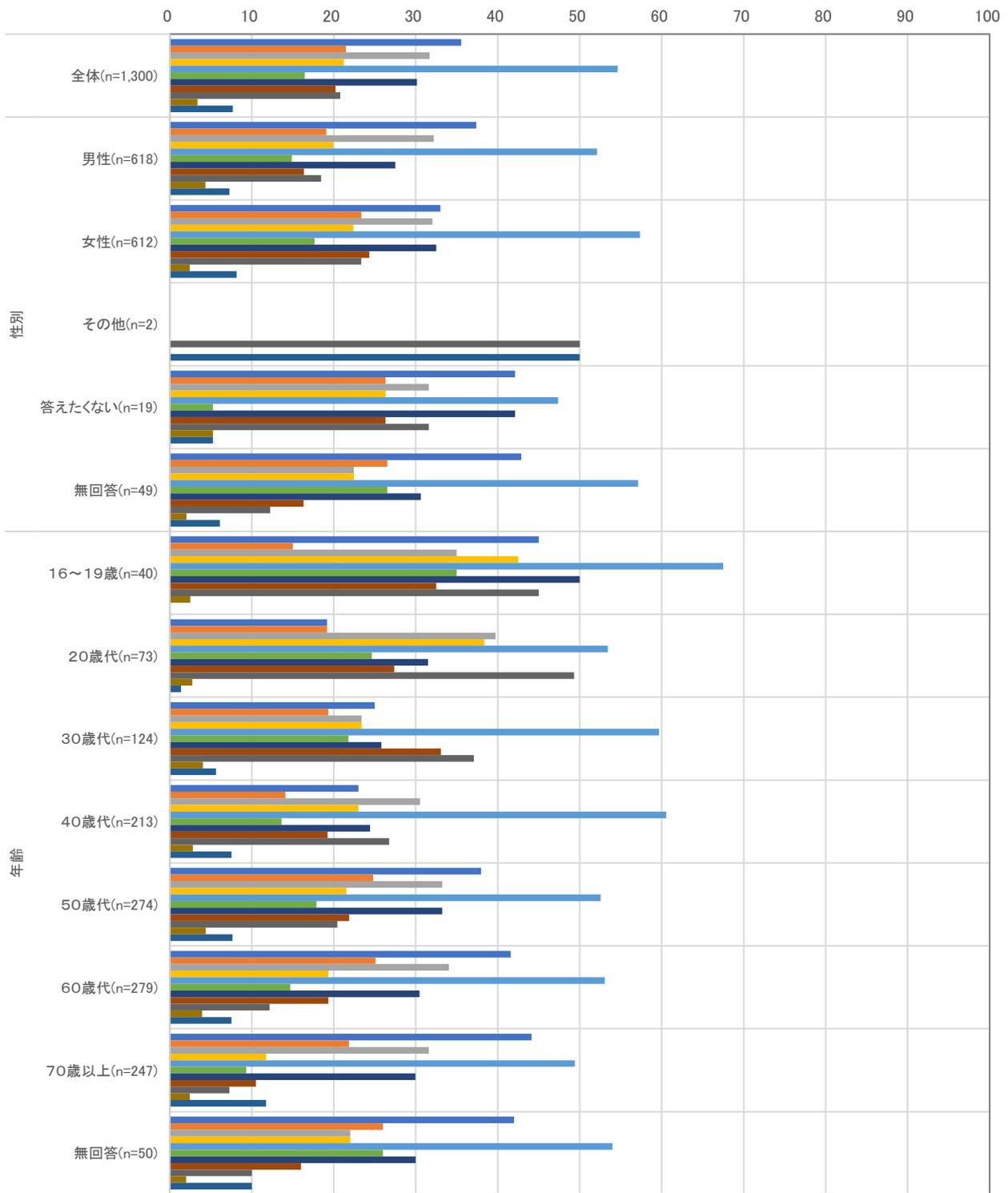
- 1. 県、市町村、地域、企業および学校が、教育・啓発活動を積極的に行う
- 2. 学習会や研修会に積極的に参加するなど、県民自らが人権意識を高める努力をする
- 3. 面接・電話による相談体制を充実する
- 4. 同和問題への取組を口実としたゆすり、たかり(えせ同和行為)を排除する
- 5. インターネットを利用した差別行為の削除
- 6. 特に必要な取組はない
- 7. わからない
- 8. その他
- 無回答

問 28 あなたは、人権啓発を推進するために、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。あてはまると思う項目すべてに○印をご記入ください。

選択肢	回答数	割合
1. 講演会や研修会	462	35.5%
2. ワークショップ（専門家を交えた少人数の意見交換・討論）、交流会などの自由な意見交換の会合	279	21.5%
3. 広報紙・パンフレット・ポスター	412	31.7%
4. 公共交通機関における広告（電車やバス等の車内広告、駅での広告）	276	21.2%
5. テレビ・ラジオ	710	54.6%
6. 映画・ビデオ	214	16.5%
7. 新聞・雑誌	392	30.2%
8. 疑似体験（高齢者・障がい者・妊婦・外国人など）	263	20.2%
9. ホームページ、ツイッター等のSNS	270	20.8%
10. その他	44	3.4%
無回答	100	7.7%
対象	1,300	-

「テレビ・ラジオ」が54.6%と約5割で最も多い。次に、「講演会や研修会」（35.5%）、「広報紙・パンフレット・ポスター」（31.7%）、「新聞・雑誌」（30.2%）と続いている。





- 1. 講演会や研修会
- 2. ワークショップ(専門家を交えた少人数の意見交換・討論)、交流会などの自由な意見交換の会合
- 3. 広報紙・パンフレット・ポスター
- 4. 公共交通機関における広告(電車やバス等の車内広告、駅での広告)
- 5. テレビ・ラジオ
- 6. 映画・ビデオ
- 7. 新聞・雑誌
- 8. 疑似体験(高齢者・障がい者・妊婦・外国人など)
- 9. ホームページ、ツイッター等のSNS
- 10. その他
- 無回答